# 教育なよろ

平成３０年度

**ふるさと未来トーク**

～市長・教育長と児童生徒との懇談会～

平成 30 年 7 月 20 日　下多寄小学校

名 寄 市 教 育 委 員 会

**市　章**

名寄市の英頭文字「N」をモチーフに、合併する風連町と名寄市の住民が、溢れる自然の恵みに天を仰ぎ感謝し、北の都をみんなで力を合わせ創り上げ発展してく様子を表現しています

（平成 18 年 3 月 27 日制定）

# 名 寄 市 民 憲 章

私たちは、秀峰ピヤシリを望み、天塩川の恵みに育まれた美しい緑と樹氷きらめくまち、名寄の市民です。厳しい風雪に耐え抜いた開拓者精神を受けつぎ、郷土を愛する心を大切にしながら明るく、生き生きとした名寄市の発展に努めます。

**自分のまちに誇りと責任をもち、**
**みんなで話し合いながら、**
**住みよいまちをつくります。**

**からだとこころの健康を大切にし、**
**互いに温かい思いやりをもって、**
**安心して暮らせるまちをつくります。**

**豊かな自然を守り育て、**
**自然と調和した暮らしの環境をととのえ、**
**快適でうるおいのあるまちをつくります。**

**楽しく働き、創造力を発揮し、**
**豊かな暮らしを誇れる**
**活力に満ちたまちをつくります。**

**知性と感性をみがき、**
**こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、**
**希望に輝くまちをつくります。**

（平成 19 年 2 月 26 日制定）

【名寄市のシンボル】（平成 18 年 7 月 25 日制定）

市の木

**「シラカバ」**

市の花

**「オオバナノエンレイソウ」**

市の鳥

**「アカゲラ」**

# 目次

名寄市の概況

Ⅰ教育行財政

1　教育目標 ---------- 1

2　教育推進計画全体構造図 ---------- 2

3　名寄市教育大綱 ---------- 3

4　教育委員会 ---------- 7

5　名寄市の教育財政 ---------- 10

Ⅱ学校教育

1　平成 30 年度名寄市学校教育推進計画 ---------- 13

2　市内小中学校の概要 ---------- 25

3　幼稚園教育 ---------- 27

4　学校給食センター ---------- 28

5　名寄市立大学 ---------- 31

6　就学の助成 ---------- 37

7　各種助成制度 ---------- 40

8　名寄市教育研究所 ---------- 41

9　その他学校一覧 ---------- 44

Ⅲ社会教育

1　平成 30 年度名寄市社会教育推進計画 ---------- 45

2　生涯学習課・名寄市公民館の事業計画 -------- 53

3　風連生涯学習担当・
名寄市風連公民館の事業計画 ---------- 59

4　名寄市智恵文公民館の事業計画 ---------- 63

5　スポーツ振興事業計画 ---------- 65

6　市内体育施設 ---------- 70

7　名寄市児童センター ---------- 74

8　名寄市青少年センター ---------- 78

9　名寄市教育相談センター ---------- 79

１０　名寄市北国博物館 ---------- 80

１１　市立名寄図書館 ---------- 85

１２　なよろ市立天文台 ---------- 87

Ⅳ資料

1　審議会・委員会 ---------- 89

2　旧名寄市教育の沿革 ---------- 92

3　旧風連町教育の沿革 ---------- 99

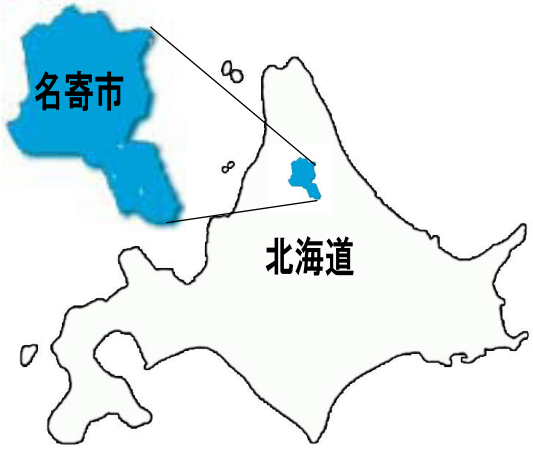
4　名寄市教育の沿革 ----------103

# 名寄市の概況

## 1　位置・地勢

名寄市は、北・北海道の長流天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町と下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。その市域は、東西に約30km、南北に35kmの四角形に近い形となっており、535.20k㎡の行政面積を有しています。

道路は南北に国道 40 号、東側に国道 239 号が通り、また鉄道は南北に宗谷本線が走っており、古くから交通の要衝として幅広い生活圏域を形成した本市は、道北圏の中心都市として発展してきました。




気候は、日本海気象の影響を受ける内陸部に属していることから寒暖の差が激しく、夏冬の温度差は 60℃にも及びます。夏季は昼夜の温度差が大きく、冬季は寒気が厳しく降雪量も多い気象条件を有しています。

## 2　沿　革

風連地域は、明治 32 年、旧村名「多寄町」の名称のもとに剣淵村外 3 カ村戸長役場の管轄に入ったことにはじまり、風連村を経て昭和 28 年の町制施行で風連町になりました。

名寄地域は、明治 33 年、山形県東田川郡東栄村（藤島町を経て鶴岡市）の有志により曙地区に開拓の鍬が下ろされて以来、上名寄村、名寄町を経て、昭和 29 年に旧智恵文村と合併後、昭和 31 年に北海道内 21 番目の市として市制を施行しています。

こうした中で、古くから地理的・人的つながりの深かった両市町は、人的・財政的基盤を強化する必要の高まりを背景に、平成 18 年 3 月 27 日に新設合併して「名寄市」が誕生しました。

## ３　人口と世帯数

平成 30 年 5 月末日現在　人口　27,712 人　世帯数　14,333 世帯

# １　名寄市教育目標

天塩川にはぐくまれた実りある大地に生きる私たち名寄市民は　郷土の歴史と文化を継承し　国際化の時代をしなやかにたくましく生き　ともに支え合い　うるおいと生きがいのある社会の実現をめざしてこの目標を定めます

１　北国の風土に生き　たくましく成長する人をはぐくみます

２　自ら学び　創造的に生きる人をはぐくみます

３　ふれあいを大切にし　心豊かな人をはぐくみます

４　勤労と責任を尊び　よりよい社会を築く人をはぐくみます

５　新しい時代を切り拓き　郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

（制定　平成19年４月１日）

# 平成 30 年度名寄市教育委員会教育推進計画全体構造図

## 名寄市民憲章（平成 19 年 2 月 26 日制定）

・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。
・からだとこころの健康を大切にし、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくります。
・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくります。
・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくります。
**・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。**

## 名寄市教育目標

平成 19 年 4 月 1 日制定

1　北国の風土に生き　たくましく成長する人をはぐくみます
2　自ら学び　創造的に生きる人をはぐくみます
3　ふれあいを大切にし心豊かな人をはぐくみます
4　勤労と責任を尊び　よりよい社会を築く人をはぐくみます
5　新しい時代を切り拓き郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

**教育都市宣言**

**安全・安心都市宣言**

**健康都市宣言**

**非核平和都市宣言**

## 名寄市総合計画（第 2 次）

（2017 年～2026 年）

【基本理念】
**人づくり　暮らしづくり　元気づくり**
【基本目標】
1　市民と行政との協働によるまちづくり（市民参画・健全財政）
2　市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉）
3　自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり（生活環境・都市基盤）
4　地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまちづくり（産業振興）
**5　生きる力と豊かな文化を育むまちづくり（教育・文化・スポーツ）**

- **学習指導要領**
- **第 3 期教育振興基本計画**（平成 30 年度～）
- **北海道教育推進計画（仮称）新しい教育計画（素案）**（平成 30 年度～34 年度）
- **上川管内教育推進の重点**

## 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略 重点プロジェクト

1　**経済元気化** プロジェクト
2　**安心子育て** プロジェクト
3　**冬季スポーツ拠点化** プロジェクト

## ≪主　要　施　策≫ ～名寄市教育大綱～

1　幼児教育の振興
2　**小中学校教育の充実**
3　**高等学校教育の充実**
4　大学教育の充実
5　**生涯学習社会の形成**
6　**家庭教育の推進**
**7　生涯スポーツの振興**
8　**青少年の健全育成**
9　**地域文化の継承と創造**

## 学校教育の重点施策

### 小中学校教育の充実

＜基本事業１＞
**「生きる力」を育てる教育の推進**
○社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善
○確かな学力を育てる教育の充実
○豊かな心を育てる教育の充実
○健やかな体を育てる教育の充実
○特別支援教育の充実
○社会の変化に対応する力を育てる教育の充実
＜基本事業２＞
**信頼される学校づくりの推進**
○地域とともにある学校づくりの推進
○教職員の資質の向上
＜基本事業３＞
**安心安全な教育環境の整備**
○危機管理体制の確立
○小中学校の適正な配置
○学校施設・設備の整備
○学校給食センター施設・設備の整備

### 高等学校教育の充実

＜基本事業１＞
**就学機会の確保**
○間口の確保
・名寄市高校生資格取得支援事業

## 社会教育の重点施策

### 生涯学習社会の形成

＜基本事業１＞
**社会教育計画の策定**
○名寄市社会教育計画の策定
＜基本事業２＞
**社会教育拠点施設整備**
○社会教育施設整備事業
○博物館常設展示室リピーター確保事業
＜基本事業３＞
**生涯学習プログラムの整備と学習への支援**
○社会教育施設間の連携と情報の共有
○学習相談窓口の確立
○公民館活動の推進
＜基本事業４＞
**天文観測を活かしたまちづくり事業**
○地域に根ざした天文教育の普及
○世界に向けた交流推進及び情報発信

### 家庭教育の推進

＜基本事業１＞
**家庭と地域の教育力の向上**
○家庭教育に関する学習機会及び情報提供や相談体制の整備
○関係機関のネットワークづくりの推進
○学校外での社会体験や親子ふれあい事業の充実

### 生涯スポーツの振興

＜基本事業１＞
**スポーツ施設の整備**
○スポーツ施設の改修と適正配置
＜基本事業２＞
**スポーツ振興事業**
○各種スポーツ大会の開催及び誘致
○学校開放事業の推進
○生涯スポーツの推進
○総合型地域スポーツクラブの拡大
＜基本事業３＞
**スポーツ合宿推進事業**
○各種合宿の誘致・支援
○ジュニアの育成・強化

### 青少年の健全育成

＜基本事業１＞
**青少年健全育成事業**
○青少年活動事業の実施
○青少年育成組織の活性化とＰＴＡとの連携
○子どもの安全と安心を守る家庭と地域社会による活動の推進
○非行防止・環境浄化活動
○教育相談体制の充実
＜基本事業２＞
**子育て支援の推進**
○放課後児童健全育成事業の推進
○児童館の整備

### 地域文化の継承と創造

＜基本事業１＞
**文化芸術振興事業**
○市民と協働による文化芸術の推進
○各種講座・教室などの開設と内容の充実
○文化活動の奨励、発表の場の提供
○文化芸術鑑賞ツアーの実施
＜基本事業２＞
**歴史や文化財の継承**
○地域の歴史、自然、文化に関する普及啓発
○文化財の保護と伝承活動の支援

**平成 30 年度教育行政執行方針**

# 平成 30 年度教育行政執行方針

## 学校教育の重点施策

○確かな学力を育てる教育の推進
○豊かな心と健やかな体を育てる教育の推進
○特別支援教育の推進
○社会の変化に対応する力を育てる教育の推進
○信頼される学校づくりの推進
○安全・安心な教育環境の整備
○高等学校教育との連携

## 社会教育の重点施策

○生涯学習社会の形成
○家庭教育の推進
○生涯スポーツの振興
○青少年の健全育成
○地域文化の継承と創造

平成 30 年度 **学校教育推進計画**

平成 30 年度 **社会教育推進計画**

## 文科省・道教委の指定事業

平成 30 年度の指定事業

○学校力向上に関する総合実践事業（道教委）
○特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制構築事業（文科省）

# ３　名寄市教育大綱

大綱の策定について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、地方公共団体の長は教育行政に関する大綱を策定することとなりました。

本市では、名寄市総合計画－第２次－において、基本理念を「人づくり」・「暮らしづくり」・「元気づくり」と定め、福祉・産業・教育など、五つの分野において進めるべきまちづくりの基本目標を示しながら、各種施策を展開していくこととしています。

教育分野においても、総合計画の下記の基本目標とその考え方を踏襲した、教育行政に関する大綱を策定することにより、地域住民の意向のより一層の反映と教育、学術及び文化の振興に関する施策の総合的な推進を図っていきます。

この大綱の対象期間は、平成29年度から平成34年度までの6年間とします。

## 基本目標

## 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり

未来を担う子どもたちが、多様な可能性を伸ばすことができるよう、教育・保育施設から名寄市立大学、さらに家庭や地域社会がそれぞれの役割を果たし、「生きる力」を育む教育に努めます。

また、すべての人が生涯にわたって学習し、質の高い文化・芸術に親しみ、ライフステージに応じたスポーツ活動ができる環境をつくり、市民が誇れる優れた人材の育成に努め、豊かで活力あるまちづくりを進めます。

### 基本計画

**１．幼児教育の充実**

幼児教育においては、子どもたちが健やかに育まれるよう、質の高い教育の提供を行うとともに、幼稚園をはじめ関係機関と小学校との連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行に努めます。

また、希望する子どもたちが平等に幼児教育を受けられるように、保護者の負担軽減のための助成支援に努めるとともに、幼稚園が「子ども・子育て支援法」へ移行する場合においても、引き続き運営に関する支援を行います。

〈施策の方向性〉

・就園の奨励

・幼、保、小及び各機関との連携

## ２．小中学校教育の充実

小中学校教育においては、生きる力を育てる教育、特別支援教育や国際理解教育、情報教育等の社会の変化に対応する力を育てる教育の充実に努めるとともに、教職員の資質向上や家庭、地域社会と連携した特色ある学校づくりを進め、家庭、地域社会から信頼される学校づくりを推進します。

また、教育効果を高めるために小中学校の適正配置及び通学区域再編の検討を進めるとともに、計画的な学校施設等の整備に努めます。

〈施策の方向性〉

・「生きる力」を育てる教育の推進

・信頼される学校づくりの推進

・安全安心な教育環境の整備

## ３．高等学校教育の充実

高等学校の再編整備にあたっては、関係機関と連携を図り、希望者が安心して進学できる間口維持に向けた取組を進めるとともに、地域を担う人材を育成する魅力ある高校づくりに向けた支援体制の充実に努めます。

〈施策の方向性〉

・就学機会の確保

## ４．大学教育の充実

大学の将来構想の策定及び実践により、長期的視野に立った大学運営を進めるとともに、地域性を重視した高等教育機関としての施設及び設備の整備・充実を図ります。

また、蓄積した教育研究を地域経済、地域社会、文化の発展に寄与できるよう努めます。

さらに、大学施設の市民活用を図り、公開講座などの開催により生涯学習の場として市民に開かれた大学になるよう努めます。

〈施策の方向性〉

・教育研究の充実

・校舎及び環境等整備事業
・大学を活かしたまちづくり・地域との連携

## ５．生涯学習社会の形成

市民が、生涯にわたって主体的に学び、心豊かな人生を送ることができるよう、社会教育拠点施設整備や指導者の育成を進めるとともに、生涯学習プログラムの推進など、生涯学習環境の充実に努めます。

**〈施策の方向性〉**

・社会教育計画の策定
・社会教育拠点設備整備
・生涯学習プログラムの整備と学習への支援
・天体観測を活かしたまちづくり事業

## ６．家庭教育の推進

子どもたちを健全に育む基盤である家庭教育については、幼稚園などと連携して家庭教育学級の開設や講座の開催など、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

また、子育てに配慮した環境をつくるため、企業への啓発や情報提供に努めます。

**〈施策の方向性〉**

・家庭と地域の教育力の向上

## ７．生涯スポーツの振興

生涯スポーツの振興については、特に「冬季スポーツの拠点化」事業で、ジュニア選手、指導者の育成により競技力向上を図るとともに、地域連携による合宿・大会誘致を推進し、競技力向上、交流人口の拡大を図り、地域の活性化に努めます。

また、「市民皆スポーツ」を実現するために、体育協会等の関係団体と連携を図り、市民により充実したスポーツ環境の提供に努めます。

**〈施策の方向性〉**

・スポーツ施設の整備
・スポーツ振興事業
・スポーツ合宿推進事業

## ８．青少年の健全育成

未来を担う青少年が、心身共に健やかに成長し社会の一員としての人間性や社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動や地域交流、ボランティア活動の推進などに努めます。

**〈施策の方向性〉**

・青少年健全育成事業

・子育て支援の推進

## ９．地域文化の継承と創造

市民が感動や生きる喜びを感じ、創造力にあふれる豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者育成、文化振興のための基盤整備を進め、拠点施設を中心とした鑑賞機会や参加機会の充実を図るとともに、文化の創造と団体の育成に努めます。

**〈施策の方向性〉**

・文化芸術振興事業

・歴史や文化財の継承

# ２　教　育　委　員　会

## １　教育長及び教育委員

教育長　小野　浩一

教育長職務代理者　松田　潤子

委員　高橋　雅樹

委員　中枝　範子

委員　梅野　　新

**教育長及び委員一覧**

| | 氏　　名 | 就　任　年　月　日 | 住　　所 |
|---|---|---|---|
| 教　　育　　長 | 小　野　浩　一 | 平成23年7月1日 | 西10条南10丁目 |
| 教育長職務代理者 | 松　田　潤　子 | 平成20年5月16日 | 風連町字中央 |
| 委　　員 | 髙　橋　雅　樹 | 平成25年4月1日 | 西１条南３丁目 |
| 委　　員 | 中　枝　範　子 | 平成29年5月16日 | 西３条南６丁目 |
| 委　　員 | 梅　野　　新 | 平成30年5月16日 | 西１条北１丁目 |

## ２　行政組織

- 教育委員会
  - 教育長
    - 教育部長
      - 学校教育課
        - 総務係
        - 学校教育係
        - 管理係
      - 参事（指導主事）
        - 主査
      - 生涯学習課
        - 文化振興係
        - 生涯学習係
      - 名寄市公民館
        - 庶務係
        - 業務係
      - 市民文化センター
        - 管理係
      - スポーツ・合宿推進課
        - ｽﾎﾟｰﾂ・合宿推進係
      - 智恵文公民館
        - 庶務業務係
      - 参事（風連生涯学習担当）
        - 主査
      - 風連公民館
        - 庶務業務係
      - 風連B&G海洋センター
        - 主査
      - 名寄市児童センター
        - 主査
      - 風連児童会館
        - 主査
      - 名寄市青少年センター
        - 主査
      - 名寄市教育相談センター
        - 主査
      - 北国博物館
        - 業務係
      - 図書館
        - 企画管理係
        - 奉仕係
      - 天文台
        - 業務係
      - 学校給食センター
        - 総務係
        - 調理係
      - 教育研究所
      - 小学校　8校
      - 中学校　4校

## ３　名寄市教育委員会職員数

| | 教育部長 | 課長・館長・所長・参事・台長 | 社教主事 | 係長・主査 | 主任 | 事務職員 | 特別参与 | 栄養士 | 教育職員 | 外国語指導助手 | 嘱託臨時 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 1 | | | | | | | | | | | 1 |
| 学校教育課 | | 1 | | 3 | 1 | 4 | | | | 2 | 51 | 62 |
| 参事（指導主事） | | 1 | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 生涯学習課 | | 1 | | 3 | | 4 | | | | | 4 | 12 |
| 名寄市公民館 | | (1) | | (3) | | (4) | | | | | | (8) |
| 市民文化センター | | (1) | | (2) | | (2) | | | | | | (5) |
| ｽﾎﾟｰﾂ・合宿推進課 | | 2 | | 1(2) | | 2 | 1 | | | | 1 | 7(2) |
| 智恵文公民館 | | (1) | | (1) | | | | | | | 1 | 1(2) |
| 参事（生涯学習担当） | | 1(1) | | 2 | 1 | | | | | | 4 | 8(1) |
| 風連公民館 | | (2) | | (2) | (1) | | | | | | (4) | (9) |
| 風連B&G海洋センター | | (2) | | (2) | (1) | | | | | | 5 | 5(5) |
| 児童センター | | 1 | | 1 | | | | | | | 25 | 27 |
| 風連児童会館 | | (1) | | (1) | | | | | | | 6 | 6(2) |
| 青少年センター | | (1) | | (1) | | | | | | | 1 | 1(2) |
| 教育相談センター | | (1) | | (1) | | | | | | | 3 | 3(2) |
| 北国博物館 | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | 6 | 9 |
| 図書館 | | 1 | | 2 | | | | | | | 15 | 18 |
| 天文台 | | 1 | | 1 | | 1 | | | | | 2 | 5 |
| 学校給食センター | | 1 | | 1(1) | | | | 道(2) | | | 32 | 34(3) |
| 教育研究所 | | | | | | | | | (209) | | | (209) |
| 計 | 1 | 11(11) | | 16(16) | 2(2) | 12(6) | 1 | 道(2) | (209) | 2 | 156(4) | 201(250) |

※（　）＝併任・兼務者数

# ３　名寄市の教育財政（平成30年度）

## １　一般会計予算

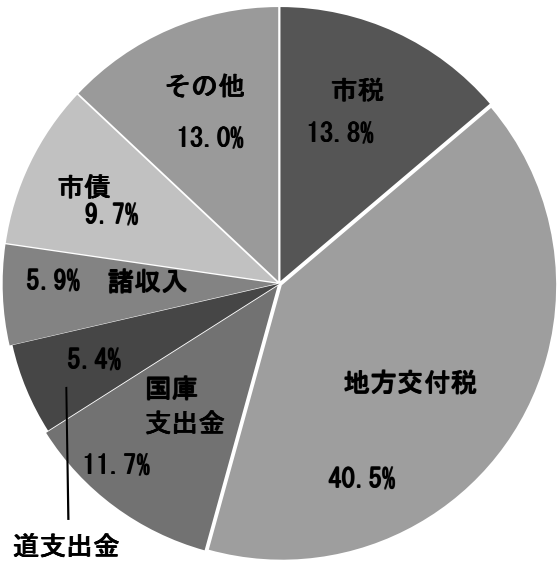
【歳入】　（単位：千円）

| 区　分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---|---|---|
| 市税 | 2,930,461 | 13.8% |
| 地方交付税 | 8,565,000 | 40.5% |
| 国庫支出金 | 2,479,166 | 11.7% |
| 道支出金 | 1,141,949 | 5.4% |
| 諸収入 | 1,253,092 | 5.9% |
| 市債 | 2,060,000 | 9.7% |
| その他 | 2,736,456 | 13.0% |
| 計 | 21,166,124 | 100.0% |

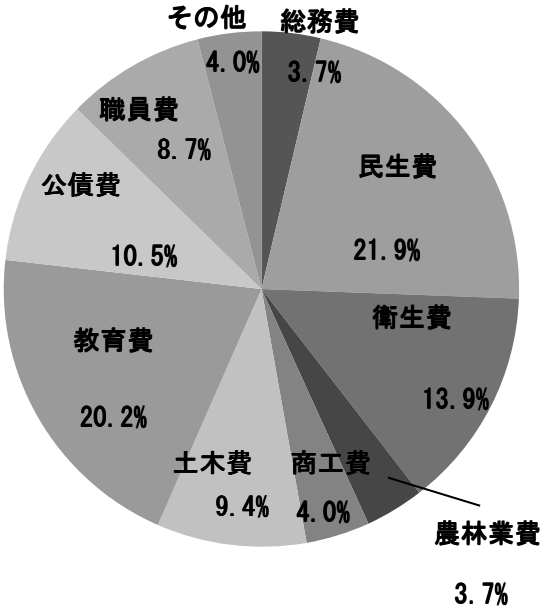
【歳出】　（単位：千円）

| 区　分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---|---|---|
| 総務費 | 776,001 | 3.7% |
| 民生費 | 4,630,084 | 21.9% |
| 衛生費 | 2,948,728 | 13.9% |
| 農林業費 | 791,575 | 3.7% |
| 商工費 | 854,018 | 4.0% |
| 土木費 | 1,982,689 | 9.4% |
| **教育費** | **4,268,984** | **20.2%** |
| 公債費 | 2,232,374 | 10.5% |
| 職員費 | 1,849,087 | 8.7% |
| その他 | 832,584 | 4.0% |
| 計 | 21,166,124 | 100.0% |

※歳入グラフ




※歳出グラフ



## ２　教育費の内訳

【歳入】

（単位：千円）

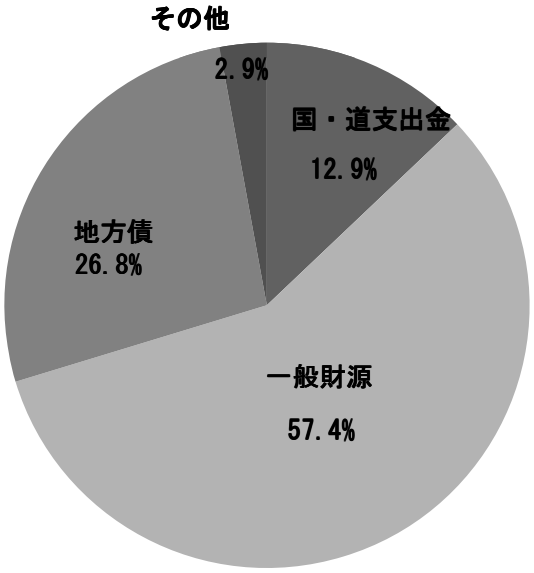
| 区　　分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---|---|---|
| 国・道支出金 | 552,810 | 12.9% |
| 一般財源 | 2,451,660 | 57.4% |
| 地方債 | 1,142,400 | 26.8% |
| その他 | 122,114 | 2.9% |
| 計 | 4,268,984 | 100.0% |

【歳出】

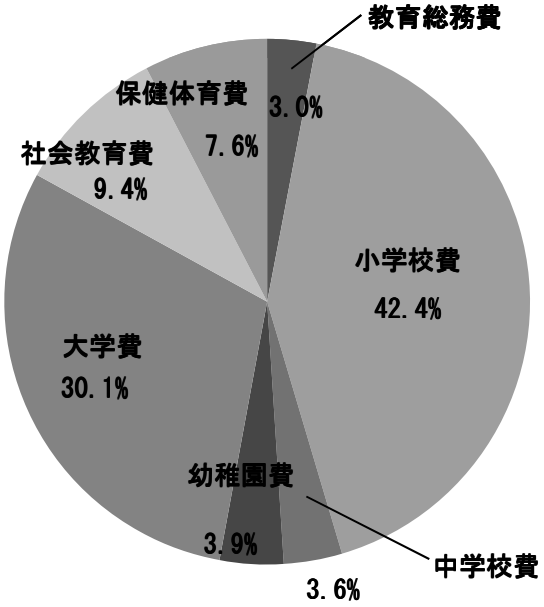
（単位：千円）

| 区　　分 | 当初予算額 | 構成比 |
|---|---|---|
| 教育総務費 | 128,925 | 3.0% |
| 小学校費 | 1,811,563 | 42.4% |
| 中学校費 | 155,471 | 3.6% |
| 幼稚園費 | 164,148 | 3.9% |
| 大学費 | 1,283,865 | 30.1% |
| 社会教育費 | 401,614 | 9.4% |
| 保健体育費 | 323,398 | 7.6% |
| 計 | 4,268,984 | 100.0% |

※歳入グラフ




※歳出グラフ



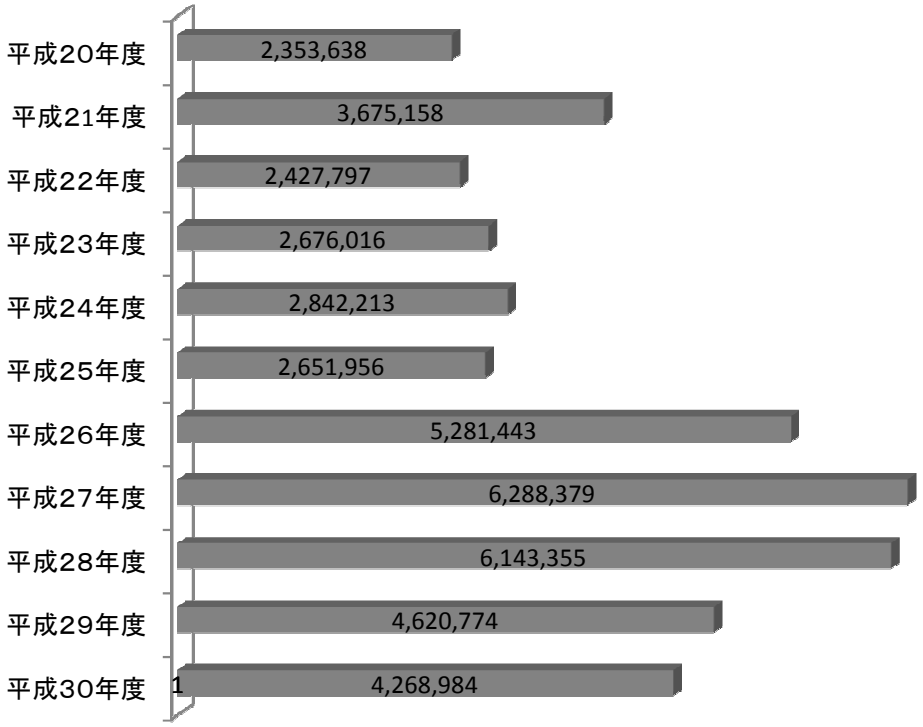
## ３　教育費予算

（単位：千円）

| 科　　目 | (a) 平成30年度当初予算額 | (b) 平成29年度当初予算額 | (c) 比較増減 (a)-(b) | (d) 対前年比 (c) ÷ (b) × 100 |
|---|---|---|---|---|
| 教　育　費 | 4,268,984 | 4,620,774 | △ 351,790 | △ 7.6 |
| 教育総務費 | 128,925 | 119,291 | 9,634 | 8.1 |
| 小学校費 | 1,811,563 | 388,326 | 1,423,237 | 366.5 |
| 中学校費 | 155,471 | 165,091 | △ 9,620 | △ 5.8 |
| 幼稚園費 | 164,148 | 163,939 | 209 | 0.1 |
| 大　学　費 | 1,283,865 | 3,059,319 | △ 1,775,454 | △ 58.0 |
| 社会教育費 | 401,614 | 404,334 | △ 2,720 | △ 0.7 |
| 保健体育費 | 323,398 | 320,474 | 2,924 | 0.9 |

## ４　教育費の推移（大学費以外の職員費を除く）

（単位：千円）



# 平成30年度名寄市学校教育推進計画

## 教育経営・教育研究

### 1　生きる力を育てる教育の推進

　これからの複雑で変化の激しい社会の中において、子供たちが自信を持って自分の人生を切り拓き、よりよい社会を創り出していくことができる生きる力を育成することが求められています。
　そのため、各学校においては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することが大切です。
　また、特別な配慮を必要とする子供たちの自立と社会参加を目指し、多様な子供たち一人一人の状況に応じ、それぞれが持つ能力を最大限に伸ばすきめ細かな教育を提供していくことが必要です。

**【社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善】**

(1)　児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図るいわゆるカリキュラム・マネジメントに努める。

(2)　教育課程全体のバランスを図りながら、地域や学校及び児童生徒の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、創意工夫を生かした時間割を弾力的に編成するなどして、指導に必要な時間の実質的な確保に努める。

(3)　教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての基本的な方針が家庭や地域とも共有されるよう努める。

(4)　児童生徒に生きる力を育むため、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動の充実を図る。

(5)　児童生徒の発達の段階や特性等を踏まえつつ、知識及び技能が習得されるようにすること、思考力、判断力、表現力等を育成すること、学びに向かう力、人間性等を涵養することが偏りなく実現できるようにする。

**【確かな学力を育てる教育の推進】**

(1)　基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決す

るために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。

(2)　児童生徒の発達の段階を考慮して、言語活動など、学習の基盤をつくる活動の充実に努めるとともに、家庭との連携を図りながら児童生徒の学習習慣が確立するよう配慮する。

**【豊かな心を育てる教育の推進】**

(1)　道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努める。

(2)　学校における道徳教育は、特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行う。

(3)　学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊的活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験の充実に努める。

(4)　児童生徒の豊かな感性や創造性を高めるため、学校・家庭・地域における読書活動の充実に努めます。

**【健やかな体を育てる教育の推進】**

(1)　児童生徒の発達の段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて体育・健康に関する指導を適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。

(2)　学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持に関する指導については、体育科、家庭科及び特別活動はもとより、各教科、道徳科、外国語活動及び総合的な学習の時間などにおいてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努める。

(3)　生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう、家庭や地域社会との連携に努める。

**【特別支援教育の推進】**

(1)　障害のある児童生徒などについては、特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ、個々の児童生徒の障害等の状態に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に推進するよう努める。

(2)　特別支援学級において実施する特別の教育課程については、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため自立活動を取り入れるとともに、各教科の目標や内容を下学年の教科の目標や内容に替えたりするなどして、児童生徒の実態に応じた編成に努める。

(3)　障害のある児童生徒に対して、通級による指導を行い、特別の教育課程を編成する場合には、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第７章に示す自立活動の内容を参考とし、具体的な目標や内容を定め、指導を行う。その際、効果的な指導が行われるよう、各教科等と通級による指導との関連を図るなど、教師間の連携に努める。

(4)　障害のある児童生徒などについては、家庭、地域及び医療や福祉、保健、労働等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で教育的支援を行うために、個別の教育支援計画の作成、活用に努めるとともに、各教科等の指導に当たっては個々の児童生徒の実態を的確に把握し、個別の指導計画の作成、活用に努める。

(5)　児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応するため、校内における全校的な支援体制を確立し、特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実に努める。

(6)　ＬＤやＡＤＨＤ、高機能自閉症など困り感のある児童生徒への教育支援の充実に向け、特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談を活用しつつ家庭や医療・福祉等の関係機関と連携して、個に応じた指導目標や内容、指導方法、指導体制の工夫に努める。

(7)　障害による学習上、生活上の困難を主体的に改善・克服するため、授業における積極的なＩＣＴ機器の活用などを通して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努める。

**【社会の変化に対応する力を育てる教育の推進】**

**キャリア教育**

(1)　児童生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実に努める。

(2)　校長のリーダーシップのもと、校内の組織体制を整備し、学年や学校全体の教師が共通の認識に立って指導計画の作成に当たるなど、学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育の効果的な推進に努める。

(3)　職場見学や職場体験活動、社会人講話等を効果的に実施し、児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実に努める。

(4)　小学校においては、将来の生活や社会と関連付けながら、見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。

(5)　中学校においては、現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考え、学ぶことと働くことの意義を意識して学習の見通しをもったり、振り返ったりする機会を設けるなど主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。

(6)　産業構造や進路を巡る環境の変化等について、家庭・保護者との共通理解を図りながら、児童生徒が社会の中での自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけの充実に努める。

(7)　児童生徒に自分が社会の一員であり、主権者であるという自覚を持たせることができるよう社会科や総合的な学習の時間などにおいて児童生徒の発達の段階に応じた学習の充実に努める。

**国際理解教育**

(1)　姉妹都市や近隣諸国との国際交流の促進、ＡＬＴやネイティブ・スピーカーの活用

を図るなどして、国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進に努める。

(2)　小学校においては、外国語活動及び外国語の指導時数を確保するため、短時間学習を含めた弾力的な授業時間の設定や時間割の編成に努める。

**情報教育**

(1)　児童生徒にコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するなどの情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するため、必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実に努める。また、各種の統計資料や新聞、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用に努める。

(2)　小学校では、各教科等において、コンピュータの基本的な操作を確実に身に付けるための学習活動やプログラミング的思考を育む教育活動の充実に努める。

(3)　中学校では、各教科等において、情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。

## 2　信頼される学校づくりの推進

**学校と家庭・地域が教育活動の目標を共有し、ともに協働して組織的に課題に対応する「地域とともにある学校」をつくり、子供たちに社会で生きて働く力や生涯にわたって学び続ける態度を育てることが大切です。**

**また、教職員一人一人の学校経営参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる研修を充実し、教職員の資質向上を図ることが必要です。**

**【地域とともにある学校づくり】**

(1)　全教職員が自主的・主体的に学校運営に参画し校務を遂行する組織マネジメントの充実に努める。その際、文科省や道教委の指定事業の趣旨を踏まえた取組の充実に努める。

(2)　学校と家庭・地域が教育活動の目標を共有し、ともに協働して組織的に課題に対応する地域とともにある学校いわゆるコミュニティ・スクールの導入、取組の充実に努める。

(3)　幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校、高等学校の各学校段階間の円滑な接続に配慮した教育の推進に努める。とりわけ、小・中学校においては、学校や地域の実態に応じて、9年間を通じた教育課程の編成による小中一貫教育の推進に努める。

(4)　学校や地域の実態等に応じ、教育活動の実施に必要な人的又は物的な体制を家庭や地域の人々の協力を得ながら整えるなど、家庭や地域社会との連携及び協働を深めることや高齢者や異年齢の子供など地域における世代を越えた交流の機会の設定に努める。

(5)　他の小・中学校や幼稚園、認定こども園、保育所、高等学校、特別支援学校などとの連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むよう努める。

(6)　学校評価については、教育課程の編成、実施、改善が学校運営の中核になることを踏まえ、カリキュラム・マネジメントと関連付けながら実施するよう努める。
(7)　教育目標を効果的に達成するため、全教職員が年度の重点教育目標等を共有し、協働して取り組む組織体制の確立と学校評価、学校職員人事評価など学校改善に生かす評価の工夫に努める。
(8)　教職員が子どもと向き合う時間を確保に向けた業務改善の取組の推進に努める。
(9)　文科省や道教委の指定事業の趣旨を踏まえた取組の充実に努める。

**【教職員の資質向上】**

(1)　教職員のキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めるとともに、外国語教育の早期化・教科化、ＩＣＴの活用などの新たな課題に対応できる力量を高める研修の充実に努める。
(2)　今日的な教育課題の解決に向けて、名寄市教育研究所の研究班活動や第2次名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組等との連携を図り、小中学校が一体となった研修の推進に努める。
(3)　学校の教育課題の解決に向けて、教職員一人一人の参画意識を高め、専門性・創造性を発揮させる校内研究(研修)の推進に努める。
(4)　教職員の専門性や指導力を高めるため、各種研修会への参加など教職経験に応じた研修の充実に努める。
(5)　校内研修等において服務規律ハンドブック等を活用し、服務規律の保持の徹底に努める。

## 3　安全安心な教育環境の整備

**子供たちが安心して学ぶことができる教育環境を確保するため、事件・事故等の要因となる危険を早期に発見し、速やかに対応する危機管理体制を確立することが大切です。**

**【危機管理体制の確立】**

(1)　生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
(2)　教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実を図り、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
(3)　教室や職員室など校舎内外の日常的な美化・整理整頓を行い、安全で潤いのある教育環境の整備に努める。

## 1 学習指導

(1)　各教科等の指導内容については、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、そのまとめ方や重点の置き方に適切な工夫を加え、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して資質・能力を育む効果的な指導ができるようにする。

(2)　児童生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実に努める。

(3)　言語能力の育成を図るため、必要な言語環境を整えるとともに、国語科を要としつつ各教科等の特質に応じて、児童生徒の言語活動の充実に努める。

(4)　児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れた指導の充実に努める。

(5)　各教科の特質に応じた体験活動を重視し、家庭や地域社会と連携しつつ体系的・継続的に実施するよう努める。

(6)　児童生徒が自ら学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習の促進に努める。

(7)　学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、自主的、自発的な学習活動や読書活動の充実に努める。また、地域の図書館や博物館などの施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動の充実に努める。

(8)　授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うよう、全小中学校で一貫して取り組む学習規律や学校として必要な学習規律の徹底に努める。

(9)　児童生徒が基礎的・基本的な知識及び技能の習得を含め、学習内容を確実に身に付けることができるよう、児童生徒や学校の実態に応じ、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れるなど、指導方法や指導体制の工夫改善により、個に応じた指導の充実に努める。

(10)　児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにするとともに、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果をとらえ、指導の改善や学習意欲の向上を図る評価の工夫に努める。

## 2 道徳教育

(1)　校長や教頭などの参加、他の教師との協力的な指導などについて工夫し、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実に努める。

(2)　道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導に努める。
(3)　児童生徒自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるような工夫に努める。
(4)　児童生徒が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、小学校においては自分の考えを基に話し合ったり書いたりするなどの言語活動、中学校においては自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実に努める。
(5)　児童生徒の発達の段階や特性等を考慮し、指導のねらいに即して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等を適切に取り入れるなど、指導方法の工夫に努める。
(6)　児童生徒の発達の段階や特性等を考慮し、情報モラルに関する指導の充実に努める。
(7)　道徳科の授業を公開したり、授業の実施や地域教材の開発や活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携に努める。
(8)　児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める。

**3　特別活動**

(1)　学級活動、児童会・生徒会活動、クラブ活動の指導については、指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、児童生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにすること。その際、よりよい生活を築くために自分たちできまりをつくって守る活動などの充実に努める。
(2)　児童生徒及び学校の実態並びに道徳教育の重点などを踏まえ、各学年において取り上げる指導内容の重点化に努める。
(3)　学校生活への適応や人間関係の形成などについては、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方の趣旨を踏まえた指導の充実に努める。
(4)　異年齢集団による交流を重視するとともに、幼児、高齢者、障害のある人々などとの交流や対話、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会を通して、協働することや、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることの喜びを得られる活動の充実に努める。

**4　総合的な学習の時間**

(1)　探究的な学習の過程においては、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動の充実に努める。
(2)　探究的な学習の過程においては、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用して、情報を収集・整理・発信するなどの工夫に努める。
(3)　自然体験やボランティア活動、中学校における職場体験活動等の社会体験、ものづ

くり、生産活動などの体験活動、観察・実験、見学や調査、発表や討論などの学習活動を積極的に取り入れるよう努める。

(4)　グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ、全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制の工夫に努める。

(5)　体験活動については、各学校において定める目標及び内容を踏まえ、探究的な学習の過程に適切に位置付けるよう努める。

(6)　学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用に努める。

(7)　国際理解に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動の充実に努める。

(8)　情報に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動の充実に努める。

(9)　中学校において、職業や自己の将来に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、自己を理解し、将来の生き方を考えるなどの学習活動の充実に努める。

**5　生徒指導**

(1)　児童生徒の自己実現を図るため、学習指導を含む日常の学校生活において、児童生徒の発達段階に応じた自己選択や自己決定の場や機会を設定し、自己指導能力を育成する取組の充実に努める。

(2)　主に集団の場面で行う必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の児童生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカンセリングの双方により、児童生徒の発達の支援の充実に努める。

(3)　児童生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていけるよう、児童生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実に努める。

(4)　いじめや不登校、薬物乱用、ネット上のいじめや出会い系サイト等による福祉犯被害などの未然防止を図り、早期発見・早期指導を行うため、校内の協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会、生徒指導連絡協議会や教育相談センター、名寄市立大学等の関係機関との連携強化に努める。

(5)　学校いじめ防止基本方針に基づき、校長の強力なリーダーシップの下、教職員の一致協力体制を確立し、名寄市教育委員会と適切な連携を図りながら、「名寄市小中学校いじめ防止サミット」など児童生徒が主体的に取り組むいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。

(6)　不登校児童生徒については、保護者や関係機関と連携を図り、心理や福祉の専門家の助言又は援助を得ながら、社会的自立を目指す観点から、個々の児童生徒の実態に応じた情報の提供その他の必要な支援に努める。

(7)　海外から帰国した児童生徒については、学校生活への適応を図るとともに、外国に

おける生活経験を生かすなどの適切な指導に努める。

**6 健康教育**

(1)　体育に関する指導については、児童生徒が自ら進んで運動に親しむ資質・能力を身に付け、心身を鍛えることができるようにするため、教科としての体育科、保健体育科において基礎的な身体能力の育成を図るとともに、学校教育活動全体を通した効果的な取組の充実に努める。

※学校教育活動全体を通した効果的な取組例

小学校：運動系のクラブ活動、運動会、遠足や集会などの特別活動や教育課程外の学校教育活動など

中学校：運動会、遠足や集会などの特別活動や運動部活動など

(2)　生涯スポーツの観点に立ち、スキー、カーリングなど地域の教育資源を生かした活動や縄跳びなど各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」の取組等の充実に努める。

(3)　全国体力・運動能力、生活習慣等調査の結果を踏まえ、児童生徒一人一人の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童生徒自らが体力・運動能力の課題の解決に取り組む活動の工夫に努める。

(4)　健康に関する指導については、児童生徒が身近な生活における健康に関する知識を身に付けることや、必要な情報を自ら収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、積極的に健康な生活を実践することのできる資質・能力の育成に努める。

(5)　食育の推進においては、児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることにより、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育んでいくための基礎が培われるよう、栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性などの指導の充実に努める。

(6)　食に関する指導に当たっては、体育科における望ましい生活習慣の育成や、家庭科における食生活に関する指導、特別活動における給食の時間を中心とした指導などを相互に関連させながら、学校教育活動全体として効果的に取り組む。

(7)　食に関する指導に当たっては、栄養教諭等の専門性を生かすなど教師間の連携に努めるとともに、地域の産物を学校給食に使用するなどの創意工夫を行いつつ、学校給食の教育的効果を引き出すよう取り組む。

(8)　家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実施や給食指導等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど食育の充実に努める。

(9)　食物アレルギーを有する児童生徒が安全に学校給食を楽しむことができるよう、児童生徒の実態等を踏まえた適切な対応に努める。

(10)　安全に関する指導においては、身の回りの生活の安全、交通安全、防災に関する指導や、情報技術の進展に伴う新たな事件・事故防止、国民保護等の非常時の対応等の新たな安全上の課題に関する指導を一層重視し、安全に関する情報を正しく判断し、安全のための行動に結び付けるように指導する。

(11)　心身の健康の保持増進に関する指導においては、情報化社会の進展により、様々な

健康情報や性・薬物等に関する情報の入手が容易になっていることなどから、児童生徒が適切に行動できるようにする指導の充実に努める。

(12)　児童の口の健康と虫歯予防のため、全小学校でフッ化物洗口の適切な実施に努める。

**7　へき地・複式教育**

(1)　小規模校の特性を生かし、地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進を図る指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。

(2)　地域の自然や文化などの教育資源を活用し、体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫に努める。

(3)　ＩＣＴを効果的に活用するなどして、児童生徒に学び方を身に付けさせ、主体的な学習を促す「直接指導」や「間接指導」の充実に努める。

(4)　児童生徒の社会性や創造性の伸長を図るため、集合学習や交流学習等の促進に努める。また、集合学習や交流学習等の計画、実施を通して、授業実践交流や研修の共同化に努める。

**8　通学区域の弾力化**

(1)　小規模校における通学区域外の就学制度(バリアフリースクール)を設け、豊かな自然環境に恵まれた本市の校外小規模においては、児童生徒の豊かな心とたくましい体を育成するため、基幹産業を活用した特色ある学習活動の工夫に努める。

中名寄小学校：各学年 8名以内(通常の通学区域内通学者を含む)
智恵文小学校：各学年10名以内(　　〃　　)
智恵文中学校：各学年20名以内(　　〃　　)
風連下多寄小：各学年 8名以内(　　〃　　)

**9　教育関係機関等との連携**

(1)　名寄市教育委員会及び教育関係機関と緊密に連携し、情報を共有することにより学校の諸課題の解決を図るとともに、効果的な運営の推進に努める。

(2)　少年団活動、学校支援地域本部事業、部活動など課外の諸活動・事業の効果的な取組に向けて、関係機関・団体との連携に努める。

# 平成30年度名寄市学校教育推進計画全体構造図

## 名寄市総合計画(第2次)

## 学校教育の重点施策

**基本事業1** 「生きる力」を育てる教育の推進

**基本事業2** 信頼される学校づくりの推進

**基本事業3** 安全安心な教育環境の整備

### 教育経営・教育研究

| 社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善 | 確かな学力を育てる教育の推進 | 豊かな心を育てる教育の推進 | 健やかな体を育てる教育の推進 | 特別支援教育の推進 | 社会の変化に対応する力を育てる教育の推進 | 地域とともにある学校づくり | 教職員の資質向上 | 危機管理体制の確立 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □組織的かつ計画的に学校の教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメントの充実<br>□教育課程の編成についての基本的な方針を家庭や地域とも共有する取組の充実<br>□児童生徒の育成を目指す資質・能力を明確にした教育活動の推進 | □基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を育む教育の充実<br>□言語活動など学習の基盤をつくる活動の充実<br>□家庭との連携による、児童生徒の学習習慣の確立 | □道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実<br>□特別の教科である道徳を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実<br>□集団宿泊的活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験の充実<br>□学校・家庭・地域における読書活動の充実 | □健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実<br>□各教科等のそれぞれの特質に応じて適切に行う学校における食育の推進並びに体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持に関する指導の充実<br>□家庭や地域社会との連携の充実 | □児童生徒の障害等の状態に応じた指導の充実<br>□個別の教育支援計画の作成、活用<br>□特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実<br>□特別支援教育専門家チーム等による教育相談の活用 | **【キャリア教育】**<br>□特別活動を要としつつ各教科等の特質に応じたキャリア教育の充実<br>□学校の教育活動全体を通じて行うキャリア教育の効果的な取組の推進<br>□児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実<br>□発達段階に応じた主権者教育の充実<br>**【国際理解教育】**<br>□国際理解と豊かな地域文化の創造を促す教育活動の推進<br>□小学校における外国語活動及び外国語の指導時数の確保<br>**【情報教育】**<br>□情報活用能力(情報モラルを含む)を育成する学習活動の充実<br>□小学校におけるプログラミング的思考を育む教育活動の充実 | □全教職員が自主的・主体的に校務を遂行する組織マネジメントの充実<br>□学校と家庭・地域がともに協働して組織的に課題に対応する地域とともにある学校いわゆるコミュニティ・スクールの導入、取組の充実<br>□各学校段階間の円滑な接続<br>□高齢者や異年齢の子供など地域における世代を越えた交流の機会の充実<br>□障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会の充実<br>□教職員が子どもと向き合う時間を確保に向けた業務改善の取組の推進<br>□各種指定事業の趣旨を踏まえた経営 | □教職員のキャリアステージに応じて求められる資質能力を高める研修の充実<br>□第2次名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組による小中学校が一体となった研修の推進<br>□教職員一人一人の専門性・創造性を発揮させる校内研究(研修)の推進<br>□服務規律の保持の徹底 | □生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実<br>□教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実<br>□校舎内外の日常的な美化・整理整頓、安全で潤いのある教育環境の整備 |

### 教育

| 学習指導 | 道徳教育 | 特別活動 | 総合的な学習の時間 | 生徒指導 | 健康教育 | へき地・複式教育 | 通学区域の弾力化 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| □主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進<br>□言語活動の充実<br>□学習の見通しを立てたり振り返ったりする活動の充実<br>□各教科の特質に応じた体験 | □道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実<br>□道徳科を要とした計画的・発展的な指導の充実<br>□自分の考えを基に話 | □児童生徒の自発的、自治的な活動の充実<br>□ガイダンスとカウンセリングの双 | □探究的な学習の過程の充実<br>□コンピュータや情報通信ネットワークなどの適切かつ効果的な活用 | □自己指導能力を育成する取組の充実<br>□望ましい人格を形成する教育相談の充実<br>□問題行動の未然防止、早期発見・早 | □学校教育活動全体を通した体育に関する効果的な取組の充実<br>□地域や各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」等の充実<br>□児童生徒自ら積極的に健 | □地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進<br>□体験的・問題解決的な活動を取り入れた指 | □郊外小規模校における通学区域外就学制度の設定<br>□基幹産業を活用した特色ある学習活動の |

| 指導 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動の重視<br>□児童生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習の促進<br>□学校図書館の計画的な利用とその機能の活用<br>□学習規律の徹底<br>□個に応じた学習の充実<br>□指導の改善や学習意欲の向上に生かす評価の工夫 | し合ったり書いたりするなどの言語活動の充実<br>□問題解決的な学習など指導方法の工夫<br>□情報モラルに関する指導の充実<br>□道徳科の授業公開、地域教材の開発や活用など、家庭や地域社会との共通理解と相互の連携の推進<br>□指導に生かす評価の工夫 | 方の趣旨を踏まえた指導の充実<br>□異年齢集団、幼児、高齢者、障害のある人々などとの交流や対話、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習の機会の充実 | □自然体験や社会体験などの学習活動の充実<br>□多様な学習形態など指導体制の工夫<br>□公民館などの社会教育施設、社会教育関係団体等との連携の推進<br>□中学校における職業や自己の将来に関する学習活動の充実 | 期指導<br>□関係機関との連携<br>□学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策の推進<br>□保護者や関係機関と連携した不登校児童生徒への支援の充実<br>□海外から帰国した児童生徒への適切な指導の充実 | 康な生活を実践する指導の充実<br>□生涯にわたって健やかな心身と豊かな意思決定や行動選択を食育の推進<br>□「早寝・早起き・朝ご飯」運動など食育の充実<br>□食物アレルギーを有する児童生徒への適切な対応<br>□自ら安全に行動できる力を育てる指導の充実<br>□性や薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底 | 導の工夫<br>□学び方を身に付けさせる直接指導や間接指導の充実<br>□集合学習や交流学習等の促進、授業実践交流や研修の共同化 | 工夫<br>**関係機関との連携**<br>□教育委員会及び教育関係機関との効果的な運営の推進<br>□課外の諸活動・事業の効果的な取組の推進、関係機関・団体との連携の充実 |

## 名寄市学校経営計画

### 市内共通モデルの学校経営計画

| | | | |
|---|---|---|---|
| **Ⅰ 学校の教育目標** | | | |
| **Ⅱ 学校の中期ビジョン** | 1 中期目標(おおむね3年程度の目標) | 2 経営の基本方針 (下表参照) | 3 指導の基本方針 (下表参照) |
| **Ⅲ 本年度の学校経営** | 1 年度の重点教育目標 | 2 年度の重点経営方針 | 3 年度の指導の重点 |
| **Ⅳ 本年度の学校経営の評価** | 1 年度の重点教育目標の実現状況 | 2 年度の重点経営方針の実現状況 | 3 年度の指導の重点の実現状況 |

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **経営の基本方針** | 地域とともにある学校づくり | 全教職員の経営参画を図る組織マネジメント | 教育目標の具現化を目指すカリキュラム・マネジメント | 教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒相互のよりよい人間関係を育てる学年・学級経営 | キャリアステージに応じて求められる資質を高める研修活動 | 安全で潤いのある教育環境整備 | 組織で取り組む危機管理 | 適切で効率的な運用を図る学校事務 | 指定事業の趣旨を踏まえた経営 | |
| **指導の基本方針** | 主体的・対話的で深い学びによる確かな力を育む学習指導 | 豊かな心を育む道徳教育 | 個と集団のよさを実感する特別活動 | 地域の特色や今日的課題を踏まえた総合的な学習の時間 | 自己をよりよく導く生徒指導 | 一人一人のニーズに応じた特別支援教育 | よりよい生き方を目指すキャリア教育 | 外国語によるコミュニケーション能力を育む国際理解教育 | 情報活用能力を育む情報教育 | 生命を尊び、自ら心身を鍛える健康教育 | 地域の特質を生かしたへき地・複式教育 | 自主性や主体性を育む部活動 |

## 第２次名寄市教育改善プロジェクト委員会

### 教育経営の充実に関する研究グループ

**■学校経営の充実**
○本市共通のモデル的な学校経営計画の改善・充実
○社会に開かれた教育課程(各教科、領域等)の編成
○コミュニティ・スクール等の導入
○学校力向上に関する総合実践事業など各種指定事業の情報共有

**■学級経営の充実**
○学級経営プログラム等の改善
○困り感のある児童生徒が在籍することを前提とした学級経営の充実

### 教育研究（研修）の充実に関する研究グループ

**■新たな課題に対応できる力量を高める研修**
○「特別の教科道徳」、外国語活動、外国語等の授業研究
○道徳科の読み物資料の作成
○特別な支援を必要とする児童生徒の指導の充実
○ICT 機器の効果的な活用の調査・研究

**■体育、保健体育の充実**
○体力・運動能力調査の結果・分析を踏まえた研修の実施
○体育、保健体育の授業研究

### 教育指導の充実に関する研究グループ

**■学習指導・生徒指導の充実**
○主体的・対話的で深い学びの理解と各学校の授業研究

○問題行動の理解、いじめ・不登校への対応の交流・研修

# ２　市内小中学校の概要

## １　市内小学校一覧

（平成 30 年５月１日現在）※ 教員数等には休職者を含む

| 学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話・FAX 番号 | 児童数 | | 学級数 | 教員数 | 養護 | 栄養 | 事務 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名寄小学校 | 林　雅裕 | 西１条南１丁目２番地 | 01654-3-3304<br>01654-3-3305 | 特学<br>普通 | 11<br>214 | 4<br>9 | 5<br>15 | 1 | 1 | 2 |
| 名寄南小学校 | 三浦　礼子 | 西６条南12丁目55番地２ | 01654-2-4164<br>01654-2-4165 | 特学<br>普通 | 12<br>470 | 5<br>15 | 6<br>25 | 1 | | 1 |
| 名寄東小学校 | 野村　智明 | 東３条南３丁目11番地 | 01654-2-2041<br>01654-2-4179 | 特学<br>普通 | 14<br>124 | 5<br>6 | 7<br>10 | 1 | | 1 |
| 名寄西小学校 | 堀江　充 | 西７条南１丁目18番地 | 01654-2-4177<br>01654-2-4178 | 特学<br>普通 | 10<br>242 | 4<br>9 | 5<br>11 | 1 | | 1 |
| 中名寄小学校 | 伊端　俊紀 | 字日彰285番地 | 01654-2-3889<br>01654-9-5640 | 特学<br>普通 | <br>17 | <br>3 | <br>3 | 1 | | 1 |
| 智恵文小学校 | 橋　早智子 | 字智恵文12線南３番地 | 01654-8-2241<br>01654-9-3550 | 特学<br>普通 | 4<br>25 | 2<br>3 | 2<br>3 | 1 | | 1 |
| 風連下多寄小学校 | 井川　健 | 風連町字瑞生1558番地 | 01655-3-3932<br>01655-3-3940 | 特学<br>普通 | 1<br>5 | 1<br>2 | 1<br>1 | 0 | | 0 |
| 風連中央小学校 | 赤澤　静恵 | 風連町西町201番地 | 01655-3-2031<br>01655-3-2569 | 特学<br>普通 | 11<br>135 | 5<br>6 | 6<br>9 | 1 | 1 | 1 |
| 計 | | 小学校　８校 | | 特学<br>普通 | 63<br>1,232 | 26<br>53 | 32<br>77 | 7 | 2 | 8 |

## ２　市内中学校一覧

（平成 30 年５月１日現在）※ 教員数等には休職者を含む

| 学校名 | 校長名 | 所在地 | 電話・FAX 番号 | 生徒数 | | 学級数 | 教員数 | 養護 | 事務 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名寄中学校 | 江口　貴彦 | 字豊栄101番地１ | 01654-2-2147<br>01654-2-2148 | 特学<br>普通 | 14<br>268 | 5<br>9 | 5<br>17 | 1 | 1 |
| 名寄東中学校 | 野宮　勉 | 西２条北８丁目１番地３ | 01654-2-3174<br>01654-2-3175 | 特学<br>普通 | 12<br>227 | 5<br>7 | 5<br>15 | 1 | 1 |
| 智恵文中学校 | 妹尾　洋美 | 字智恵文11線北２番地 | 01654-9-3010<br>01654-9-3011 | 特学<br>普通 | 4<br>16 | 3<br>3 | 4<br>8 | 1 | 1 |
| 風連中学校 | 菅藤　正伸 | 風連町新生町 167 番地１ | 01655-3-2026<br>01655-3-2266 | 特学<br>普通 | 4<br>64 | 3<br>3 | 4<br>8 | 1 | 1 |
| 計 | | 中学校　４校 | | 特学<br>普通 | 34<br>575 | 16<br>22 | 18<br>48 | 4 | 4 |

※小・中学校とも電話・FAX 番号欄は上段が電話番号、下段が FAX 番号

## ３　小中学校児童生徒数の推移

### （１）　小学校

| 年　次 | 区　分 | 学校数 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 児童数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成 28 年度 | 風連地区 | 2 | 29 | 22 | 21 | 36 | 22 | 24 | 154 |
| | 名寄地区 | 6 | 198 | 205 | 192 | 220 | 176 | 194 | 1,185 |
| | 計 | 8 | 227 | 227 | 213 | 256 | 198 | 218 | 1,339 |
| 平成 29 年度 | 風連地区 | 2 | 23 | 27 | 22 | 22 | 37 | 22 | 153 |
| | 名寄地区 | 6 | 187 | 187 | 204 | 191 | 206 | 173 | 1,148 |
| | 計 | 8 | 210 | 214 | 226 | 213 | 243 | 195 | 1,301 |
| 平成 30 年度 | 風連地区 | 2 | 22 | 23 | 26 | 22 | 23 | 36 | 152 |
| | 名寄地区 | 6 | 204 | 178 | 181 | 198 | 183 | 199 | 1143 |
| | 計 | 8 | 226 | 201 | 207 | 220 | 206 | 235 | 1295 |

### （２）　中学校

| 年　次 | 区　分 | 学校数 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 生徒数 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平成 28 年度 | 風連地区 | 1 | 23 | 34 | 29 | 86 |
| | 名寄地区 | 3 | 192 | 210 | 202 | 604 |
| | 計 | 4 | 215 | 244 | 231 | 690 |
| 平成 29 年度 | 風連地区 | 1 | 25 | 23 | 37 | 85 |
| | 名寄地区 | 3 | 189 | 191 | 210 | 590 |
| | 計 | 4 | 214 | 214 | 247 | 675 |
| 平成 30 年度 | 風連地区 | 1 | 20 | 25 | 23 | 68 |
| | 名寄地区 | 3 | 170 | 187 | 184 | 541 |
| | 計 | 4 | 190 | 212 | 207 | 609 |

## ４　中学校卒業生の進路状況

| 年　次 | 区　分 | 卒業者数 | 進学者 | | 就職者 | | その他 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 人数 | 率(%) | 人数 | 率(%) | 人数 | 率(%) |
| 平成 28 年 3 月 | 風連地区 | 27 | 27 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 190 | 188 | 99.0 | 1 | 0.5 | 1 | 0.5 |
| | 計 | 217 | 215 | 99.0 | 1 | 0.5 | 1 | 0.5 |
| 平成 29 年 3 月 | 風連地区 | 29 | 29 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 201 | 201 | 100.0 | | | | |
| | 計 | 230 | 230 | 100.0 | | | | |
| 平成 30 年 3 月 | 風連地区 | 37 | 37 | 100.0 | | | | |
| | 名寄地区 | 211 | 208 | 98.6 | | | 3 | 0.4 |
| | 計 | 248 | 245 | 98.8 | | | 3 | 0.2 |

# ３　幼児教育

本市には、認定こども園が２園、私立幼稚園が３園あり、それぞれの園において認定こども園教育・保育要領又は幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。これまでの私立幼稚園振興補助並びに幼稚園就園奨励費補助による助成・支援を行っていた制度から、全ての園が平成２７年度施行の子ども・子育て支援法に基づく施設型給付費による施設運営に移行しています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

## １　名寄市内の認定こども園・幼稚園

（平成 30 年５月１日現在）

| 幼稚園名 | 住　　所 | 電　話 | 代表者 | 設立年月日 | 就園状況 | | | 合 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | ３歳児 | ４歳児 | ５歳児 | |
| 学校法人<br>山崎学園<br>光名幼稚園 | 西２条南10丁目１番地 | 01654-2-4741 | 園長<br>山崎　博信 | S33.６.10 | 25 | 18 | 30 | 73 |
| 学校法人<br>北海道キリスト教学園<br>認定こども園名寄幼稚園 | 東１条南２丁目１番地 | 01654-3-0280 | 園長<br>中川　貞惠 | S25.９.１ | 40 | 33 | 45 | 118 |
| 学校法人<br>名寄大谷学園<br>名寄大谷認定こども園 | 西５条南２丁目10番地 | 01654-2-2668 | 園長<br>白井　慶子 | S33.５.６ | 22 | 26 | 37 | 85 |
| 学校法人<br>旭川カトリック学園<br>名寄カトリック幼稚園 | 西３条南４丁目17番地 | 01654-2-2632 | 園長<br>長尾　俊宏 | S25.９.13 | 36 | 27 | 32 | 95 |
| 学校法人<br>風連学園<br>風連幼稚園 | 風連町西町284番地 | 01655-3-2133 | 園長<br>加藤　紀子 | S29.５.10 | 12 | 14 | 14 | 40 |

## ２　子ども・子育て支援運営事業

・施設型給付費負担（認定こども園・幼稚園が保護者の代理で給付を受け、サービスを提供）

**※ 平成２２年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口がこども未来課に変更となりました。**

# ４　学校給食センター

## １　施設の概要等

・名　　称　　名寄市学校給食センター
　　TEL　01654-2-4307（FAX　2-4308）
・位　　置　　〒096-0035
　　北海道名寄市西５条北10丁目54番地６
・開設年月　　平成３年12月改築　（平成４年１月供給開始）
・改修工事　　平成18年12月（風連町合併に伴う改修工事）
・敷地面積　　3,257.75 ㎡
・建物面積　　997.163 ㎡　　（建築基準法 1,104.789 ㎡）
・構　　造　　鉄筋コンクリート造一部２階建
・排水処理施設　　80㎡　　（回転円板方式）

## ２　名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年（1947年）に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っております。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年（1966年）になってからであり、現名寄小学校の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、１日約6,300 食を供給しておりました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが施設の老朽化に伴い、平成４年１月（1992 年）より設備の整った現学校給食センターに移転し、現在に至っております。

## ３　名寄市の学校給食の沿革

| | |
|---|---|
| 昭和22年 | 名寄小学校で学校給食開始 |
| 昭和23年 | 名寄南小学校で学校給食開始 |
| 昭和40年９月 | センター建設着工（名寄市西１条南１丁目） |
| 昭和40年12月 | センター完成（鉄筋ブロック造一部２階建　・470.55 ㎡） |
| 昭和41年４月 | センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254 食） |
| 昭和45年８月 | 食缶　・食器の配送を廃止し、パック方式に |
| 昭和49年６月 | 使い捨て容器を廃止し、回収食器に |
| 昭和52年９月 | 米飯給食開始 |
| 昭和61年６月 | パック方式を廃止し、食缶方式に |
| 昭和63年１月 | もち給食開始 |
| 昭和63年４月 | 赤飯給食開始 |
| 平成３年５月 | 現センター建設着工 |
| 平成３年12月 | 現センター完成 |
| 平成４年１月 | 供給開始 |
| 平成５年４月 | アレルギー給食開始 |
| 平成６年５月 | 会食型高齢者給食開始（随時） |
| 平成７年７月 | 宅配型高齢者給食開始（毎週　金曜日） |
| 平成９年５月 | サテライト型デイサービス給食開始（毎週　月・水・金曜日） |
| 平成15年２月 | 国体給食 |
| 平成18年12月 | 風連町・名寄市合併に伴う改修工事 |
| 平成19年４月 | 風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合 |
| 平成19年４月 | 会食型・宅配型高齢給食の民営化 |
| 平成19年４月 | 風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合 |
| 平成20年４月 | 栄養教諭制度の導入　２名配置(名寄小学校１名　風連中央小学校１名) |
| 平成23年３月 | ＨＡＣＣＰ評価取得 |

## ４　学校給食センターの状況

・平成 30 年度事業計画

| | | |
|---|---|---|
| 小中学校　全校 2,129 名 | 小学校　8 校 1,295 名＋教員 143 名 | 281,800 食/年 |
| (児童生徒 1,904 名＋教職員 225 名) | 中学校　4 校　609 名＋教員 82 名 | 135,400 食/年 |
| 幼稚園、保育所（僻地）、　試食等 | | 25,000 食/年 |

| | |
|---|---|
| 年間稼動日数（207 日） | 441,400 食/年 |
| １日当たり平均食数 | 2,132 食/日 |

・平成 30 年度学校給食センター稼働日　　207 日

| | | |
|---|---|---|
| １学期 | ４月５日～7 月 25 日 | 76 日間 |
| ２学期 | 8 月 20 日～12月 21 日 | 85 日間 |
| ３学期 | 1 月 16 日～3 月 22 日 | 46 日間 |
| 合　　計 | | 207 日間 |

・給食費

| | | 一食単価 | |
|---|---|---|---|
| 小　学　校 | 低学年（１・２年生） | ２５０円 | H27年度改正 |
| | 中学年（３・４年生） | ２５２円 | |
| | 高学年（５・６年生） | ２５４円 | |
| 中　学　校 | | ２９７円 | |

・給食の内容

| | |
|---|---|
| 米　　飯 | 週 3.5 回 |
| パ　　ン | 週 0.5 回　（２週間に１回） |
| 麺　　類 | 週　１回 |

・職員構成　　(36 名)　　(平成 30 年 4 月 1 日現在)

| 市職員 | | | 道職員 | 嘱託職員 | 臨時職員 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 所長 | 総務係長 | 調理師 | 栄養教諭 | 配送・ボイラー | 栄養士 | 調理職員 | 調理ﾊﾟｰﾄ |
| 1 | 1 | 0 | 2 | 6 | 2 | 2 | 22 |

・特色

①　平成５年４月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。

・アレルギー給食（平成 30 年 5 月 1 日現在 30 名の児童生徒へ供給）

小学校（児童）　24 名

中学校（生徒）　6 名

②　米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。

③　季節の行事食を提供。（各 節句かしわもち、さくらもち、大好きパン、ｸﾘｽﾏｽｹｰｷ等）学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。

④　地場産品の活用

地場産業の育成、食育に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。

地元小麦粉・もち米粉を使用したパンの提供や地場産米の使用で消費拡大を図っています。地場産もち米による赤飯やおこわ給食も実施しております。

学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について学ぶとともに、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

・平成 29 年度の地場産使用率　67.3%　（重量ベース）

# 5　名寄市立大学

## 1　名寄市立大学の理念、目的、教育目標、教育の組織・内容・方法

### （１）大学の理念

名寄市立大学は、ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

### （２）大学の目的

◎名寄市立大学は、高度な知識と技術および高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支えうる専門職を育成する。

◎名寄市立大学は、地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来をひらく。

### （３）教育の目標

◎　多様でかけがえのない存在である「ひと」への理解を深めるとともに、自らの人間性と能力を高める力を育む。

◎　専門領域の知識や技術を高めるとともに、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を育む。

◎　関連する諸領域を幅広く理解し、支援サービスの連携・協働においてパートナーシップを発揮できる力を育む。

◎　幅広い理解力・判断力を養う教養や社会問題への関心を持ち続ける心を育む。

◎　地域社会はもとより、人類が抱える諸問題と異文化にも関心を持ち、広く世界の中で自己の存在を位置づけ行動する意欲を育む。

### （４）教育の組織・内容・方法

◎　教養教育と連携教育を基礎に、栄養・看護・社会福祉などの専門領域の特殊性にも配慮した体系的なカリキュラムに基づいた授業

◎　学生個々人の学習意欲を涵養する少人数教育

◎　実践力を養成するための質の高い臨地実習および現場実習

◎　地域社会の教育的活用と地域貢献

◎　教職員の FD および SD による教育の質の向上と研究の推進

## 2　名寄市立大学の現況

（1）学生の在籍状況（単位：人）　　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| 学科等／学年 | 保健福祉学部 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 栄養学科 | | | 看護学科 | | | 社会福祉学科 | | | 社会保育学科 | | | 合　計 | | |
| | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 小計 | 男 | 女 | 計 |
| １年 | 5 | 37 | 42 | 6 | 44 | 50 | 12 | 41 | 53 | 5 | 45 | 50 | 28 | 167 | 195 |
| ２年 | 7 | 34 | 41 | 5 | 49 | 54 | 20 | 35 | 55 | 4 | 45 | 49 | 36 | 163 | 199 |
| ３年 | 4 | 35 | 39 | 2 | 51 | 53 | 17 | 32 | 49 | 3 | 49 | 52 | 26 | 167 | 193 |
| ４年 | 3 | 39 | 42 | 3 | 45 | 48 | 19 | 40 | 59 | | | | 25 | 124 | 149 |
| 計 | 19 | 145 | 164 | 16 | 189 | 205 | 68 | 148 | 216 | 12 | 139 | 151 | 115 | 621 | 736 |

（2）教員組織（単位：人）　　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| | 学科名 | 学長 | 専任教員数 | | | | | 助手 | 専任教員1人当たり学生数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 計 | | |
| 保健福祉学部 | 栄養学科 | 1 | 4 | 4 | 4 | 5 | 17 | 1 | 9.6人 |
| | 看護学科 | | 9 | 5 | 4 | 7 | 25 | 2 | 8.2人 |
| | 社会福祉学科 | | 8 | 5 | 3 | 1 | 17 | 0 | 12.7人 |
| | 社会保育学科 | | 6 | 4 | 3 | 0 | 13 | 0 | ― |
| | 教養教育部 | | 4 | 3 | 1 | 0 | 8 | 0 | ― |
| 合　計 | | 1 | 31 | 21 | 15 | 13 | 80 | 3 | 9.2人 |

（3）事務組織（単位：人）　　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| 事務局長 | 次長 | 課 | 課長 | 係長 | 係 | 事務補助 | 図書業務 | 就職支援 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 総務課 | (1) | 1 | 3 | 7 | － | － | |
| | | コミュニティケア教育研究センター | 1 | － | － | 1 | － | － | |
| | | 図書館 | 1 | － | － | － | 8 | | |
| | | 教務課 | 1 | 3 | 5 | 1 | － | － | |
| | | 学生課 | 1 | 1 | 2 | － | － | 2 | |
| 1 | 1 | | 4 | 5 | 10 | 9 | 8 | 2 | 40 |

（4）平成 30 年度入試結果（単位：人）　　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| | 入試 | 栄養学科（入学定員40人） | | | | | 看護学科（入学定員50人） | | | | | 社会福祉学科（入学定員50人） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区分 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B |
| 保健福祉学部 | 推薦 | 15 | 44 | 44 | 15 | 2.9 | 20 | 75 | 75 | 20 | 3.8 | 20 | 24 | 24 | 20 | 1.2 |
| | 社会人 | 若干名 | 1 | 1 | 1 | ― | 若干名 | 4 | 4 | 1 | ― | 若干名 | 0 | 0 | 0 | ― |
| | 一般前期 | 21 | 58 | 56 | 25 | 2.2 | 25 | 108 | 94 | 30 | 3.1 | 25 | 108 | 93 | 34 | 2.7 |
| | 一般後期 | 4 | 59 | 18 | 11 | 1.6 | 5 | 104 | 29 | 7 | 4.1 | 5 | 140 | 53 | 6 | 8.8 |

| | 入試 | 社会保育学科（入学定員50人） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 区分 | 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 A | 合格者数 B | 倍率 A/B |
| 保健福祉学部 | 推薦 | 20 | 24 | 24 | 20 | 1.2 |
| | 社会人 | 若干名 | 0 | 0 | 0 | ― |
| | 一般前期 | 25 | 53 | 50 | 32 | 1.6 |
| | 一般後期 | 5 | 62 | 22 | 11 | 2.0 |

（5）平成 29 年度卒業者の就職進学等状況（単位：人）　（平成 30 年 5 月 1 日現在）

| | | 卒業者数 | 就職決定者数 | | 就職率 | 進学者数 | その他 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 保健福祉学部 | 栄養学科 | 42 | 市内 | 1 | 100.0% | 2 | 0 | |
| | | | 道内 | 20 | | | | |
| | | | 道外 | 19 | | | | |
| | | | 小計 | 40 | | | | |
| | 看護学科 | 52 | 市内 | 4 | 100.0% | 1 | 1 | 看護師就業<br>39人（市内 4人）<br>保健師就業<br>10人（市内 0人） |
| | | | 道内 | 36 | | | | |
| | | | 道外 | 10 | | | | |
| | | | 小計 | 50 | | | | |
| | 社会福祉学科 | 50 | 市内 | 2 | 100.0% | 2 | 2 | |
| | | | 道内 | 23 | | | | |
| | | | 道外 | 21 | | | | |
| | | | 小計 | 46 | | | | |
| 合　計 | | 144 | | 136 | | 5 | 3 | |

（６）平成 29 年度卒業者の国家資格取得状況（単位：人）

| 学科名 | 国家資格 | 受験者数（人） | 合格者数（人） | 合格率(%) | 全国新卒合格率(%) |
|---|---|---|---|---|---|
| 栄養学科 | 管理栄養士 | 42 | 42 | 100.0% | 95.8% |
| 看護学科 | 看護師 | 51 | 51 | 100.0% | 96.3% |
| | 保健師 | 13 | 13 | 100.0% | 85.6% |
| 社会福祉学科 | 社会福祉士 | 47 | 32 | 68.1% | 54.6% |
| | 精神保健福祉士 | 14 | 14 | 100.0% | 76.9% |

（７）平成 29 年度卒業者の教員免許取得状況（単位：人）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 保健福祉学部 | 中学校教諭１種 | 社会 | 5 |
| | 高等学校教諭１種 | 公民 | 6 |
| | | 福祉 | 3 |
| | 特別支援学校教諭１種 | 知的・肢体不自由・病弱 | 6 |
| | 栄養教諭１種 | | 7 |

## ３　図書館の概要

（１）施設の概要

| 区分 | 面積 | | 閲覧席数 | 収納可能冊数 |
|---|---|---|---|---|
| 図書館3階 | 1,074.58㎡ | 4,455.45㎡ | 200席 | 約140,000冊 |
| 図書館2階 | 1,440.56㎡ | | | |
| 図書館1階 | 1,940.31㎡ | | | |

※面積には、大講義室、コミュニティケア教育研究センター等を含む。

（２）図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

○蔵書数（単位：冊）

| 年度 | 本館 | | 分館 | | 総和書数 | 総洋書数 | 総蔵書数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 和書 | 洋書 | 和書 | 洋書 | | | |
| 2016 | 56,286 | 2,768 | 31,872 | 1,239 | 88,158 | 4,007 | 92,165 |
| 2017 | － | － | － | － | 90,277 | 4,775 | 95,052 |

○逐次刊行物（単位：冊）

| 年度 | 和雑誌 | | | | | | 洋雑誌 | | | | | | 雑誌総数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 栄養 | 看護 | 社会福祉 | 社保児童 | 共通 | 総数 | 栄養 | 看護 | 社会福祉 | 社保児童 | 共通 | 総数 | |
| 2016 | 16 | 65 | 48 | 19 | 23 | 171 | 15 | 7 | 2 | 0 | 0 | 24 | 195 |
| 2017 | 15 | 69 | 52 | 24 | 26 | 186 | 15 | 7 | 2 | 0 | 0 | 24 | 210 |

○視聴覚資料数

| 年度 | CD | DVD | ビデオ | カセットテープ | 紙芝居 | CD-ROM | 総数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2016 | 134 | 676 | 873 | 0 | 58 | 68 | 1,809 |
| 2017 | 236 | 709 | 866 | 0 | 58 | 6 | 1,875 |

○電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ利用（平成 30 年 3 月 31 日現在）（単位：ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ数）

| メディカルオンライン | CiNii | | 医中誌 | | 聞蔵Ⅱ | EBSCO Academic Search Elite | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| DL数 | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | 検索数 | アクセス数 | アクセス数 | 検索数 |
| 419 | 3,527 | 17,383 | 1,502 | 6,491 | 95 | 166 | 363 |

○図書受入（平成 30 年 3 月 31 日現在）（単位：冊）

| 種類 | 図書 | 雑誌 |
|---|---|---|
| 冊数・誌数 | 2,763(2,498) | 208 (184) |
| 全国平均 | 2,136(2,211) | 495 (501) |

※平均は、平成 29 年度学術情報基盤実態調査-単科公立大学　（括弧内は前年度のデータ）

（３）図書館利用状況

○図書貸出状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

| | 貸出冊数 | | 貸出人数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 冊 | 冊/日 | 人 | 人/日 |
| 総計 | 26,448 | 92.5 | 11,820 | 41.3 |
| | (17,706) | (87.7) | (7,196) | (35.6) |
| 学生 | 21,560 | 75.4 | 9,655 | 33.8 |
| | (14,792) | (73.2) | (6,039) | (29.9) |
| 教職員 | 3,127 | 10.9 | 1,294 | 4.5 |
| | (2,180) | (10.8) | (824) | (4.1) |
| 学外者 | 1,761 | 6.2 | 871 | 6.2 |
| | (695) | (3.4) | (313) | (1.5) |
| 団体等 | 学外者に含む | - | 学外者に含む | - |
| | (39) | (0.2) | (20) | (0.1) |

※括弧内は前年度のデータ　（開館日数 286 日）

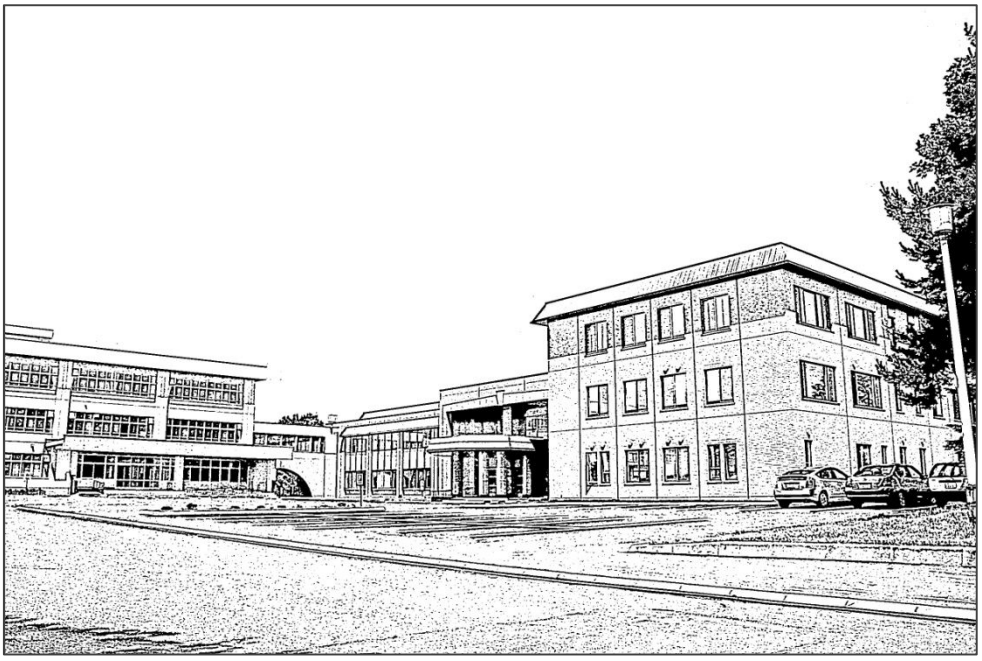
○学科別貸出状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

| | 貸出冊数 | | 貸出人数 | |
|---|---|---|---|---|
| | 冊 | 冊/日 | 人 | 人/日 |
| 栄養 | 5,226 | 18.3 | 2,436 | 8.5 |
| | (3,504) | (17.3) | (1,376) | (6.8) |
| 看護 | 5,880 | 20.6 | 2,965 | 10.4 |
| | (4,186) | (20.7) | (1,710) | (8.5) |
| 社会福祉 | 5,270 | 18.4 | 2,661 | 9.3 |
| | (3,588) | (17.8) | (1,546) | (7.7) |
| 社会保育 | 5,019 | 17.5 | 2,143 | 7.5 |
| | (2,953) | − | (1,201) | (6) |
| 児童 | 4 | 0.0 | 1 | 0.0 |
| | (561) | (2.8) | (206) | (1.0) |

※括弧内は昨年度のデータ

## 4　施設の概要

| 施　設 | 摘要 | | 面　積 |
|---|---|---|---|
| 校地等 | 校舎敷地 | | 42,440㎡ |
| | 運動場(グラウンド) | | 29,633㎡ |
| | 計 | | 72,073㎡ |
| 校舎 | 1号館・新館(管理、情報処理・栄養実習室) | RC造　3階建(一部2階建) | 3,712㎡ |
| | 2号館・恵陵館(社会福祉学科・栄養学科) | RC造　3階建 | 6,932㎡ |
| | 3号館・本館(看護学科・社会保育学科) | RC造　3階建(一部2階建) | 8,652㎡ |
| | 5号館・新棟(看護学科・社会保育学科・学生食堂・売店) | RC造　3階建 | 2,512㎡ |
| 体育館等 | ①体育館(3号館)②多目的ホール(2号館) | 鉄骨造　平屋建 | 2,229㎡ |
| 学生会館 | サークル室・同窓会室等 | RC造　2階建 | 511㎡ |



# ６　就学の助成

## １　就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

（１）平成 30 年度就学援助費の内訳（ただし、※は平成 29 年度実績の平均支給額）

| 区　　分 | | 小学校 | 中学校 | 支給内容 |
|---|---|---|---|---|
| 新入学児童生徒学用品費等 | 1年 | 円<br>40,600 | 円<br>47,400 | 小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品 |
| 学用品費 | 1～6年 | 11,420 | — | 各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品 |
| | 1～3年 | — | 22,320 | |
| 通学用品費 | 2～6年 | 2,230 | — | 通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費 |
| | 2～3年 | — | 2,230 | |
| 体育実技用具費 | スキー | ※ 27,514 | ※ 38,236 | 体育授業の参加に必要な体育実技用具 |
| | 柔道着 | — | 4,590 | |
| 宿泊校外活動費 | | ※<br>92 | ※<br>4,091 | 学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学料などの経費 |
| 修学旅行費 | | ※<br>22,930 | ※<br>53,067 | 修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学料などの経費 |
| 学校給食費 | 1～6年 | ※ 47,722 | — | 学校給食に要する食費の金額 |
| | 1～3年 | — | ※ 55,796 | |
| 医療費 | | ※<br>7,706 | ※<br>4,599 | 伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用　（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白癬、疥癬及び濃痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫病をいう。） |
| クラブ活動費 | | — | 14,800 | 部活動加入者に対し、部活動の実施に必要な用具に係る経費（部活動支援費・後援会費などは除く） |
| 生徒会費 | | — | （上限）5,450 | 生徒会費として一律に負担すべきこととなる経費 |
| ＰＴＡ会費 | | （上限）3,380 | （上限）4,190 | ＰＴＡ活動に要する費用として一律に負担すべきこととなる経費 |

（２）平成 27・28・29 年度就学援助の状況

（単位：千円）

| 区　　分 | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 実施人員 | 215 | 207 | 221 |
| | 決算額 | 15,829 | 15,848 | 17,157 |
| 中学校 | 実施人員 | 116 | 116 | 140 |
| | 決算額 | 13,944 | 12,791 | 16,480 |
| 計 | 実施人員 | 331 | 323 | 360 |
| | 決算額 | 29,773 | 28,639 | 33,597 |

## ２　特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

（１）平成 30 年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成 29 年度実績の平均支給額）

| 区　　分 | | 小 学 校 | 中 学 校 |
|---|---|---|---|
| 新入学児童生徒学用品費等 | 1 年 | 円<br>10,235 | 円<br>11,775 |
| 学用品費等購入費 | 2～6 年 | 5,710 | ― |
| | 2～3 年 | ― | 11,160 |
| 体育実技用具費 | スキー | （上限）13,010 | （上限）18,670 |
| | 柔　道 | ― | （上限）3,755 |
| 宿泊校外活動費 | | ※　38 | ※　2,156 |
| 修学旅行費 | | ※　11,099 | ※　21,970 |
| 学校給食費 | 1～6 年 | ※　24,085 | ― |
| | 1～3 年 | ― | ※　28,171 |
| 通学費 | 通級指導教室 | ※　3,328 | ― |
| | 特別支援学級 | ※　6,819 | ※　14,559 |

（２）平成 27・28・29 年度特別支援教育就学奨励費の状況

（単位：千円）

| 区　　分 | | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 小学校 | 実施人員 | 40 | 34 | 33 |
| | 決算額 | 1,256 | 1,228 | 1,210 |
| 中学校 | 実施人員 | 18 | 23 | 21 |
| | 決算額 | 893 | 1,433 | 1,044 |
| 計 | 実施人員 | 58 | 57 | 54 |
| | 決算額 | 2,149 | 2,661 | 2,254 |

## ３　育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

（１）奨学生の資格

① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。

② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること。

③ 学業成績優秀、性行善良であること。

④ 学資の支弁が困難であること。

（２）対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者。

（３）申込期間　　毎年１０月末日まで

（４）利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額

② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率３％を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

| 区　　分 | 補給基準額（月額） |
|---|---|
| 大学・大学院 | 40,000 円 |
| 専門学校 | 30,000 円 |
| 高等専門学校 | 15,000 円 |
| 高等学校 | 10,000 円 |

## ４　育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から５年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成 22 年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

# 7　各種助成制度（学校教育課所管）

## １　名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成 27・28・29 年度事業の実績

（単位：千円）

| | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 申請事業数 | 46 | 39 | 53 |
| 補助金交付額 | 4,872 | 4,570 | 4,549 |
| うち小学生 | 1,755 | 1,672 | 1,315 |
| うち中学生 | 2,798 | 2,716 | 2,995 |
| うち高校生 | 319 | 182 | 239 |

## ２　特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成 27・28・29 年度事業の実績

（単位：千円）

| | 平成27度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 申請事業数 | 4 | 1 | 1 |
| 補助金交付額 | 119 | 30 | 30 |
| うち小学生 | 69 | 17 | 19 |
| うち中学生 | 0 | 0 | 0 |
| うち高校生 | 0 | 0 | 0 |
| うちその他 | 50 | 13 | 11 |

## ３　名寄市高校生資格取得支援事業補助金（平成 29 年度実績）

資格取得者数　　166 名

補助金交付額　311,640 円

うち名寄高校　110,850 円

うち産業高校　200,790 円

## ４　なよろ産業高等学校酪農科学科受検者交通費等助成金（平成 29 年度実績）

入学者数　　３名

補助金交付額　165,940 円

# ８　名寄市教育研究所

## １　研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

## ２　研究主題設定の理由

今日、学校教育においては、保護者や地域住民の期待に応えるため、子ども一人一人に「生きる力」を確実に育むことが求められている。このため各学校では、学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の人間としての調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態、児童生徒の発達段階や特性等を考慮して、「社会に開かれた教育課程」を編成、実施、改善することが大切である。

このような課題を受け止め、名寄市教育研究所においては、上川管内教育研究会と連携し、小・中学校における教育の内容、方法、制度等に関する調査研究などに取り組み、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、よりよく問題を解決する資質・能力や他人を思いやる豊かな心、たくましく生きるための健やかな体などの育成に努めている。

そこで、今後も、これまでの研究の流れを継続し、各部・各班・教育改善プロジェクト委員会の取組を一層充実させることにより、知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育成することが重要と考え、本研究主題を設定した。

## ３　運営の基本方針

「名寄市教育研究所条例」に基づき、各種の提言、事業、研究活動等を推進する。また、北海道教育研究所連盟（道研連）や上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）と連携を図りながら事業を推進する。

(1)　研究主題の解明にあたっては、具体的かつ実践的な研究活動の推進に努める。
(2)　上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
(3)　授業公開による研究交流や日常実践の交流、外部講師・施設の活用等を図り、班研修の活性化と研修内容の充実に努める。
(4)　名寄市教育改善プロジェクト委員会の成果と課題を踏まえ、各種事業等の推進に努める。

## ４　事業推進の基本方針

(1)　所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行については、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化が図られるよう努める。
(2)　名寄市教育研究大会については、公開授業、研究協議等を通して、具体的かつ実践的な研究活動を推進する。研究委託校（名寄東小・名寄中）は、「学校力向上に関する総合実践事業」等の取組を踏まえ、研究の成果を公開する。
(3)　名寄市教育研究発表集会については、名寄市教育改善プロジェクト委員会や調査研究部の発表、講演等を通して、研究の成果と課題についての共通理解を深める。
(4)　研究班の一斉研修や上川管内教育研究会北部地区研究大会については、上川管内地区研究大会研究推進の手引等を活用し、研修活動の充実に努める。
(5)　名寄市小中学校音楽発表会や各種児童生徒作品展等については、音楽科や図画工作科等の学習の成果の交流に努める。
(6)　その他、必要に応じて専門委員会を設置し、調査報告、提言等を行う。

## 5　各部・教育改善プロジェクト委員会の事業

### (1)　総務部

①　各部と連携を図った各種事業の企画・運営
②　道研連、上教研など、関係団体との連携協力
③　年 3 回（6 月、11 月、3 月）の所報の発行
④　効果的で適正な会計業務の推進

### (2)　調査研究部

①　名寄市教育改善プロジェクト委員会の 3 つの研究グループと連携した調査・分析の推進

### (3)　教育研究部

①　研究班活動の推進
　年 3 回（4 月、6 月、8 月）の開催
②　名寄市小中学校音楽発表会の開催
　平成 30 年 9 月 27 日（木）
　会場　名寄市民文化センターＥＮ-ＲＡＹホール
③　名寄市教育研究大会の開催
　平成 30 年 11 月 14 日（水）
　会場　名寄東小学校・名寄中学校
④　名寄市教育研究集会の開催
　平成 31 年 1 月 22 日（火）
　会場　名寄市民文化センターＥＮ-ＲＡＹホール
⑤　各種児童生徒作品展等の開催・協力
　・上教研北部地区Ｂブロック巡回作品展
　・市民文化祭小中学校児童生徒作品展
　・書道紙上作品展
　・読書感想文コンクール

### (4)　第 2 次名寄市教育改善プロジェクト委員会

①　推進のテーマ
　児童生徒に「生きる力」を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造
　～全小・中学校が一体となった効果的・効率的・継続的な学校改善を図る取組を通して～

②　推進の重点
　○「生きる力」を育成する教育の推進
　○「地域とともにある学校づくり」の推進
　○インクルーシブ教育システムの構築を目指す特別支援教育の推進

③　今年度の主な取組

■　教育経営の充実に関する研究グループ

□学校経営の充実

・名寄版学校経営計画の策定・評価・改善
・「学校力向上に関する総合実践事業」など各種指定事業に基づく実践交流
・社会に開かれた教育課程の実現
・教育課程の編成・実施・評価・改善（カリキュラムマネジメント）
・コミュニティ・スクール，小中一貫教育の推進
・智恵文地区，市街地，風連地区における取組共有
・コミュニティ・スクール，小中一貫教育制度導入に向けた取組の推進

□学校経営計画を踏まえた学級経営の充実

・学校経営プログラム等の作成と到達状況の把握
・障がいのある子どもたちが在籍することを前提とした学級経営の充実（含む特別支援学級の学級経営の充実）

■　教育研究（研修）の充実に関する研究グループ

□教員の資質・能力の向上を目指す研修（研究）の推進

・特別な支援を必要とする児童生徒の指導の充実
・道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる道徳教育の充実
・生涯にわたって運動に親しもうとする態度を育む体育，保健体育の充実
・外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育む外国語教育の充実

□ＩＣＴ機器の効果的な活用の調査・研究

・先進校視察等ミドルリーダー育成研修の実施

■　教育指導の充実に関する研究グループ

□アクティブ・ラーニング等の視点に立った授業の改善

・授業改善の視点
・主体的・対話的で深い学びの実現
・各教科等の特質に応じた学習活動の改善
・単元のまとまりを見通した学びの実現
・「見方・考え方」に着目した深い学びの実現
・ＩＣＴ機器の効果的な活用
・生徒指導の機能を生かした学習指導の充実
・子どもの発達を踏まえた指導の充実

□自己指導能力の育成を目指した生徒指導の充実

・学校全体で組織的，計画的に進める生徒指導の在り方
・児童生徒理解，教育相談の充実
・問題行動の理解，いじめ・不登校への対応

# ９　その他学校一覧

（平成30年５月１日現在）

| | | 学　校　名 | 校長名 | 課　程 | 学級数 | 生徒数 | 所在地 | 電　話（ＦＡＸ） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 高等学校 | 道立 | 名寄高等学校 | 山本　周男 | 普通科 | 11 | 378 | 徳田204-1 | (事務室TEL・FAX) 3-6841 |
| | | | | 計 | 11 | 378 | | (職員室TEL) 3-6842 |
| | 道立 | 名寄産業高等学校（光凌ｷｬﾝﾊﾟｽ） | 杉田　良二 | 電子機械科 | 3 | 81 | 西５北５ | (事務室TEL・FAX) 2-3066 |
| | | | | 建築システム科 | 3 | 62 | | (職員室TEL) 2-3067 |
| | | | | 生活文化科 | 3 | 81 | | |
| | 道立 | 名寄産業高等学校（名農ｷｬﾝﾊﾟｽ） | | 酪農科学科 | 3 | 53 | 緑丘３－３ | (TEL) 2-4191 |
| | | | | 計 | 12 | 277 | | (FAX) 2-4192 |
| 各種学校 | 私立 | 上川北部医師会附属准看護学院 | 吉田　肇 | 准看護師科 | 2 | 27 | 西５北２ | (TEL) 2-5311 |
| | | | | 計 | 2 | 27 | | (FAX) 2-5621 |

# 1　平成30年度名寄市社会教育推進計画

## 1　生涯学習社会の形成

市民が、生涯にわたって主体的に学び、心豊かな人生を送ることができるよう、社会教育拠点施設整備や指導者の育成を進めるとともに、生涯学習活動の推進など、生涯学習環境の充実に努めます。

**【社会教育計画の策定】**

生涯学習推進の基本となる社会教育推進計画については、名寄市総合計画との整合性を図りながら策定し、定期的な計画の見直しや改善に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○名寄市社会教育推進計画の策定

**【社会教育拠点施設整備】**

(1) 市民がいつでもどこでも学習することができる生涯学習環境の改善・充実を図るため、社会教育施設・設備の維持管理及び計画的な整備に努めます。

(2) 市立名寄図書館の改築については、市民の学び合いや憩いの場として集えるような複合的施設機能を視野に入れて検討します。

(3) 図書館システムについては、市民が求める情報を的確に提供するレファレンスデータ(※)のシステム登録や大学図書館・小中学校図書室との連携に努めます。

(4) 市立名寄図書館と北国博物館が連携し、郷土の歴史や文化の伝承に資する資料の保存に努めます。

(5) 北国博物館については、常設展示室等の一部改修や体験コーナーの設置、展示方法の工夫改善など、地域の歴史・文化を伝承する施設機能の向上と何度でも来館したくなるような魅力ある施設運営に努めます。

(6) 風連歴史民俗資料館については、風連地区の歴史の伝承と資料の保存という役割を維持するとともに、効果的な利活用について検討します。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○図書館本館の改築

※用語解説

【レファレンスデータ】

情報・資料を求めている利用者に対し、必要とされる資料を提供する業務であり、その多くの事例を図書館システムで管理し検索しやすくしたファイル

**【生涯学習活動の推進と学習への支援】**

(1) 市民への生涯学習の提供を推進するにあたり、社会教育施設間の連携や情報共有を図るとともに、施設間が相互協力できる体制づくりに努めます。

(2) 市民の生涯学習に対する相談体制の充実のため生涯学習アドバイザーの配置を継続します。

(3) すべての市民が生涯にわたって主体的に学習し、充実した人生を送ることができるよう、総合的な生涯学習推進体制の整備に努めます。

(4) 公民館活動においては、人材の確保及び情報提供体制の充実を図るとともに、特色ある生涯学習活動を推進し、多様な学習機会の提供に努めます。

(5) 市民の自主的な生涯学習活動の奨励及び支援を行うとともに、市民のニーズに応じた指導者の確保に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○社会教育施設間の連携と情報の共有
○自主的学習活動支援事業　○生涯学習フェスティバル事業
○高齢者学級運営事業　○生涯学習推進アドバイザーの設置
○公民館分館事業

**【天体観測を活かしたまちづくり事業】**

(1) 観望会や天文イベントを通じ、市民に親しみある天文普及、プラネタリウムをはじめとした天文台施設を活かした活動に努めます。

(2) 施設の特色である映像・音響を利用した「星と音楽」の事業を実施するとともに、建物・設備の適切な保守整備に努めます。

(3) 北海道大学や国立天文台・石垣島天文台との協力による研究観測、移動天文台車を利用した杉並区との交流、インターネットの利用による世界に向けた情報発信などに努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○天文教育普及事業　○開かれた研究観測事業

## 2 家庭教育の推進

子どもたちを健全に育む基盤である家庭教育については、幼稚園などと連携して家庭教育学級の開設や講座の開催など、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

また、子育てに配慮した環境をつくるため、企業への啓発や情報提供に努めます。

**【家庭と地域の教育力の向上】**

(1) 親力(※)を向上させるための学習機会を提供したり、子育て中の家庭同士の交流を図ることができるような家庭教育支援事業の充実に努めます。

(2) すべての保護者が家庭教育や子育てに関する学習・相談機会を得られるよう、情報提供や相談体制の整備に努めます。

(3) 小中学校・幼稚園・認定こども園を単位とした家庭教育学習の充実を図るとともに、ＰＴＡや青少年育成関係団体など地域と連携し、親子ふれあい事業や社会体験の充実に努めます。

(4) 子どもたちの学習や生活習慣の改善に向け、名寄市教育改善プロジェクト委員会で作成した家庭教育資料「子どものよりよい育ちのために家庭で取り組む７つのポイント」の配布と活用に努めます。

(5) 地域全体で家庭や子どもを支え見守る環境をつくるため、地域の大人が積極的に子どもたちと関わることや、企業が参観日への保護者の参加促進に協力するなど、市民への啓発や家庭教育サポート企業の拡大に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

〇家庭教育支援事業　　〇自然体験・親子ふれあい推進事業

※用語解説

【親力】

子どもを育て、包み、伸ばす総合力

## ３ 生涯スポーツの振興

**生涯スポーツの振興については、特に「冬季スポーツの拠点化」事業で、ジュニア選手、指導者の育成により競技力向上を図るとともに、地域連携による合宿・大会誘致を推進し、競技力向上、交流人口の拡大を図り、地域の活性化に努めます。**

**また、「市民皆スポーツ」を実現するために、体育協会等の関係団体と連携を図り、市民により充実したスポーツ環境の提供に努めます。**

**【スポーツ施設の整備】**

(1) 市民の体力向上と競技力向上に寄与するスポーツ施設の適正管理と計画的な整備に努めます。

(2) 名寄地区と風連地区のスポーツ施設の効果的な管理運営体制について検討します。

(3) 身近な地域で障がいのある人も障がいのない人もともにスポーツを楽しむことができる環境整備に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○名寄ピヤシリシャンツェ整備事業
○体育施設整備改修事業
○スポーツセンター改修事業

**【スポーツ振興事業】**

(1) 市民皆スポーツを目指して、市民参加型のスポーツイベントの推進、地域のスポーツ活動の支援、各種スポーツ講習会などの開催、学校開放事業の推進など、市民が生涯にわたってスポーツに親しむきっかけとなる機会を増やす取組の推進に努めます。

(2) 総合型地域スポーツクラブ(※)に対する支援により、ジュニアアスリート向けの各種講習会の開催、さらには指導者・保護者向けの講習会を開催し、競技力の向上に努めます。

(3) スポーツ大会などの開催を推進し、競技レベルの高いアスリートと競い合うことで、地域のジュニアアスリート・指導者の競技力の向上に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○各種大会開催事業　　○学校開放事業
○生涯スポーツ推進事業

※用語解説

【総合型地域スポーツクラブ】

幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、様々なスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ

**【スポーツ合宿推進事業】**

(1) 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策である「冬季スポーツの拠点化」事業を継承し、地域一体となったスポーツ合宿の受入組織を設置するとともに、冬季スポーツの振興を図り、地域間連携を推進させながら地域活性化に努めます。

(2) 総合的なスポーツの振興を図るため、合宿受入組織を発展させた「スポーツコミッション(※)」の設立を目指します。

(3) 国際的にも恵まれた自然環境や冬季スポーツの施設環境を生かして、「冬季ナショナルトレーニングセンター」の誘致実現に向けた取組に努めます。

(4) スポーツに係る情報を広く周知し、スポーツに対する理解を深めることで、指導者が活動しやすい地域づくりに取り組み、ジュニアアスリートの競技力向上に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○冬季スポーツ拠点化事業

※用語解説

【スポーツコミッション】

スポーツ合宿やスポーツイベントの誘致・支援を通じて、交流人口の拡大による地域経済の活性化を目指すとともに、地域スポーツの振興を図っていく官民一体の組織

## 4 青少年の健全育成

**未来を担う青少年が、心身共に健やかに成長し社会の一員としての人間性や社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動や地域交流、ボランティア活動の推進などに努めます。**

**【青少年健全育成事業】**

(1) 未来をつくる青少年が心の豊かさ、創造性や社会性などを養い、時代の変化に的確に対応できる人間として育つよう、より良い環境の整備に努めます。

(2) ボランティアリーダー活動など高校生や青年のリーダーを育成するとともに、子ども会育成連合会やＰＴＡとの連携を図り、指導者の育成に努めます。

(3) 単位子ども会の活動が困難になっている地域の子どもが参加交流できる事業や自然を活かした体験活動を推進します。教育委員会と子ども会育成連合会との共催による事業「へっちゃＬＡＮＤ」、「わくわく！体験交流会」、スポーツ大会を実施し、学校外での活動の推進に努めます。

(4) 地域の状況に応じながら子どもたちに町内会での活動への参加を促すとともに、町内会と共催でスポーツ・文化・レクリエーション事業を実施するなど連携を密にし、子どもたちの参加機会の拡充に努めます。

(5) 社会が多様化する中で、様々な悩みの受け皿が必要とされていることから、学校や家庭、関係機関との情報交換、情報収集、連携を強化し、教育相談体制の充実に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○子どもの体験学習事業　　○青少年活動事業

○子どもの安全安心を守る活動推進

○教育相談体制の充実

○青少年育成組織の活性化とＰＴＡとの連携

**【子育て支援の推進】**

(1) 児童館や放課後児童クラブ、放課後子ども教室など、安全で安心な場所での子育て支援の充実を図ります。

(2) 児童センターの老朽化に伴ない、施設の整備について検討します。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○放課後児童クラブの充実　　○放課後子ども教室の充実

○児童館の整備

## 5 地域文化の継承と創造

**市民が感動や生きる喜びを感じ、創造力にあふれる豊かな人生を送ることができるよう、文化施設の整備や指導者育成、文化振興のための基盤整備を進め、拠点施設を中心とした鑑賞機会や参加機会の充実を図るとともに、文化の創造と団体の育成に努めます。**

**【文化芸術振興事業】**

(1) 地域の文化芸術活動の担い手である団体・グループ等の活動に対する支援を行うとともに、文化団体等の育成に努めます。

(2) 文化芸術活動の活性化を図るため、市民文化センターEN-RAY ホール及びふうれん地域交流センターを拠点として、近隣市町村との広域ネットワークを活用した文化芸術鑑賞機会の提供及び充実に努めます。

(3) 市民文化センター及びふうれん地域交流センターが市民のコミュニティ醸成の場としてより親しまれる環境となるよう努めます。

(4) 学校等と連携してアウトリーチ(※)の推進やワークショップ(※)を開催するなど、多くの市民が文化芸術に触れる機会の提供に努めます。

(5) 文化に親しむ講座の開設や新しい文化芸術サークルの開設の奨励など、文化芸術活動の活性化や発表の場の一層の充実に努めます。

(6) 優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供するため、文化芸術鑑賞ツアーの一層の充実に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**

○市民と協働による文化芸術推進事業

○公民館市民講座　　○市民文化祭事業

※用語解説

【アウトリーチ】

公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービス

【ワークショップ】
美術、演劇、映画など様々な芸術の分野で、具体的な技術を学ぶ集まりやセミナー

**【歴史や文化財の継承】**

(1) 地域に関わる歴史、自然、文化に関する資料や文献、文書の収集と整理保存を行い、収集した資料を活用した展示会や講座の開催などにより、地域を知る機会を提供し普及啓発に努めます。

(2) 有形、無形の文化財や史跡、歴史的に価値の高いものの保存とともに、ブックレットなどによる啓発や指定文化財の保護活動、伝承活動の支援に努めます。

**平成30年度の主な実施計画事業**
○地域の歴史、自然、文化に関する普及啓発
○文化財の保護と伝承活動の支援

## 重点プロジェクト

重点プロジェクトは、名寄市総合計画基本計画の期間内（H29～H30）における主要な取組であり、かつ複数の基本目標（施策の柱）にわたり、施策間連携を図ることで、一層効果が発揮される取組を表すもので、限られた経営資源を計画的かつ効果的・効率的に活用し、基本構想に掲げた将来像の実現を目指していきます。
また、重点プロジェクトは、３つの基本理念や直面する地域課題と地域の優位性等を踏まえて策定した「名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との整合性を重視して、戦略的かつ重点的な取組として選定されています。

### （１）経済元気化プロジェクト

地域経済の好循環を図り、まちに元気を生み出すため、地域ブランドの確立を促進し、雇用の場・人材の確保などに努めるとともに、交流人口の拡大に向け、移住・交流の推進に取り組みます。

**主な実施計画事業**
○各種大会開催事業　　○冬季スポーツ拠点化事業

### （２）安心子育てプロジェクト

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実させるために、子育てと仕事の両立支援や子育て家庭への支援などを行ない、少子化対策・人口

減少対策の強化に取り組みます。

**主な実施計画事業**

○自然体験・親子ふれあい推進事業　○放課後児童クラブの充実
○放課後子ども教室の充実　○児童館の整備

### （３）冬季スポーツ拠点化プロジェクト

本市の自然環境・施設環境の強みを活かして、冬季スポーツの拠点化を目指すために、冬季スポーツ合宿・大会誘致と併せて、ジュニア世代の育成強化を推進するとともに、冬季スポーツを通して故郷への誇りと愛着を持てる人材の育成に取り組みます。

**主な実施計画事業**

○名寄ピヤシリシャンツェ整備事業　○体育施設整備改修事業
○スポーツセンター改修事業　○各種大会開催事業
○冬季スポーツ拠点化事業

# ２　生涯学習課・名寄市公民館の事業計画

## Ⅰ　生涯学習社会の形成

### ◆社会教育計画の策定

#### ◇社会教育推進計画

生涯学習推進の基本となる社会教育推進計画については、名寄市総合計画との整合性を図りながら策定し、定期的な計画の見直しや改善に努めます。

### ◆社会教育拠点施設整備

#### ◇市民文化センターの利用促進

文化センター大ホールを中心とした施設の利用促進とともにソフト面の充実にも努め、市民の学習の成果の発表の場や交流が生まれる環境づくりに努めます。

【施設概要】

１　所　在　地　名寄市西13条南４丁目２番地（TEL　01654-2-2218）

２　開設年月日　昭和58年８月11日（西館：平成27年５月９日開館）

３　主要施設　○東館（既存棟）

・多目的ホール　353.2㎡
・大会議室　Ａ　80.0㎡
・大会議室　Ｂ　80.0㎡
・小会議室　32.0㎡
・会議室　48.0㎡
・市民工芸室　97.6㎡
・生活研修室Ａ　23.0㎡
・生活研修室Ｂ　77.0㎡
・調理実習室　104.0㎡
・営農研修室　72.0㎡
・視聴覚研修室　108.0㎡
・展示ホール　294.8㎡

○西館（新築棟）

・大ホール（EN-RAY）　896.15㎡　固定席639席　車椅子補助者席8席　計647席
・音楽スタジオ１　39.69㎡
・音楽スタジオ２　116.53㎡
・楽屋　１　52.29㎡
・楽屋　２　18.99㎡
・楽屋　３　18.99㎡
・展示ギャラリー　67.40㎡
・常設展示室　19.12㎡

４　利用案内

・開館時間　午前９時～午後10時
・休館日　毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）
　年末年始（12月30日～１月５日）

## ◆生涯学習活動の推進と学習への支援

### １　趣味、教養、課題解決へ向けた学習活動の促進

（１）平成３０年度市民講座

趣味や教養、実生活での課題を解決するような学習活動の場を市民に提供することで、豊かな人間性と創造性を養い、地域の連帯感を醸成し、健康で安全な住みよい生活の場を主体的につくりあげる学びを支えることを目的に開設します。

①札幌交響楽団とうたおう！

４～７月開催　名寄市民文化センター

7/18 開催の音楽宅急便クロネコファミリーコンサートで札幌交響楽団と共演に向けた練習とコンサートへの出演

②エンレイ・カレッジ～初級編～

６～９月開催　名寄市民文化センターほか

見学・体験を中心に名寄市の魅力を学ぶ

③エンレイ・カレッジ～中級編～

９～１２月開催予定　名寄市民文化センター

座学とグループ討論などにより、まちの課題や市民主体のまちづくりについて学ぶ

④エンレイカレッジ公開講座編

９月開催予定　名寄市民文化センターほか

著名な講師を交えた討論などによりまちの課題や市民主体のまちづくりについて学ぶ

⑤豆腐・みそ作り教室

６月開催　名寄市農産物簡易加工処理施設「あぐりん館」

大豆から手づくりで、豆腐・みそを作る

⑥手芸アクセサリー教室（エッグシェルモザイク）

５月開催　名寄市民文化センター

卵のからを使い、オリジナルのネックレスやブローチなどを作成

⑦手芸アクセサリー教室（レジン）

６月開催　名寄市民文化センター

ストローとレジンを使い、オリジナルのネックレスやイヤリングなどを作成

⑧親子でキラキラ☆ハーバリウム教室

７・１２月開催　名寄市民文化センター

夏と冬に季節に合わせたハーバリウムの作品を作成

（２）ジャックの豆事業（自主的学習グループ・サークル活動促進事業）

市民の自主的な学習グループ・サークル活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進します。

### ２　高齢者学級「名寄ピヤシリ大学」の開設

６０歳以上の市民を対象に、一般教養やまちづくりに関する講座、社会見学、奉仕活動、体育祭、遠足、大学祭、クラブ活動、自治会活動など幅広い学習機会を提供します。

（１）開設期間　　４月１７日～２月１９日（毎月第２・４火曜日を原則として計２０回開設）

（２）公開講座の開設

ピヤシリ大学生、大学院生に加えて広く市民の参加を募るとともに、「道民カレッジ」（北海道教育委員会主催）の連携講座として年５回開講します。

（３）自由研究・文集の発行

①大学４年生による自由研究
②文集「風雪」の発行
（４）指導者養成・交流活動
①上川管内高齢者学びのつどいへの参加
②小学生との交流授業の実施

## ３　生涯学習啓発事業の実施

生涯学習フェスティバルの開催

・地域住民が学び習得している技術や、地域の特色ある諸活動などを紹介し、まちづくりを考え、実践する場として、生涯学習フェスティバルを開催します。
・９月末開催予定

## ４　公民館分館事業の支援

名寄地区に６分館（中名寄、曙、共和、瑞穂、弥生、日進）を設置し、地域独自の分館事業を支援します。

## ５　その他の生涯学習事業

（１）生涯学習情報の提供、相談
（２）生涯学習リーダーバンク事業
指導者登録制度「生涯学習リーダーバンク」の市民への周知と、指導者の登録促進と活用の推進を図ります。（平成３０年４月現在登録者数　３７名）

## ６　諸会議・研修会

| | |
|---|---|
| （１）社会教育委員の会会議 | 年３回（５月・１１月・３月）開催予定 |
| （２）名寄市文化芸術審議会 | 年３回開催予定 |
| （３）名寄市公民館運営審議会 | 年２回（５月・１１月）開催予定 |
| （４）名寄市公民館分館長・主事会議 | 年１回開催予定 |
| （５）名寄市民文化センター事業企画委員会 | 年２回開催予定 |

## ７　関係団体に対する負担金・補助金

| | |
|---|---|
| （１）上川管内社会教育委員連絡協議会負担金 | ３０，０００円 |
| （２）北海道社会教育委員連絡協議会負担金 | ５４，０００円 |
| （３）北海道公民館協会上川支部負担金 | ７，０００円 |
| （４）北海道公民館協会負担金 | ５２，０００円 |
| （５）名寄市女性団体連絡協議会補助金 | ２２０，０００円 |
| （６）名寄市ＰＴＡ連合会補助金 | ３００，０００円 |
| （７）名寄東小学校コミュニティセンター運営補助金 | ５００，０００円 |
| （８）社会教育関係団体活動推進補助金 | ９００，０００円 |
| （９）ジャックの豆事業助成金 | １００，０００円 |
| (10) 市民盆踊り大会実行委員会補助金 | ２００，０００円 |
| (11) 北海道公民館大会ｉｎなよろ開催負担金 | ２３０，０００円 |

## Ⅱ　家庭教育の推進

### ◆家庭と地域の教育力の向上

**１　家庭教育学級の開設**

名寄地区に２学級（幼稚園）開設し、各学級で自主的に学習内容を企画し実施します。

交付金　　１００，０００円（５０，０００円×２学級）

**２　家庭教育支援講座の開設**

家庭教育を行う上で必要な知識・技術の習得を目指した学習機会や、親子のコミュニケーションを深める機会を提供します。

**３　企業への啓発**

職場において親である社員が子育てに関われる環境がつくられるよう、企業等に対して「北海道家庭教育サポート企業制度」の啓発と企業へ情報提供を行います。

## Ⅲ　青少年の健全育成

### ◆青少年健全育成事業

**１　平成３０年度野外体験学習事業「へっちゃＬＡＮＤ２０１８」**

小学４年生から６年生の児童及び中学生を対象に、実行委員会を組織して実施します。

実施予定日　　７月３０日（月）～８月２日（木）（３泊４日）

**２　名寄市公民館主催事業**

（１）夏休み子ども写生会

８月７日（火）　　浅江島公園（作品展示８月７日～１７日　市民文化センター）

（２）冬休み子ども料理教室

１２月２６日（水）　　市民文化センター

（３）第４６回新春こども書き初め広場

１月１０日（木）　　市民文化センター

（作品展示１月１０日～２１日、表彰式１月２１日）

（４）第３３回冬休み児童生徒作品展

２月１２日（火）～２５日（月）　　市民文化センター

（５）春休み子ども英語クラブ

３月２６日（火）～２８日（木）　　市民文化センター

**３　名寄市子ども会育成連合会との共催事業**

（１）「わくわく！体験交流会」

子ども達が様々な体験を通して、自主性や社会性を身に付けるとともに協調性や相手を思いやる心を育てることを目的として実施。（年８回開催予定）

①６月１６日（土）レクリエーション・飯ごう炊飯体験　　市民文化センター

②７月７日（土）～８日（日）キャンプ　　なよろ健康の森

③８月１８日（土）～１９日（日）宿泊研修　　ネイパル砂川

④１０月６日（土）かるた体験　　市民文化センター

⑤１１月１８日（日）カーリング体験　　サンピラー交流館
⑥１２月２２日（土）冬季レクリエーション　　市民文化センター
⑦１月下旬　　ワカサギ釣り体験　　朱鞠内湖
⑧２月２３日（土）お別れ会　　市民文化センター

（２）子ども会活動促進事業
スポーツ大会（スポーツ・レクリエーション等交流事業）
実施日　１１月２３日（金・祝）　　スポーツセンター

**４　学習活動の支援**

青少年の学習活動のために用具等の貸出を行う。

**５　成人式運営事業**

実行委員会を組織して式典、交流会を開催。

（１）開催予定日　　１月１３日（日）　（毎年１月第２日曜日）
（２）場　　所　　市民文化センター　EN-RAY ホール

**６　指導者養成事業**

（１）育成指導者研修会
名寄市子ども会育成連合会との共催で開催。
（２）育成指導者交流会
名寄市子ども会育成連合会との共催で、子ども会育成指導者間の親睦と情報交換を目的に実施。

**７　北海道教育委員会・管内関連事業**

（１）青少年体験活動推進事業
北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダー養成事業「ジュニアリーダーコース」への参加を支援。
（２）「少年の主張」上川地区大会
全道大会につながる中学生対象の弁論大会に発表者１名を派遣。（智恵文中学校）

**８　青少年育成団体に対する負担金・補助金**

（１）名寄市子ども会育成連合会補助金　　８００，０００円
（２）へっちゃＬＡＮＤ実行委員会補助金　　４００，０００円
（３）名寄市成人式実行委員会負担金　　５５０，０００円

## Ⅳ　地域文化の継承と創造

### ◆芸術文化振興事業

**１　文化活動への参加機会と芸術鑑賞機会の充実**

（１）第６１回市民文化祭
市民が行っている各種文化活動について全市的な規模で発表する場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催。
◇芸能発表　　１１月４日（日）　　市民文化センターEN-RAY ホール

◇作品展示　　１１月２日（金）～４日（日）　市民文化センター

（２）文化芸術鑑賞バスツアー

優れた美術作品や公演を鑑賞し、豊かな情操を養い創造意欲を高め、芸術文化推進への意欲を育てる。

◇第１回　５月２１日（月）～２２日（火）小樽市・札幌市（１泊２日）　定員３３名

ニトリ小樽芸術村、道立近代美術館の鑑賞

◇第２回　７月２５日（水）旭川市　定員３３名

上野ファーム、中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館の見学・鑑賞

◇第３回　９月１３日（木）～１４日（金）札幌市　定員３３名

劇団四季「サウンド・オブ・ミュージック」、札幌芸術の森美術館の観覧

（３）であいの広場作品展示（名寄市公民館主催・共催事業）

各種サークル等と連携し、市民文化センターの展示スペースを活用した作品展示を行い、地域住民の文化芸術活動を支援する。また各社会教育施設等と連携し、巡回展を実施。

（４）EN-RAY ホール自主事業・教育委員会主催事業　等

5/11（金）　Kita no Koe LIVE 2018

6/16（土）・ 6/17（日）　ＳＷＡＮＫ企画第９回公演「バンク・バン・レッスン」

6/30（土）　北の星座音楽祭５周年記念演奏会「アヴデーエワのショパン」

7/ 1（日）　陣内の門　１ｓｔＡＣＴ

8/ 2（木）　ＥＢＩＫＥＮワークショップ　講師：蛯名健一

8/ 5（日）　ＥＢＩＫＥＮダンス公演　出演：蛯名健一、ワークショップ参加者

8/27（月）　劇団四季こころの劇場「魔法をすてたマジョリン」※児童芸術鑑賞

9/17（月祝）ハートフルファミリーコンサート　出演：アンサンブルグループ奏楽

11/25（日）　小山実稚恵ピアノリサイタル　出演：小山実稚恵

2/24（日）　名寄市少年少女オーケストラ第２回定期演奏会

**（５）南相馬市子ども文化芸術交流事業**

自治体スクラム支援会議加盟自治体の小中学生が芸術作品の協同制作をとおして、文化芸術への創造性を高める事業（市内中学生を派遣予定）。

開催日　11 月 17 日～18 日（福島県南相馬市）

## ２　地域活動の拡充と参加促進

実行委員会を組織し、市民盆踊り大会を実施します。

実施予定日　　８月１４日（火）、１５日（水）

## ３　関係団体に対する負担金・補助金

| | |
|---|---|
| （１）名寄市文化協会補助金 | ３６０，０００円 |
| （２）市民文化祭・生涯学習フェスティバル実行委員会補助金 | ３５０，０００円 |
| （３）名寄太鼓補助金 | １００，０００円 |
| （４）なよろ舞台芸術劇場実行委員会補助金 | １０，０００，０００円 |
| （５）名寄市文化芸術振興助成金 | ２，０００，０００円 |

# ３　名寄市 風連生涯学習担当・風連公民館の事業計画

## Ⅰ　生涯学習社会の形成

### ◆社会教育拠点施設整備

【施設概要】

１　ふうれん地域交流センター＜風っ子ホール＞

（指定管理者制度導入　２期目　平成30年４月１日～　５年間）

（１）所　　在　　地　　名寄市風連町本町６３番地（指定管理者 TEL　01655-3-2531）

（２）開 設 年 月 日　　平成22年４月12日

（３）利　用　案　内

・開館時間　午前９時～午後10時(午後６時以降の利用ない時閉館)　　休館日なし

≪風連公民館　（TEL　01655-3-2620）≫

２　風連陶芸センター

（１）所　　在　　地　名寄市風連町仲町８６番地（TEL　01655-3-2743）

（２）開 設 年 月 日　昭和54年９月１日

（３）利　用　案　内

・開館時間　午前８時45分～午後５時30分

～午後９時（夜間講座のみ）

・休　館　日　土・日曜日、国民の休日　　・年末年始（12月30日～1月５日）

### ◆生涯学習活動の推進と学習への支援

１　瑞生大学（高齢者事業）

講話、軽スポーツ、各種研修会、健康教室、農園つくり、クラブ活動等の講座で生涯学習を深める。

（１）学 生 数　大学１年生　５人　大学２年生　６人

大学院１年生　８人　大学院２年生　６人

研究生　59人

合　　計　84人（男26人、女58人）

（２）　開 設 日　毎月７・17・27日を原則として開設

（３）　学習講座（年間30～35講座）　五つの風をテーマに学習

みのりの風・まなびの風・ふれあいの風・やすらぎの風・おもいでの風

（４）　クラブ活動　書道・フォークダンス・カラダン・パソコン

陶芸・パークゴルフ・茶華道等

（５）　異世代間交流

風連中央小学校児童との交流会

２　風連陶芸センター事業

児童、生徒、一般対象の陶芸教室、サークル活動の支援

・市内各小学校の体験教室（随時）

・サークル活動（毎月２回）・一般陶芸教室（毎月２回）

・瑞生大学陶芸クラブ活動（毎月２～３回）・各団体等の体験研修会（随時）

３　風連公民館事業

（１）会議の開催

・名寄市風連公民館運営審議会　　（年２回開催予定）

第１回目　６月上旬～中旬　・　第２回目　２月中旬～下旬予定

・名寄市風連公民館分館長・主事会議　　（年２回開催予定）

第１回目　６月上旬～中旬　・　第２回目　２月中旬～下旬予定

（２）風連公民館講座

◇切り絵教室　　平成 30 年９月(２回)

◇手作り豆腐教室　　平成 30 年 10 月～11 月頃

◇料理教室（手打ちそば）　　平成 30 年 12 月８日(土)予定

◇書き初め・墨絵詩書教室　　平成 31 年　１月 ５日(土)予定

◇アウトドア体験講座　　平成 31 年　３月 17 日(日)予定

（３）ジャックの豆事業

市民５人以上で構成される自主的な学習グループ・サークルで、活動を組織化・活性化させるために必要な助成を行い、市民の生涯学習活動を促進する。

（４）花と緑のくらし事業

風連公民館分館施設や各小中学校への花の苗代補助　（分館員活動拠点の美化）

（５）風連公民館分館活動の推進

（６）社会教育関係団体活動推進補助金（バス遠征費助成）

（７）関係団体に対する補助金

風連瑞生大学自治会　　(270,000 円)

風連公民館各分館（5 分館）

旭分館　　(102,000 円)・　下多寄分館　　(84,000 円)

日進分館　　(78,000 円)・　東風連分館　　(114,000 円)

西風連分館　　(96,000 円)

## Ⅱ　家庭教育の推進

### ◆家庭と地域の教育力の向上

１　親子の絆を深める場の提供

親子で参加できる自然体験教室等の実施

２　企業等へ家庭教育に関する支援

風連地区企業へ「北海道家庭教育サポート企業制度」への加入を奨励

## Ⅲ　生涯スポーツの振興

### ◆スポーツ施設の整備

スポーツ施設の整備と改修を計画的に行い、スポーツ活動を通じた交流、健康維持、増進を図る

1　維持管理

・風連地区（市直営）

名寄市風連 B&G 海洋センター、名寄市風連農村環境改善センター、名寄市風連東地区運動広場テニスコート、名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場（3 コース）、名寄市営風連球場、名寄市風連スキー場、風連サンシャインホールなど

2　施設整備

・B&G 海洋センター・第２体育館の床ワックス塗布
・風連農村環境改善センター・多目的ホールの床ワックス塗布
・東地区運動広場簡易パークゴルフ場コース整備（ＰＧ愛好会の協力）
・風連球場　　内野黒土整備・外野芝整備（野球連盟の協力）
・スキー場　圧雪車の保守点検整備
　　喫煙所設置（分煙化に努めます）

### ◆スポーツ振興事業　（５　スポーツ振興事業計画に記載）

生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流、健康維持、増進の促進を図るため、風連スポーツクラブ等のスポーツ団体と共催した事業の実施。

1　各種スポーツ教室及び大会の支援

各種スポーツ教室の開催及び各種スポーツ大会に支援、協力します

2　関係団体に対する補助金等

スポーツ団体の育成・支援及び関係団体の経費を負担します

・風連町体育協会補助金　(900,000 円)
・風連町スポーツ少年団連絡協議会補助金　(240,000 円)
・一般社団法人　風連スポーツクラブ補助金　(650,000 円)
・社会教育関係団体活動推進補助金(バス遠征助成)

3　学校開放事業の推進

学校体育施設の開放事業を推進し、市民の身近なスポーツ活動の場を提供します。

小学校（2 校）　風連中央小学校　、風連下多寄小学校、
（旧東風連小学校、旧日進小学校）

中学校（１校）　風連中学校（グランドのみ）

4　総合型地域スポーツクラブの拡大

一般社団法人　風連スポーツクラブの活動を支援・協力し、組織の拡大を促進します。

## Ⅳ　青少年の健全育成

### ◆青少年健全育成事業

1　少年の学習体験活動

都会っ子体験交流事業の推進

名寄市と東京都杉並区の異なる環境を持つ子ども達が共同生活の交流を通して、人間性にあふれ意欲に満ちた子ども達の育成を図る。

小学生（４年生～６年生）杉並区25名、名寄市 25 名

名寄会場　７月28日～31日（3 泊４日）・杉並会場　８月５日～8 日（3 泊４日）

２　関係団体に対する補助金等

・都会っ子体験交流実行委員会　　(2, 086, 000 円)

## Ⅴ　豊かな地域文化の継承と創造

### ◆文化芸術振興事業

１　郷土芸能活動への支援

風連御料太鼓保存会の後継者育成のための練習場所を風連市街地区に確保し提供

２　風連文化祭

市民が行っている各種文化活動について発表の場をつくることで、文化活動への参加意欲を高め、市民交流の中から文化の創造を促し、地域文化の発展及び市民生活の充実に資することを目的に開催する。

風連町文化協会を中心とした実行委員会を組織して実施します。

◇芸能発表会　11月3日（文化の日　土曜日）

◇作品展示等　11月2日～3日

３　関係団体に対する補助金

・風連文化祭実行委員会　　(200, 000 円)

・風連町文化協会　　(276, 000 円)

・風連御料太鼓保存会　　( 59, 000 円)

元気 はつらつ

# ４　名寄市智恵文公民館の事業計画

## Ⅰ　生涯学習社会の形成

### ◆社会教育拠点施設整備事業

地域住民が利用しやすく、教育・文化活動や交流の拠点となる施設整備に努めます。

【施設概要】

智恵文公民館（智恵文多目的研修センター）

１　所　在　地　　名寄市字智恵文 11 線北２番地（TEL　01654-8-2101）

２　開設年月日　　昭和55年１月１日

３　主要施設　　・大集会室　264.0 ㎡　　・和室　43.5 ㎡

・調理実習室　46.2 ㎡　　・図書閲覧室

・研修室（老人室）　50.7 ㎡　　・研修室　43.5 ㎡

４　利用案内

・開館時間　午前９時～午後10時

・休館日　毎月末日（ただし、その日が土・日曜日又は国民の休日にあたる時はその前日）

年末年始（12月30日～１月５日）

### ◆生涯学習プログラムの整備と学習への支援

１　情報提供と相談体制の整備

・広報誌「ちえぶん」の発行による情報提供

・毎月の地域情報、保育所・小学校・中学校の行事等を掲載し、地域へ発信

・地域・学校との連携による公民館事業の展開

２　学習要求に応える公民館活動

・友朋学級（高齢者学級）の開講

地域の６５歳以上の希望者を対象に、手工芸・講話・軽運動・地域の小中学校との交流などの講座を開催

・分館事業の支援

智北・八幡・智南の各分館において、主に農閑期に料理教室・手芸教室・レクリエーション大会などを実施（智西分館は平成 30 年度休館）

３　世代間交流の促進

・オセロ・餅つき大会の実施　　１２月下旬予定

地域の小中学生と高齢者がふれあい、日本の伝統文化を体験

## Ⅱ　家庭教育の推進

### ◆家庭と地域の教育力の向上

１　親子の絆を深める場の提供

・親子書き初めの実施　　１月中旬予定

◆関係機関・団体とのネットワークづくり

1　家庭、学校、地域、関係機関、団体との事業連携

・趣味の作品展の開催　　２月初旬予定

友朋学級や地域住民サークルなどが活動で制作した作品（手芸・書道・写真）を展示

（ちえぶん健康まつり共催）

## Ⅲ　生涯スポーツの振興

◆スポーツ振興事業

1　各種スポーツの教室の開催

・ノルディックウォーキング教室をはじめスポーツ教室を開催

## Ⅳ　青少年の健全育成

◆青少年健全育成事業

1　子ども会活動の促進援助

・冬季レクレーション大会　　１２月

地域の小中学生が、ゲーム・スポーツを通して交流

## Ⅴ　地域文化の継承と創造

◆芸術文化振興事業

1　各種講座の開設と地域文化の学習機会の提供

・地域文化を学習し考える機会の提供

講座の開設、企画展示の実施

歌や音楽、文化にふれる機会の提供

2　地域文化の継承

・自然・歴史・文化を学び、探究する機会づくり

観望会、自然学習会の開催

3　地域コミュニティ活動の充実

・コミュニティ活動充実のための学習機会づくり

# ５　スポーツ振興事業計画

## ◆生涯スポーツの振興

市民皆スポーツを目指し、生涯を通じて年齢や体力に応じたスポーツ活動を楽しみ、相互の交流を深め、健康の維持・増進ができるようスポーツ施設の整備・改修や管理運営の充実を図ります。

また、スポーツ団体や指導者の育成、各種スポーツ教室やスポーツ大会の支援などを体育協会、地域スポーツクラブと協力して進めるとともにスポーツ情報の収集・発信に努めます。

### １　スポーツ施設の整備

#### （１）施設の管理・運営

指定管理者により、スポーツ施設の管理・運営を行います。（指定管理期間H30～32年度）

① 一般財団法人名寄市体育協会（８施設）
名寄市スポーツセンター、名寄市営球場、名寄市営サブ球場、名寄市テニスコート、名寄公園テニスコート、名寄市営南水泳プール、名寄市営智恵文水泳プール、名寄市Ｂ＆Ｇ海洋センター、

② 株式会社名寄振興公社（２施設）
体育センターピヤシリ・フォレスト、名寄市ピヤシリシャンツェ

・名寄市北体育館は、競技団体（名寄弓道会）が管理運営。
・名寄市スケートリンクは、名寄スケート協会が管理運営。

#### （２）施設整備

スポーツ施設の整備・改修等を実施します。

| | |
|---|---|
| ①ピヤシリシャンツェリフト修繕関係 | 2,625千円 |
| ②市営テニスコート観客席修繕 | 400千円 |
| ③北体育館管理室暖房器具購入 | 59千円 |
| ④スポーツセンタートイレ改修工事 | 55,000千円 |
| ⑤クロスカントリー・ＮＣ競技システム借上 | 4,899千円 |
| 合　　計 | 62,983千円 |

### ２　スポーツ振興事業

#### （１）各種スポーツ大会の開催及び支援

関係団体等と連携を図り、スポーツ大会の開催及び各種スポーツ大会を支援、協力します。

| | |
|---|---|
| ①なよろ憲法記念ハーフマラソン大会（主催）／５月６日 | 3,000千円 |
| ②高円宮賜杯第38回全日本学童軟式野球大会／７月14日～16日 | 250千円 |
| ③サンピラー国体開催記念サマージャンプ大会／７月29日 | 535千円 |
| ④市民水泳大会／８月下旬 | 50千円 |
| ⑤名寄あかげらロードレース／９月中旬 | 90千円 |
| ⑥第49回名寄ピヤシリジャンプ大会（共催）／12月中旬 | 730千円 |
| ⑦第37回全日本コンバインド大会／12月下旬 | 400千円 |
| ⑧市民スキーの日（主催）／２月下旬～３月上旬 | 840千円 |
| ⑨JOCジュニアオリンピックカップ2018 全日本ジュニアスキー選手権<br>兼全日本小・中学生選抜スキー大会（ノルディック種目）／３月中旬 | 2,000千円 |
| ⑩第31回ピヤシリカップカーリング大会／３月下旬 | 50千円 |
| 合　　計 | 7,945千円 |

### （２）関係団体等への支援

各団体の活動を支援し、スポーツ施設の適正な管理運営を図ります。また、関係団体と連携し、ジュニアアスリートの育成環境と市民の健康づくりの環境を整え、スポーツを通じた地域づくりを図ります。さらには、冬季スポーツ拠点化事業を推進するため、「なよろスポーツ合宿誘致推進協議会」を支援し、スポーツ合宿等による交流人口の拡大を図ります。

| | |
|---|---|
| ①名寄市体育協会ジュニア競技力強化事業補助金 | 1,500千円 |
| ②名寄市体育協会運営事業補助金 | 1,500千円 |
| ③プールパトロール補助金 | 250千円 |
| ④名寄市北体育館施設管理負担金 | 656千円 |
| ⑤名寄市営スケートリンク設置負担金 | 1,900千円 |
| ⑥上川北部広域スポーツクラブ負担金 | 50千円 |
| ⑦上川管内スポーツ推進委員協議会負担金 | 59千円 |
| ⑧市民スキーの日負担金 | 840千円 |
| ⑨憲法記念ハーフマラソン負担金 | 3,000千円 |
| ⑩合宿受入組織運営事業負担金 | 21,106千円 |
| ⑪社会教育関係団体活動推進補助金　（社会教育費計上） | 900千円 |
| 合　　計 | 31,761千円 |

### （３）学校開放事業の推進

市民のスポーツ活動の普及振興を図るために、学校体育施設を開放し、スポーツ活動の場を提供します。

①名寄地区小学校（５校）：名寄小学校、名寄南小学校、名寄東小学校
名寄西小学校、智恵文小学校

②名寄地区中学校（３校）：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文中学校

③利用調整会議/年２回

### （４）生涯スポーツの推進

市民が生涯にわたってスポーツを親しむきっかけとなる機会を増加させ、スポーツを通じた健康づくりの推進を図ります。

①スポーツ教室・講習会等の開催

- スポーツフェスティバルの開催　　10月8日開催予定
- ノルディックウォーク講習会　　５月から９月開催予定
- 歩くスキー講習会　　１月から２月開催予定
- スポーツ推進委員による出前講座等
- 事業所健康づくり支援（協力）

### （５）総合型地域スポーツクラブへの支援

上川北部広域スポーツクラブ（中川町、音威子府村、美深町、名寄市、下川町５市町村H21.12.21設立）の活動を通じて、冬季スポーツにおける子どものタレント発掘・育成と交流を図ります。

①上川北部広域スポーツクラブ負担金　　50千円（再掲）

②JOC地域タレント研修会へ派遣

## ３　スポーツ合宿推進事業

### （１）各種合宿の誘致・支援

自然環境や国内有数の冬季スポーツ競技施設が集中して立地している施設環境を生かし、全国規模の冬季スポーツ大会の開催及び合宿誘致の推進を通じた地域振興を図ります。

①なよろスポーツ合宿誘致推進協議会の支援

・フィンランドヴォカティスポーツ視察

・ホストタウン関連合宿誘致活動

②JOCジュニアオリンピックカップ2018 全日本ジュニアスキー選手権

兼　全日本小・中学生選抜スキー大会（ノルディック種目）の開催

### （２）ジュニア育成・強化

ジュニアアスリート・指導者向けの各種講習会の開催や海外のジュニアアスリート、指導者との相互交流を行い、競技力向上を図ります。

①なよろスポーツ合宿誘致推進協議会の支援（再掲）

・ジュニアコーチ養成プログラムの開催

・なよろのちから！ドリーム合宿の開催

・ヴォカティスポーツ相互交流事業

②名寄市体育協会ジュニア競技力強化事業補助金（再掲）

### （３）冬季スポーツ拠点化事業

名寄市が誇る日本有数の恵まれた冬季スポーツ環境を活かして、ジュニアアスリート・指導者の育成や大会・合宿誘致を推進し、交流人口の拡大を図るとともに冬季スポーツの拠点化を目指します。

①冬季スポーツ推進・健康づくり事業　　17,781千円

・なよろスポーツ合宿誘致推進協議会の支援（再掲）

・施策研究グループ活動

・地域健康づくりプログラム

②ジュニアアスリート育成　　10,473千円

・ジュニアコーチ養成プログラムの開催（再掲）

・なよろのちから！ドリーム合宿の開催（再掲）

・ヴォカティスポーツ相互交流事業（再掲）

③スポーツ合宿等誘致　　14,705千円

・フィンランドヴォカティスポーツ視察（再掲）

・ホストタウン関連合宿誘致活動（再掲）

## 【参考】学校体育施設開放事業利用状況

【名寄地区】

| 学　校　名 | 利用日数　（日） | | | 利用者数　（人） | | | 利用平均　（人/１日） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 29年度 | 28年度 | 前年比 | 29年度 | 28年度 | 前年比 | 29年度 | 28年度 |
| 名寄小学校 | 222 | 240 | 93% | 4,199 | 5,644 | 74% | 18.9 | 23.5 |
| 名寄南小学校 | 287 | 260 | 110% | 12,061 | 10,035 | 120% | 42.0 | 38.6 |
| 名寄東小学校 | 238 | 226 | 105% | 2,498 | 2,485 | 101% | 10.5 | 11.0 |
| 名寄西小学校 | 305 | 279 | 109% | 5,649 | 4,409 | 128% | 18.5 | 15.8 |
| 智恵文小学校 | 0 | 0 | - | 0 | 0 | - | － | － |
| 名寄中学校 | 231 | 221 | 105% | 2,147 | 2,091 | 103% | 9.3 | 9.5 |
| 名寄東中学校 | 286 | 282 | 101% | 7,056 | 6,490 | 109% | 24.7 | 23.0 |
| 智恵文中学校 | 0 | 0 | 0% | 0 | 0 | 0% | － | － |
| 合　計 | 1,569 | 1,508 | 104% | 33,610 | 31,154 | 108% | 21.4 | 20.7 |

【風連地区】

| 学　校　名 | 利用日数 | | | 利用人数 | | | 平均利用人数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 29年度 | 28年度 | 前年比 | 29年度 | 28年度 | 前年比 | 29年度 | 28年度 |
| 風連中央小学校 | 235 | 236 | 100% | 3,923 | 3,241 | 121% | 16.7 | 13.7 |
| 風連下多寄小学校 | 6 | 9 | 67% | 42 | 57 | 74% | 7.0 | 6.3 |
| 東風連小学校 | 119 | 88 | 135% | 1,780 | 1,008 | 177% | 15.0 | 11.5 |
| 風連日進小学校 | 122 | 181 | 67% | 1,553 | 1,833 | 85% | 12.7 | 10.1 |
| 合　計 | 482 | 514 | 94% | 7,298 | 6,139 | 119% | 15.1 | 11.9 |

## 【参考】平成30年度各種大会開催予定

（１）名寄市（教育委員会）が主催・主管する大会

| 大　会　名 | 主催・主管<br>競技団体名 | 参加<br>予定数 | 開催<br>時期 | 会　場 |
|---|---|---|---|---|
| 第66回なよろ憲法記念<br>ハーフマラソン大会 | 名寄市・名寄市教育委員会<br>道北陸上競技協会 | 800人 | ５月 | なよろ健康の森<br>陸上競技場 |

（２）名寄市（教育委員会）と競技団体が共催する大会

| 大　会　名 | 主催・主管<br>競技団体名 | 参加<br>予定数 | 開催<br>時期 | 会　場 |
|---|---|---|---|---|
| 第49回名寄ピヤシリ<br>ジャンプ大会 | 名寄地方スキー連盟<br>北海道新聞社 | 120人 | 12月 | ピヤシリシャンツェ |
| JOCジュニアオリンピックカップ2019<br>全日本ジュニアスキー選手権大会 | (公財)全日本スキー連盟 | 1,000人 | ３月 | ピヤシリシャンツェ<br>なよろ健康の森 |

（３）関係競技団体が主催・主管する大会

| 大　会　名 | 主催・主管<br>競技団体名 | 参加<br>予定数 | 開催<br>時期 | 会　場 |
|---|---|---|---|---|
| 高円宮賜杯<br>第38回全日本学童軟式野球大会 | 北海道軟式野球連盟 | 320人 | ７月 | 名寄市営球場 |
| サンピラー国体記念<br>第16回サマージャンプ大会 | 名寄地方スキー連盟 | 120人 | ７月 | ピヤシリシャンツェ |
| 平成30年度市民水泳大会 | 名寄水泳協会 | 80人 | ９月 | 市営南水泳プール |
| 第36回北海道クラブカップ<br>バスケットボール交歓名寄大会 | 北海道クラブバスケットボール連盟 | 600人 | ９月 | スポーツセンター |
| 第34回あかげらロードレース | 道北陸上競技協会名寄支部 | 120人 | ９月 | なよろ健康の森<br>陸上競技場 |
| 第24回クロスカントリー<br>名寄大会 | 名寄地方スキー連盟 | 430人 | 12月 | なよろ健康の森 |
| 第37回全日本コンバインド大会 | 名寄地方スキー連盟 | 85人 | 12月 | ピヤシリシャンツェ |
| 第31回ピヤシリカップ<br>カーリング大会 | 名寄カーリング協会 | 80人 | ３月 | サンピラー交流館<br>カーリングホール |

# ６　市内体育施設

## １　名寄市スポーツセンター

（１）所　在　地　　名寄市西７条南12丁目55番地134（TEL 3-6627・3-6628 FAX 3-8671）

（２）開設年月日　　昭和50年４月１日
（平成５年増築）

（３）主 要 施 設　　敷地面積　　17,270 ㎡
建　　物　　4,297.95 ㎡
鉄筋コンクリート一部鉄骨造り２階建
１階　3,234.52 ㎡　　２階　1,063.43 ㎡

| | | | |
|---|---|---|---|
| ア　リ　ー　ナ | 1,484.40 ㎡（42m×35m） | | |
| 第 1 体 育 室 | 237.60 ㎡ | ロ　ビ　ー | 264.30 ㎡ |
| 幼 児 体 育 室 | 91.20 ㎡ | 第 2 体 育 室 | 511.20 ㎡ |
| 研　修　室 | 70.40 ㎡ | シャワー更衣室 | 76.16 ㎡ |
| 事　務　室 | 73.41 ㎡ | | |
| 観　覧　席 | （固定席 300人、立見席 300人、移動席 2,300人） | | |
| 駐　車　場 | 350台（172m×55m） | | |

（４）スポーツ設備

| | | | |
|---|---|---|---|
| バスケットボール | ２面 | バドミントンコート | 10面 |
| バレーボール（９人制） | ２面 | 卓　球　コ　ー　ト | 20台 |
| 〃　（６人制） | ３面 | テ ニ ス コ ー ト | ２面 |
| 柔　道 | 50畳×２面 | トランポリン等体操用具 | １式 |
| 体 力 測 定 器 具 | 各種 | トレーニング器具 | 各種 |

（５）利 用 案 内

開館時間　　日曜日及び国民の祝日　　午前９時～午後５時
上記以外の日　　午前９時～午後９時

休 館 日　　①年末年始（12月30日～１月５日）
②毎月末日（但し、末日が土曜日・休日にあたる月は、その直近の日）

利 用 料　　個人使用の時間帯区分を
午前（ 9:00～12:30）
午後（13:30～17:00）
夜間（18:00～21:00）
の３段階とし、使用料を徴する。

## ２　その他施設

（１）名寄地区

| 施　設　名 | 所在地 | 開設年月日 | 構　造　及　び　規　模 | 施設設備の概要 | 開設期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名寄市北体育館 | 東1条<br>北6丁目 | H元. 4. 1 | 木造モルタル一部２階建<br>１階 583.20㎡<br>２階　87.48㎡<br>670.68㎡ | 弓道場、研修室<br>更衣室、管理室 | 名寄弓道会<br>自主管理 |
| 名寄市Ｂ＆Ｇ<br>海洋センター | 西4条<br>北8丁目 | H 2. 5.31 | 上屋シート、夜間照明<br>プール（ステンレス製）<br>６コース　25m×13m<br>幼児用　10m× 6m | 事務室、医務室<br>更衣室、シャワー<br>トイレ、機械室、<br>薬品室 | ５月中旬～<br>10月下旬<br>有料 |
| 名寄市営<br>南水泳プール | 西７条<br>南12丁目 | S48. 8.14<br>H19. 5.19<br>（改修） | 鉄筋コンクリート造<br>ＦＲＰ製<br>６コース　25m×13m<br>幼児用　13m×4.5m | 循環装置、更衣室<br>シャワー、事務室<br>ミーティングルーム<br>機械室、トイレ<br>照明施設、駐車場 | ５月中旬～<br>10月下旬<br>有料 |
| 名寄市営<br>智恵文水泳プール | 智恵文<br>11線<br>北2番地 | S51.10. 1<br>H 5. 6.30<br>（改修）<br>H24. 5.15<br>(ｼｰﾄ改修) | 鉄筋コンクリート造<br>鋼鉄製上屋シート付<br>ビニールシート張<br>５コース　25m×11m<br>（１コース幼児用） | 管理棟、循環装置<br>更衣室、シャワー<br>管理人室、機械室<br>トイレ<br>照明施設　2基 | ６月中旬～<br>９月下旬<br>有料 |
| 名寄市営球場 | 東2条<br>南11丁目 | S42. 7. 1<br>S55.11.30<br>（改修）<br>H 7.11.16<br>（改修） | 敷地面積　17,216㎡<br>レフト・ライト　90m<br>センター　110m<br>メインスタンド　200人<br>内野スタンド　300人<br>外野芝生席　4,500人 | バックネット　1基<br>ダッグアウト2カ所<br>スコアボード　1基<br>用具室　2カ所<br>役員室　1カ所<br>管理棟　1棟 | ５月上旬～<br>10月下旬<br>有料 |
| 名寄市営サブ球場 | 緑丘 | S50.10. 1<br>S56.11. 1<br>（改修） | 敷地面積　13,200㎡<br>レフト・ライト　90m<br>センター　110m | 用具庫　1カ所 | ５月上旬～<br>10月下旬 |
| 名寄公園<br>テニスコート | 緑丘 | S43.11. 1<br>H 5. 9.20<br>（改修） | グリーンサンドコート　２面 | 用具室、トイレ | ５月上旬～<br>11月上旬<br>有料 |
| 名寄市<br>テニスコート | 西７条<br>南12丁目 | S54.10.31<br>H16. 9. 1<br>H24.<br>（改修） | グリーンサンドコート　４面<br>オムニコート　４面 | 管理棟、更衣室<br>トイレ<br>夜間照明施設<br>（H 3. 8.15） | |
| ゲートボール場 | 西7条<br>南12丁目 | H 2. 6.28<br>H 8.<br>（増設） | コート　18m×70m　６面 | | ４月下旬～<br>10月下旬 |
| 土俵 | 西7条<br>南12丁目 | H 3. 8. 4 | 入母屋造り、銅板葺き | | |
| カーリングリンク | 日進<br>ｻﾝﾋﾟﾗｰ<br>交流館内 | H18.11.11 | シート　５面 | | 11月上旬～<br>３月下旬 |

| 施　設　名 | 所在地 | 開設年月日 | 構造及び規模 | 施設設備の概要 | 開設期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名寄<br>ピヤシリスキー場<br><br>S63.6.24<br>FIS公認　２コース<br>SAJ公認　２コース | 日進 | S48.12.29 | 面積　67.05ha<br>駐車場　1,000台収容<br>最高斜度　35度<br>平均斜度　18.3度<br>全長　2,000m | 第1リフト　696m<br>第2リフト　406m<br>第3リフト　442m<br>ﾛﾏﾝｽﾘﾌﾄ　1,395m<br>ロッジ　116人収容 | 12月上旬～<br>４月上旬 |
| 体育センターピヤシリ・フォレスト | 日進 | H 4. 2.28 | 体育館　722㎡<br>研修センター　558.54㎡<br>水処理施設　59.4㎡ | 事務室、会議室<br>パトロール詰所<br>トレーニング室 | 有料 |
| 名寄市<br>ピヤシリシャンツェ<br><br>ノーマルヒル<br>K90 SAJ公認 | 日進91・97林班 | H14.10. 1 | 鉄筋コンクリート構造<br>アプローチ直線　斜度35度<br>ランディングバーン<br>最高斜度36.5度 | ジャッジハウス　2<br>スノーメイキングシステム<br>夏冬兼用シングルリフト　224m<br>(H5.11.24)<br>管理棟、トイレ | 夏期間<br>４月下旬～<br>10月上旬<br><br>冬期間<br>12月上旬～<br>３月末日 |
| 名寄市<br>ピヤシリシャンツェ<br><br>ミディアムヒル<br>K65 SAJ公認 | 日進91・97林班 | H 6.11.30 | 施設総面積　32,444ha<br>鉄筋コンクリート構造<br>アプローチ直線　斜度30度<br>ランディングバーン<br>最高斜度35.5度<br>全長　212.5m<br>アプローチ　62.0m<br>ﾗﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾊﾞｰﾝ　114.8m<br>アップヒル　52.8m | サマー設備<br>機械室　1棟<br>パイプライン　268m<br>バイオトイレ　1棟 | |
| 名寄市営<br>スケートリンク | 西13条<br>南４丁目 | S46.12. 1 | スピードリンク<br>１周250m、幅10m | 管理棟（事務室）<br>休憩室、夜間照明 | 12月下旬～<br>２月中旬 |
| 天塩川緑地 | 天塩川<br>左岸<br>天塩川<br>右岸 | S57、S58<br>S56、S61<br>S60、S61<br>H元<br>S63<br>S63<br>H14 | 野球場（A・B）　２面<br>サッカー場、ラグビー場<br>ソフトボール場　４面<br>グランドゴルフ場18ホール<br>サイクリングロード2.2km<br>ヘルスビートコース<br>パークゴルフ場　18ホール | | ５月上旬～<br>10月下旬 |
| 名寄川緑地 | 名寄川<br>左岸 | S62<br>H 6 | ゲートボールコート　２面<br>パークゴルフ場　18ホール | | ５月上旬～<br>10月下旬 |
| 陸上競技場 | 日進<br>なよろ<br>健康の森 | H 8. 5.26 | １周400mクレートラック | 管理棟（事務室） | ５月上旬～<br>10月下旬 |
| えんれい<br>パークゴルフ場<br>NPGA公認 | 日進<br>なよろ<br>健康の森 | H 8. 5.24 | 18ホール　1.9ha | | ５月上旬～<br>10月下旬 |
| あかげら<br>パークゴルフ場<br>NPGA公認 | 日進<br>なよろ<br>健康の森 | H12. 5.16 | 18ホール　1.9ha | | 有料 |
| 名寄公園<br>パークゴルフ場 | 緑丘17線 | H14. 6. 8 | 18ホール　1.1ha | 管理棟、トイレ<br>駐車場　35台<br>駐輪場　20台 | |

（２）風連地区

| 施　設　名 | 所在地 | 開設年月日 | 構造及び規模 | 施設設備の概要 | 開設期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 名寄市風連スキー場 | 風連町<br>字西風連 | S45<br><br><br><br>H09<br>H25 | 面積　77,146㎡<br>最大斜度　17度<br>平均斜度　11度<br>照明設備 | ヒュッテ<br>ミニリフト　300m<br><br>ｺﾝ柱5基、26灯<br>ﾐﾆﾘﾌﾄﾓｰﾀｰ　交換 | 12月中旬<br>～<br>3月上旬 |
| 名寄市営風連球場 | 風連町<br>字中央 | S54<br><br><br><br><br><br>H11 | 球場面積　12,451㎡<br>レフト・ライト　90m<br>センター　110m<br>収容人数　2,000人<br><br><br>外野芝張替・トイレ改修 | バックネット1基<br>ダッグアウト2ヶ所<br>スコアボード1基<br>用具室4ヶ所<br>役員室1ヶ所<br>トイレ1ヶ所 | 5月上旬<br>～<br>10月下旬 |
| 名寄市風連東地区運動広場テニスコート | 風連町<br>新生町 | S62 | ハードコート　4面 | 夜間照明施設<br>用具室 | 5月上旬<br>～<br>10月下旬 |
| 名寄市風連東地区運動広場パークゴルフ場 | 風連町<br>新生町 | H13 | 9ホール　1.4ha | | 5月上旬<br>～<br><br>10月下旬 |
| 名寄市風連東地区運動広場簡易パークゴルフ場 | 風連町<br>新生町 | H11<br>H22<br>H24 | 18ホール<br>9ホール芝生化・散水設備設置<br>9ホール芝生化 | | |
| 名寄市風連Ｂ＆Ｇ海洋センター | 風連町<br>新生町 | H元<br><br><br><br>H10<br>H14<br>H16 | 第１体育館　726.15㎡<br>第２体育館　456.30㎡<br>プール　6コース<br>幼児用プール　69㎡<br>プール循環水加温設備・保温シェルター設置<br>上屋シート・照明更新<br>ろ過器ろ過材交換　69㎡ | 駐車場80台収容 | |
| 名寄市風連農村環境改善センター | 風連町<br>新生町 | S59 | 多目的ホール　382.90㎡ | | |
| 海洋クラブ艇庫 | 風連町<br>字池の上 | H2 | カヌー　7艇<br>ペアカヌー　2艇<br>ローボート　2艇<br>ヨット　4艇 | | |
| 名寄市風連サンシャインホール | 風連町<br>字旭 | H5 | アリーナ　441.98㎡ | | |

# 7　名寄市児童センター

市民のこころ豊かな人づくりを目的に、名寄市児童センター及び風連児童会館は、児童が放課後等、遊びやスポーツに親しみ、各行事や体験活動を通して健康を増進し、情操を豊かにする自由来館型の安全で安心な居場所として設置しています。

児童センターでは、季節の行事をはじめボランティアによる「読み聞かせ」や「一輪車教室」など各種企画行事内容の充実を図るとともに、施設機能を生かした遊びの場として利用増進を図っています。風連児童会館では、遊びの充実や健康増進を目指すとともに、風連児童クラブと連携した特色ある企画行事の活動を推進しています。

また、放課後児童対策として、保護者が就労等によって昼間家庭が留守になる環境にある児童の健全育成と子どもたちの安全安心な居場所を確保するため、南児童クラブ・東児童クラブ及び風連児童クラブを設置しています。

## 1　平成30年度基本目標

設置されている機関相互の特性を生かして、学校及び地域との連携を強化し、青少年の健全育成及び子育て支援として子育て親子の利用を促進し、社会教育施設としての充実と利用しやすい環境の醸成に努めます。

## 2　平成30年度運営方針

児童センター・児童会館は、幼児（保護者同伴）や児童生徒が遊びやスポーツ、各種行事や体験活動を通して心身の健康を増進し、情操を豊かにするよう努めるとともに、児童や保護者にとって安全安心な居場所を提供します。

児童クラブは、保護者が就労等により、昼間家庭が留守となる環境にある小学児童の健全育成と安全な生活の場所を確保し、保護者の仕事と子育ての両立を支援していきます。

## 3　平成30年度事業計画

| 児童センター | 風連児童会館 | 南児童クラブ | 東児童クラブ | 風連児童クラブ |
|---|---|---|---|---|
| **◎毎月の行事** | **◎毎月の行事** | **◎毎月の行事** | **◎毎月の行事** | **◎児童会館の各種行事と一緒に連携して行う** |
| 本の読み聞かせ | みるぶっく（読書・読み聞かせ） | 絵本読み聞かせ・折り紙教室 | 絵本読み聞かせ・折り紙教室 | **◎毎月の行事** |
| 工作教室 | なわとび検定 | 将棋教室 | 百人一首教室 | お誕生日会 |
| けん玉教室・検定 | キャンディ（DVD鑑賞） | 一輪車チャレンジ | けん玉検定 | 読み聞かせ |
| ほっとタイム（DVD鑑賞） | | お誕生会 | お誕生会 | **◎季節の行事** |
| **◎季節の行事** | **◎季節の行事** | **◎季節の行事** | **◎季節の行事** | 歓迎会 |
| 進級おめでとう会 | 歓迎会 | 新入生歓迎会 | 新入生歓迎会 | 工作教室 |
| 母の日プレゼント作り | 工作教室 | 一輪車講習会 | 子どもの日工作 | レクリエーション |
| 父の日プレゼント作り | レクリエーション | こどもの日お祝い会 | 母の日プレゼント作り | 七夕まつり |
| 七夕まつり | 七夕まつり | 母の日プレゼント作り | 父の日プレゼント作り | 児童会館まつり |
| 児童センターミニ運動会 | 児童会館まつり | 父の日プレゼント作り | 社会見学&バス学習 | バス遠足 |
| 児童センターまつり | バス遠足 | 七夕会・水遊び | バス遠足 | クリスマス会 |
| バス遠足 | クリスマス会 | 世代交流体験 | お楽しみ会 | 新年お楽しみ会 |
| ハロウィン・秋の工作 | 新年お楽しみ会 | バス遠足 | ハロウィンお楽しみ会 | 食育料理教室 |
| 児童将棋大会 | 冬のお話会 | 秋の味覚祭り | 勤労感謝のプレゼント作り | 冬のお話会 |
| おもちつき会 | 豆まきのつどい | 勤労感謝のプレゼント作り | クリスマス会 | 豆まきのつどい |
| クリスマス会 | おひなまつり会 | クリスマス会 | 雪中レク | おひなまつり会 |
| まめまき | お別れ会 | 習字体験 | 習字体験 | 陶芸教室 |
| 冬を楽しもう | | 節分行事 | 節分行事 | お別れ会 |
| ひなまつり | | ひなまつり会 | ひなまつり | |
| 表彰式・お楽しみ会 | | 卒業・進級を祝う会 | 卒業・進級お祝い会 | |

## ４　施設概要

**【児童センター（愛称「ほっと２１」）】**

（１）所　在　地　　名寄市西11条北2丁目12番地54（TEL・FAX：01654-3-3465）

（２）開設年月日　　平成23年３月27日

経緯・旧青少年会館　　昭和43年１月５日　　・旧児童センター　　平成４年４月20日

・旧働く婦人の家　昭和48年１月20日　　・旧女性児童センター　平成16年４月１日

・両施設を廊下で結合　　昭和52年8月　　※（旧青少年会館　一部解体　平成23年８月10日）

（３）主 要 施 設　　延 床 面 積　915.24㎡

| ・１　　階 | 589.21㎡ | ・２　　階 | 326.03㎡ |
|---|---|---|---|
| 児 童 室（集会室） | 32.2㎡ | 相　談　室 | 33.6㎡ |
| 図書室 | 46.2㎡ | 適応指導教室 | 33.6㎡ |
| 調理室 | 50.4㎡ | 適応指導教室（和室） | 67.2㎡ |
| ホール | 84.62㎡ | 会　議　室 | 32.2㎡ |
| 体育室 | 236.52㎡ | 講　習　室 | 67.2㎡ |
| 事務室 | 50.4㎡ | ２階廊下他 | 92.23㎡ |
| １階用具庫・トイレ他 | 88.87㎡ | | |

（４）利　用　案　内

・開館時間　　午前９時～午後５時

・休 館 日　　日曜日・国民の祝日・年末年始（12月31日～1月5日）

（５）利　用　状　況

◎一般利用状況

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ３，００５ | ３，４２６ | ３，１０７ |

◎放課後児童利用状況

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ３，５７４ | ５，０９９ | ３，７６８ |

**【風連児童会館】**

（１）所　在　地　　名寄市風連町南町84番地１

（２）開設年月日　　昭和50年12月1日

（３）主 要 施 設　　延　床　面　積　899.40㎡

・児　童　室　　47.00㎡　・プレイルーム　　144.00㎡

・資　料　室　　30.50㎡　・事　務　室　　30.00㎡

・１階用具庫・トイレ他　　269.58㎡

・図書館風連分館　（1 階）155.52㎡　（2階）222.8㎡

（4）利 用 案 内

・開館時間（児童会館）　午前9時～午後5時

・休 館 日　日曜日、国民の祝日・年末年始（12月31 日～1月5日）

・開館時間（図書館風連分館）午前9時30分～午後5時（平日）、午前9時30分～午後4時（土曜日）

・休 館 日　日曜日・国民の祝日・毎月末日・年末年始（12月30日～1月5日）・特別整理日

（5）利 用 状 況

◎放課後児童利用状況

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | １０，０９６ | １２，６６０ | １２，５１６ |

## 【南児童クラブ】

（1）所　在　地　　名寄市西６条南12丁目55番地２（名寄市立名寄南小学校敷地内）

（2）開設年月日　　平成10年４月１日

（改築年月日）　　平成28年４月１日

（3）主要施設　　延床面積　　307.22㎡

・児童室（プレイルーム）　191.29㎡

・図書室　16.56㎡

・静養室　4.97㎡

・ホール　23.19㎡

・事務室　26.50㎡

・１階用具庫・トイレ他　44.71㎡

（4）利　用　案　内

・開館時間　　平　日　　下校時～午後６時30分

土曜日・長期休業日　　午前８時00分～午後６時30分

・休 館 日　　日曜日・国民の祝日・年末年始（12月31 日～1月5日）

（5）利　用　状　況

◎1年生　（※平成２７年度まで1～2年生のクラス）

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ８，５１９ | ７，２０５ | ５，３３０ |

◎2・3年生　（※平成２７年度まで3～6年生のクラス）

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ５，５２０ | ７，０４０ | ７，４７５ |

◎4・5・6年生

| 年　度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ３，５９２ | ３，８２３ |

## 【東児童クラブ】

（1）所　在　地　　名寄市東５条南３丁目63番地40

（2）開設年月日　　平成28年12月１日

（3）主要施設　　延床面積　115.83㎡

・１　階　76.95㎡　　・２　階（図書室）　38.88㎡

児童室　54.27㎡

トイレ他　22.68㎡

（4）利　用　案　内

・開館時間　　平　日　　下校時～午後６時30分

土曜日・長期休業日　　午前８時00 分～午後６時30分

・休 館 日　　日曜日・国民の祝日・年末年始（12月31日～１月5日）

（５）利　用　状　況

| 年　度 | 平成28年度<br>（12月～３月） | 平成29年度 |
|---|---|---|
| 開設日数（日） | ９５ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | １，５７４ | ５，６５５ |

**【風連児童クラブ】**

（１）所　在　地　　名寄市風連町南町85番地２

（２）開設年月日　　平成10年４月１日

（改築年月日）　　平成23年１月21日

（３）主要施設　　延床面積　142.80㎡

・児　童　室　　46.0㎡

・遊　戯　室　　46.0㎡

・トイレ他　　50.8㎡

（４）利用案内

・開館時間　　平　日　　下校時～午後６時30分

土曜日・長期休業日　　午前８時00 分～午後６時30分

・休館日　　日曜日・国民の祝日・年末年始（12月 31 日～１月５日）

（５）利　用　状　況

| 年　度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---|---|---|---|
| 開設日数（日） | ２９４ | ２９４ | ２９３ |
| 延べ人数（人） | ７，５０５ | ９，２５６ | ６、９８５ |

## ５　放課後子ども教室

放課後等に、社会教育施設等を活用し、子どもたちの安全、安心な居場所となる活動拠点を設け、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、自ら学ぶ姿勢を高め学習習慣の定着を図っています。

・平成29年度利用者数（実人員）

名寄市児童センター教室（毎週水曜日）・・・・・小学生１１人

ふうれん地域交流センター教室（毎週木曜日）・・小学生１０人

名寄市民文化センター教室（毎週火曜日）・・・・中学生　６人

ふうれん地域交流センター教室（毎週木曜日）・・中学生　５人

# ８　名寄市青少年センター（名寄市児童センター内）

## １　平成 30 年度活動方針

名寄市内の青少年の健全育成を目指し、日常的に実施している巡視・指導活動を通して子どもの理解と非行の未然防止に努めます。各学校・警察署・青少年健全育成諸団体と連携を図り、地域住民の協力を得ながら見守り、声かけを組織的・計画的に推進していきます。

## ２　平成 30 年度活動内容

① 指導及び巡視（一般巡視、夜間巡視、特別巡視、下校時に合わせた指導巡視）
② 広報活動と地域活動の推進（青少年健全育成標語の募集等、各校安心会議の参加）
③ 環境浄化運動（有害環境にかかる市内店舗立入調査・監視）
④ 指導員研修会の開催（情報交換等）、他機関の研修会への参加
⑤ 青少年表彰（市内在住の青少年で、顕著な功績があった団体、個人を表彰する）

## ３　平成 30 年度事業計画

| 月 | 事　　業 | 月 | 事　　業 |
|---|---|---|---|
| 4月 | ・一般巡視 | 10月 | ・一般巡視<br>・青少年健全育成標語募集（小・中・高等学校） |
| 5月 | ・一般巡視,<br>・名寄市青少年問題協議会<br>・名寄市青少年センター指導員委嘱状交付式及び研修会 | 11月 | ・一般巡視<br>・全国青少年健全育成強調月間に連動した活動<br>・青少年健全育成標語選考委員会<br>・青少年健全育成標語入選者表彰式<br>・標語ﾎﾟｽﾀｰ配布掲示 |
| 6月 | ・一般巡視<br>・公園点検 | | |
| | | 12月 | ・一般巡視 |
| 7月 | ・一般巡視<br>・青少年表彰推薦依頼（高校・大学・企業団体）<br>・北海道青少年健全育成条例に基づく立入調査<br>・社会を明るくする運動（キャラバン隊参加） | 1月 | ・一般巡視<br>・冬休み特別巡視 |
| 8月 | ・一般巡視<br>・夏休み特別巡視<br>（名寄・風連地区祭典会場巡視含む） | 2月 | ・一般巡視<br>・名寄市青少年問題協議会 |
| 9月 | ・一般巡視<br>・青少年表彰選考委員会<br>・青少年表彰式 | 3月 | ・一般巡視<br>・春休み特別巡視 |

# ９　名寄市教育相談センター（名寄市児童センター内）

名寄市教育相談センターは、教育上の諸問題に対する指導、助言等を行うために設置しています。電話等により児童生徒やその保護者の相談に対応する「ハートダイヤル」の運営や、不登校及びその傾向にある児童生徒に関して支援する「適応指導教室」を開設しています。

平成 23 年度からは、教育推進アドバイザー１名を配置して学校生活における問題への対応と教職員並びに関係機関との連携を図っています。

また、定期的（毎月第２週・第４週の木曜日）にセンターの夜間開放を行い、軽スポーツ・調理実習・季節の行事などでひきこもりの解消や日中の相談が困難な方に対応しています。

１　適応指導教室

不登校となった児童生徒に対し、適応指導教室への通室などにより、学校復帰や自立支援に向け、学習や多くの体験活動等の支援や指導を行っています。適応指導教室への通室は、学校への出席としてみなされます。

平成 29 年度入室者数（実人員）

| 小学生 | 中学生 | 合計 |
|---|---|---|
| ０人 | ４人 | ４人 |

２　ハートダイヤル

「ハートダイヤル」は、いじめ・ひきこもり・不登校・落ち込み・イライラなど子供たちや保護者の多様化する悩みに対し、電話相談・面談を通して、その悩む心を和らげ自立する心を育むため開設しています。

【電話・面談集計詳細表】　（平成 29 年度末）

| | 相談者 | | | | | | | | | 相談区分 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 保護者 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | | 一般 | | | 合計 | 不登校 | 復帰後 | | | いじめ | 学業・進路問題 | 親子関係（家庭環境） | 性にかかわる問題（含異性関係） | 生活一般 | 学校の対応（含教師関係） | 健康問題・発達障がい | 友人関係 | 育児・子育て・しつけ | その他 | 合計 |
| | | | | 在学中 | 他 | 学校関係者 | 関連機関職員等 | その他 | | | 学習支援 | 気力回復・気分転換 | 家族支援 | | | | | | | | | | | |
| 電話 | 38 | 2 | 1 | 0 | 0 | 5 | 6 | 13 | **65** | 30 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 6 | 1 | 11 | 10 | 0 | 2 | 2 | 8 | **73** |
| 面談 | 29 | 4 | 39 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | **78** | 50 | 2 | 1 | 0 | 1 | 7 | 8 | 0 | 1 | 14 | 0 | 2 | 1 | 2 | **89** |
| 合計 | 67 | 6 | 40 | 0 | 0 | 7 | 9 | 14 | **143** | 80 | 2 | 1 | 1 | 3 | 7 | 14 | 1 | 12 | 24 | 0 | 4 | 3 | 10 | **162** |

この他に電話・面談以外の相談活動や学校・家庭訪問等の活動が 63 件

３　教育推進アドバイザー

（１）いじめ・不登校・非行事項等に係わる情報の共有に関すること

（２）必要に応じた教職員等の面談やケース検討会議のコーディネイト、学校への定期的訪問に関すること

（３）家庭や地域との連携～必要に応じた訪問や相談等に関すること

（４）教職員並びに関係機関との連携に関すること

# １０　名寄市北国博物館

名寄市北国博物館は、北海道の北部に位置し、寒冷・多雪な冬と年間の気温差が60度を超える寒暖差がある名寄市の自然と歴史に学び、その知恵を発展させて今後の暮らしに生かしていく拠点として設置されました。厳しい自然の中で育まれてきた先人の知恵を体験しながら、学び伝承するとともに、マイナスイメージの強かった「北国」のイメージを楽しみや親しむ心を持って、プラス志向で新しい北国文化を創造していくことを運営の指針としています。

## １　平成３０年度重点目標

○博物館活動を通じた情報発信と地域に開かれた交流施設となる事業の推進

①「名寄の歴史、自然」をテーマとした普及事業を実施し、地域の理解をより深める。

②自然とのふれあいや体験活動、子ども同士や親子の交流を目的とした青少年事業の実施

③文化財や史跡の保全と普及啓発に関する事業の実施。

## ２　平成３０年度事業予定

| 月 | 展示会 | 観察会・普及事業 | その他 |
|---|---|---|---|
| 4 | 及川幸雄展「屏風絵の世界Ⅱ」 | | ＧＷ企画「博物館で遊ぼう」 |
| 5 | 「野外植物展」<br>「カラスのふしぎスズメのひみつ」 | ・早春の森観察（観察クラブ）<br>・新緑の森観察会 | |
| 6 | 北国風景画同好会<br>「風花」作品展 | ・空のハンター観察会<br>・初夏の自然観察（観察クラブ） | |
| 7 | 特別展<br>「エ　ゾ　シ　カ」 | ・川釣り体験（観察クラブ） | 特別展講演会「エゾシカがいる自然」<br>講師　石黒　誠 |
| 8 | | ・夏休み体験講座<br>「コウモリ観察会」<br>「ｳﾁﾀﾞｻﾞﾘｶﾞﾆﾊﾞｽﾀｰｽﾞ」 | ・天塩川流域史講座（全６回） |
| 9 | 企画展「きのこ」 | ・九度山登山（観察クラブ）<br>・きのこ観察会 | |
| 10 | 企画展「名寄と文学」（仮称） | ・野外料理（観察クラブ） | |
| 11 | 企画展<br>「松浦武四郎生誕 200 年記念展」 | ・工作（観察クラブ） | |
| 12 | 企画展「三宅章個展」 | ・キャンドル作り（観察クラブ） | ・杉並区・名寄自然体験交流 |
| 1 | 特別展<br>「名寄開拓母村の冬<br>山形・福島・富山」 | ・森のたんけん隊　2019 冬<br>・冬休み体験教室 | ・冬の室内遊び展 |
| 2 | | | ・雪あかりコンサート 2019<br>・大人の絵本時間 |
| 3 | ひな人形展／棚橋教室作品展<br>平成３０年度新着資料展 | ・体験教室「雪と遊ぼう」 | |

## ３　常設展示内容（面積：570㎡）

＜テーマ＞

北海道の北部に位置し、多雪・寒冷そして明瞭な四季の変化のある「名寄」で繰り広げられてきた自然と歴史について学び、未来へその知恵を継承発展させる。

〇北国名寄・・・・・・・・どうして多雪・寒冷なのか
〇北の先史・・・・・・・・氷河期後の人間の暮らし
〇カムイの森・・・・・・・冬の森を通してみたアイヌの自然感と文化
〇さむさ・ひと・くらし・・生活資料からたどる雪・寒さとの関わりあいの歴史
〇映像コーナー・・・・・・３面マルチスクリーンによる上映
　　「北交響」～北国名寄の四季の移ろい
　　「北国・名寄の歴史」～開拓期から現代まで
　　名寄市の花・鳥・木や指定文化財を紹介する情報検索など
〇郷土コーナー・・・・・・国指定天然記念物「鈴石」「高師小僧」
　　アイヌの伝承者「北風磯吉」
　　名寄が生んだ名力士「名寄岩」
　　アイヌ文化の景勝地　名勝「九度山」

## ４　北国博物館施設概要

（１）所　在　地　　名寄市字緑丘222番地（TEL兼FAX 3-2575）
（２）開館年月日　　平成８年２月10日
（３）主 要 施 設
　　延 床 面 積　　2,099㎡（1階　1,655㎡・2階　444㎡）

| １　階 | | ２　階 | |
|---|---|---|---|
| エントランスホール | 114㎡ | 地域情報室 | 72㎡ |
| ギャラリーホール | 154㎡ | 講　堂 | 107㎡ |
| 第１収蔵庫 | 60㎡ | 書　庫 | 42㎡ |
| 第２収蔵庫 | 177㎡ | 研　究　室 | 130㎡ |
| 常設展示室 | 570㎡ | | |

## ５　利用案内

開 館 時 間　　午前９時～午後５時
休　館　日　　毎週月曜日・年末年始
観　覧　料

| 常設展 | 区 分 | | 観覧料 | 特別展 | 区 分 | 区分 | 観覧料 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 個人 | 一般・学生 | ２２０円 | | 個人 | 一般・学生 | その都度市長が定める額 |
| | | 高齢者 | １１０円 | | | 高齢者 | |
| | 団体 | 一般・学生 | １５０円 | | 団体 | 一般・学生 | |

備考　１　高校生以下は無料とする。
　　２　障がいを有する者（身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳のいずれかを有する者）及び介助者は、無料とする。
　　３　高齢者とは、65歳以上の者をいう。
　　４　団体は１団体10人以上とする。

## ６　施設利用状況

| 年度 | 個人 | | | 団体 | | | 行事、他 | 利用者 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 幼小中 | 高校・一般 | 免　除 | 団　体 | 見　学 | 視　察 | 人数 | 総　計 |
| 25 | 685 | 1,373 | 265 | 195 | 630 | 136 | 8,376 | 11,660 |
| 26 | 529 | 1,545 | 689 | 72 | 711 | 134 | 10,379 | 14,059 |
| 27 | 620 | 1,634 | 1,200 | 300 | 900 | 148 | 7,713 | 12,515 |
| 28 | 725 | 1,851 | 365 | 186 | 730 | 57 | 7,329 | 11,243 |
| 29 | 721 | 2,062 | 584 | 151 | 718 | 108 | 7,421 | 11,765 |

## ７　資料受入状況

| 年　度 | 寄贈 | | 採集 | | 収集（購入） | | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 件　数 | 点　数 | 件　数 | 点　数 | 件　数 | 点　数 | （点数） |
| 25 | 40 | 878 | 0 | 0 | 0 | 0 | 878 |
| 26 | 48 | 848 | 0 | 0 | 0 | 0 | 848 |
| 27 | 33 | 455 | 0 | 0 | 0 | 0 | 455 |
| 28 | 19 | 1,121 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,121 |
| 29 | 24 | 368 | 0 | 0 | 0 | 0 | 368 |

## ８　資料保有数

| 区　分 | 地　学 | 生　物 | 考　古 | 民　族 | 生　活 | 産　業 | 文献記録 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25年度末保有数 | 4,338 | 2,786 | 84,269 | 528 | 11,117 | 12,663 | 7,191 | 122,892 |
| 26年度末保有数 | 4,412 | 2,787 | 84,269 | 529 | 11,570 | 12,928 | 7,245 | 123,740 |
| 27年度末保有数 | 4,418 | 2,790 | 84,300 | 529 | 11,847 | 13,021 | 7,290 | 124,195 |
| 28年度末保有数 | 5,482 | 2,790 | 84,300 | 531 | 11,876 | 13,037 | 7,300 | 125,316 |
| 29年度末保有数 | 5,572 | 2,791 | 84,318 | 531 | 12,044 | 13,072 | 7,356 | 125,684 |

## ９　文化財一覧

（１）国指定文化財

| 名称 | 所在地 | 指定面積 | 指定年月日 | 説明 |
|---|---|---|---|---|
| 天然記念物<br>名寄鈴石 | 緑丘109-4 | ４０ａ | 昭和14年<br>９月７日 | 核となる粘土などに鉄分が殻のように巻き付いてできた褐鉄鉱の一種。拳ほどの大きさで、振ると音がするので「鈴石」と呼ばれる。 |
| 天然記念物<br>名寄高師小僧 | 瑞穂 | ２３ａ | 昭和14年<br>９月７日 | 湿地に生育する植物の根などに鉄分が巻き付いてできた沼鉄鉱の一種。管状の形が多い。愛知県豊橋市高師ヶ原に多産。 |
| 名勝<br>九度山<br>（ｸﾄｳﾝﾇﾌﾟﾘ） | 日進・<br>智恵文 | ５２２ａ | 平成21年<br>７月23日 | アイヌの人たちに祈りの山として伝承され、現在も市民に親しまれるアイヌ文化の景勝地。 |

（２）市指定文化財

| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
|---|---|---|---|---|
| 第１号 | 風連獅子舞 | 無形文化財 | 瑞生下多寄神社 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 下多寄地区は明治36年頃より富山県からの移住者が多い。その関係で富山県東砺波郡井波町から獅子舞一式を持ち帰り、明治41年8月に神社創建新築落成を記念して奉納された。現在も「風連獅子舞保存会」により郷土芸能として受け継がれている。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第２号 | グイマツ | 天然記念物 | 東風連３３９５番地 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 大正２年頃、東風連の神野熊十郎が敷地内に植樹していたもので、大正９年水田への転換を記念して十数本を東風連小学校に寄贈した。うち１本が昭和８年の校舎改築記念樹として北玄関前に移植され大きく生育している。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第３号 | 名寄教会会堂 | 有形文化財 | 大通南２丁目 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 明治42年に建てられた現存する市内最古の洋風建築物である。会堂の建築は、小北木工場を経営していた小北・西田家をはじめとするキリスト教信徒の寄付が支えとなった。建物正面の直線的な切妻破風と上部が丸い縦長窓が、洋風の印象を与えている。内部の長椅子は材を丸ごと利用している。 | | | |
| 指定番号 | 名称 | 種別 | 所在地 | 指定年月日 |
| 第４号 | ミズナラ林 | 記念物 | 名寄公園 | 平成18年3月27日 |
| 説明 | 名寄公園を中心としたミズナラ林は、周辺を含め約10haにわたり1200本あまりが生育する。平均直径は約50cmで、樹齢は100年～150年と推定され、ほぼ純林的な林相をなしている。 | | | |

# 名寄市風連歴史民俗資料館

## １　常設展示内容

＜テーマ＞

北限の農業　～未開の大地と寒冷地農業への挑戦～

天塩とフーレベツの流れのなかで

１　階

○　エントランス・ロビーには樹齢４００年以上のイタヤカエデの巨木（高さ 16m太さ３ｍ重さ６トン）が展示してあります。

○　一階展示室には風連の自然と人・古代の生活・未開の大地と寒冷地農業への挑戦・ふえる人口と町の発展・学校と子どもたち・便利になった毎日・今風連はと７つのテーマがあり、各テーマにあった展示がされております。その他に風連獅子舞などの展示コーナーがあります。

２　階

○　収蔵展示室には昔のくらしを家の内・外観など昔の色々なものを展示しています。

## ２　入館者数

| 区　分 | 開設日 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 一　般 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 年度 | 18 | 32 | 0 人 | 0 人 | 80 人 | 112 人 |
| 26 年度 | 24 | 20 | 0 人 | 0 人 | 119 人 | 139 人 |
| 27 年度 | 29 | 18 | 0 人 | 0 人 | 190 人 | 208 人 |
| 28 年度 | 15 | 24 | 0 人 | 0 人 | 52 人 | 76 人 |
| 29 年度 | 14 | 21 | 0 人 | 0 人 | 67 人 | 88 人 |

## ３　風連歴史民俗資料館概要

（１）所　在　地　　名寄市風連町南町85番地２
（２）開館年月日　　平成２年４月１日
（３）主 要 施 設
延床面積　645.76 ㎡（１階　258.635 ㎡　　２階　387.125 ㎡）

| １　　階 | | ２　　階 | |
|---|---|---|---|
| ｴﾝﾄﾗﾝｽ･ﾛﾋﾞｰ | 59.163 ㎡ | 特別展示室 | 102.750 ㎡ |
| 常設展示室 | 176.750 ㎡ | 収蔵展示室 | 78.006 ㎡ |
| 収　蔵　庫 | 55.980 ㎡ | | |

（４）**資料保有数　12,435 点**

**４　利用案内**　受付は風連図書館　TEL 01655-3-287　又は名寄市北国博物館
開館時間　:午前１０時～午後４時　　休館日：土・日曜日、祝日、12 月 1 日～3 月 31 日
観覧料　　：無　料

# １１　市立名寄図書館

## １　平成30年度運営方針

市民の最も身近な学習活動を支援する教育施設として、利用者ニーズに即応した図書館機能の充実に努め、学習権の保障と資料並びに書誌情報の提供、子どもの読書活動の推進を図る。

## ２　平成30年度事業計画

（１）　図書館奉仕業務

| 事業区分 | 事　　業　　内　　容 |
|---|---|
| 蔵書の充実 | 蔵書の更新整備、資料の収集と迅速な提供、児童図書の充実によるサービスの向上 |
| 移動図書館 | 自動車文庫「やまゆり号」の巡回による市内全域へのサービスの充実<br>・巡回：名寄地区 25・風連地区 3　合計 28 ステーション<br>（名寄地区 25 の内 11 ステーションは月 2 回、4 月から 12 月運行）<br>・配本：名寄地区 4・風連地区 3　合計 7 ケ所(遠隔地の保育所他)<br>・遠隔地の小中学校巡回時に、「読み聞かせ」を実施：各学校年 1 回<br>（名寄本よみ聞かせ会、風連読み聞かせの会の協力） |
| 障がい者支援 | ・録音図書：ボランティア団体「名寄声の図書会」との連携<br>・録音データ「サピエ」による提供 |
| 情報の収集・提供 | レファレンスサービス・相互貸借の充実<br>・北海道立図書館や市町村立図書館と連携し、図書資料の相互貸借により、利用者へ広範な資料の提供をめざす。<br>・インターネットや国立国会図書館、北海道立図書館のネットワークを活用する。<br>・図書館ホームページや市広報、ＦＭ放送等へ利用情報を提供する。<br>発信情報内容：利用案内・蔵書検索・新着図書・雑誌案内・行事案内等 |

（２）　読書普及活動

① 子どもの読書普及

図書館ボランティア、幼児施設や学校等との連携推進を図り、子ども読書の推進を実施する。

・「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」にちなんだ行事の開催

・名寄本館での行事開催

幼児や児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしｸﾗﾌﾞ、ﾍﾟﾝｷﾞﾝｸﾗﾌﾞ）

夏休み、冬休みの行事や司書体験、図書館まつり等の開催

・風連分館での行事開催

幼児、児童、保護者を対象とした行事の定期開催（おはなしﾎﾟｹｯﾄ、おはなしﾀｲﾑ）

季節毎のおはなし会、司書体験等の開催

・読み聞かせ研修会の開催

・学校専用図書の貸出

・読書感想文コンクールの実施

・名寄市内学校図書室、市立名寄図書館担当者会議の開催

・子ども読書活動推進計画に基づく普及促進（第３次計画の実施）

② 一般向け読書の普及

図書館ボランティア等との連携を図り、市民から好評を得ている行事の開催や、図書館利用の促進及び読書普及のため、事業を企画実施する。

・ミニ展示（季節や話題をテーマとした本の展示）　随時開催

・文学講座「猫の歴史と文学」をテーマに８～９月に開催予定

・雑誌リサイクル　11月３日（文化の日）

（３）　風連分館の移転

現在の風連児童会館内から、風連中央小学校内へ移転いたします。これに伴い、学校図書室に対する支援の充実を図ります。開館は平成31年1月を予定しています。

## ３　分類別蔵書冊数

（平成30年 3月31日現在）

| 区　分 | 総　記 | 哲　学 | 歴　史 | 社会学 | 自然科学 | 技　術 | 産　業 | 芸　術 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名寄本館 | 4,151 | 3,032 | 7,502 | 15,718 | 6,023 | 7,434 | 3,207 | 8,292 |
| 風連分館 | 614 | 533 | 1,307 | 2,376 | 791 | 1,487 | 539 | 1,295 |
| 合　計 | 4,765 | 3,565 | 8,809 | 18,094 | 6,814 | 8,921 | 3,746 | 9,587 |

| 区　分 | 言　語 | 文　学 | 参　考 | 大活字 | 児　童 | 紙芝居 | 大型絵本 | 合　計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 名寄本館 | 1,188 | 38,103 | 5,479 | 503 | 35,780 | 985 | 95 | 137,492 |
| 風連分館 | 121 | 11,671 | 910 | 109 | 10,245 | 811 | 33 | 32,842 |
| 合　計 | 1,309 | 49,774 | 6,389 | 612 | 46,025 | 1,796 | 128 | 170,334 |

## ４　市立名寄図書館施設概要

（１）所　在　地　　名寄市大通南２丁目（TEL 2-4751　FAX 2-4897）
（２）開設年月日　　昭和45年８月１日
（３）各 室 案 内
　　延床面積　　１，６８３㎡（1階:591㎡　2階:648㎡　3階:379㎡　４階:65㎡）

| １　階 | ２　階 | ３　階 | ４　階 |
|---|---|---|---|
| 閲　覧　室 | 会　議　室 | 読　書　室 | 資料収納庫 |
| 新　聞　庫 | 北海道・名寄ｺｰﾅｰ | 休　憩　室 | |
| 児　童　室 | 保存用閉架書庫 | 国際親善ﾒﾓﾘｱﾙﾎｰﾙ | |

※　風連分館の施設概要は「名寄市児童センター　施設概要　【風連児童会館】」に掲載

## ５　利用案内

（１）本　　館　　①開　館　日　　火曜日・金曜日　　9 時 30 分～17 時 00 分
　　水曜日・木曜日　　9 時 30 分～20 時 00 分
　　土曜日・日曜日　　9 時 30 分～16 時 00 分
　　②特別開館日　　１１月３日（文化の日）
　　③休　館　日　　月曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

（２）風連分館　　①開　館　日　　月曜日～金曜日　　9 時 30 分～17 時 00 分
　　土曜日　　9 時 30 分～16 時 00 分
　　②特別開館日　　１１月３日（文化の日）
　　③休　館　日　　日曜日・毎月月末日・祝日・年末年始・特別整理日

# １２　なよろ市立天文台

１　平成 30 年度運営方針

地域の天文同好者・天体観測関係機関との連携を深め、天体観測並びに研究活動を通じ、市民への天文知識の普及と青少年に対する理科学教育の振興を図る。

２　平成 30 年度事業計画

（１）　天文普及事業

・通常の直接観望（なよろ市立天文台）
・特別観望会（12回開催予定、その他新天体が出現時等に随時実施）
・天文教室（天文講座の開催、その他小中学校・一般団体の開催依頼は別途受付）
・移動式天文台車ポラリスⅡ号による出前観望会の実施
・インターネット「なよろ市立天文台ホームページ」による情報提供(http://nayoro-star.jp)
・twitter（@kitasubaru）及びメルマガによる情報提供
・市内ボランティアによるインターネットTV「きたすばるどっとこむ」放送
・光害防止のための啓発事業（9 月 4 日開催予定）

（２）プラネタリウム

・毎晩の星空解説
・プログラム番組の投影
・授業内容に合わせた学習・団体投影（学校・幼稚園・各団体）
・熟睡プラネタリウムなどの企画投影

（３）調査・研究

・観測情報の収集（天体撮影・ビデオ収録）
・研究観測（太陽黒点・超新星の捜索・小惑星による恒星食等）
・北海道大学大学院と連携した研究・観測
　名寄市と北海道大学大学院理学研究科は、平成 17 年度に相互協力協定を締結
　平成 23 年に 160 ㎝光学赤外望遠鏡（北大設置）一般公開

（４）その他企画

・きたすばる星と音楽の集い　・小学生による小惑星発見プロジェクト
・星と音楽の融合をテーマにした音楽イベントの開催
・石垣島天文台とのスタンプラリー　・わくわく惑星ラリー

３　なよろ市立天文台施設概要

（１）　所在地　名寄市字日進 157 番地 1（℡　2-3956　FAX 2-0267）
　　e-mail kitasubaru@nayoro-star.jp　URL http://www.nayoro-star.jp

（２）　開設年月日　平成 22 年 4 月 17 日

（３）　主要施設　建物延床面積　1036.75 ㎡　建築面積　775.66 ㎡
　　施設内容　プラネタリウム、屋上観測室、観測室、レクチャールーム、

企画展示コーナー、事務室、応接会議室、更衣休憩室

機器　160 ㎝光学赤外望遠鏡（愛称ピリカ：北大設置）

50 ㎝カセグレン望遠鏡（愛称：きたてらす）

40 ㎝カセグレン望遠鏡 2 台

（愛称:美ら(ちゅら)　美麗(めいりぃ)）

40cm カセグレン望遠鏡搭載移動式天文台車

4　利用案内

（1）　開館時間：火曜日～日曜日、祝日　13 時～21 時 30 分（4 月～10 月）

13 時～20 時 00 分（11 月～3 月）

（2）　休館日：月曜日・祝日直後の休館日でない日

（3）　観覧料：高校生以下、障がい者とその介助者は無料

大人 410 円　大学生 300 円　65 歳以上 200 円

団体料金(10名以上)　大人　300円　大学生　200円

年間パスポート　大人 1,230円　大学生 1,020円　65歳以上 610円

（4）　施設利用料：

レクチャールーム　Aタイプ（約100人収容）　1時間　411円

Bタイプ（約 50人収容）　1時間　206円

プラネタリウム占有利用　（常設席 50席）　30分　206円

5　協定

（1）北海道大学　大学院理学研究院

（2）国立天文台　石垣島天文台

（3）台湾　台北市天文科学教育館

6　利用実績推移

（人）

| | 区分 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|---|---|---|---|---|
| 有料 | 一般 | 3,066 | 3,194 | 2,772 |
| | 大学生 | 159 | 131 | 110 |
| | 団体 | 451 | 401 | 422 |
| | パスポート | 117 | 88 | 112 |
| 無料 | 70 歳以上 | 619 | 402 | 454 |
| | 障害者 | 161 | 195 | 273 |
| | 高校生以下 | 2,836 | 4,076 | 4,124 |
| | パスポート | 468 | 455 | 555 |
| | その他 | 4,720 | 3,375 | 3,456 |
| 観覧者合計（A） | | 12,597 | 12,317 | 12,278 |
| 施設外利用（B） | | 2,659 | 3,356 | 3,000 |
| 利用者合計（A+B） | | 15,256 | 15,673 | 15,278 |

# 1　審議会・委員会

◎会長、委員長　　○副会長、副委員長

（平成30年7月末現在）

教育支援委員会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 室野晃一 | （医師） | 本郷香織 | （〃） |
| 佐々木美奈 | （学識経験者） | 西沢江里 | （〃） |
| 糸田尚史 | （〃） | 上原和希子 | （〃） |
| ○安永啓司 | （〃） | 小針祐紀子 | （〃） |
| 奥村香澄 | （〃） | 阿部陽平 | （〃） |
| 野村智明 | （関係教育機関） | 田中恵美子 | （〃） |
| 伊端俊紀 | （〃） | 旭　裕輝 | （〃） |
| 井川　健 | （〃） | 丁門正憲 | （〃） |
| ◎野宮　勉 | （〃） | 簗瀬　豊 | （〃） |
| 菅藤正伸 | （〃） | 安野健治 | （〃） |
| 三上信之 | （〃） | 加藤紀子 | （〃） |
| 中島雅人 | （〃） | 山崎洋子 | （〃） |
| 河口一葉 | （〃） | 谷口恭子 | （福祉関係） |
| 鍵谷三代江 | （〃） | 高橋良子 | （〃） |
| 前川恵利也 | （〃） | 土井典子 | （行政機関） |
| 塚本英恵 | （〃） | 齋藤七江 | （〃） |
| 町田みどり | （関係教育機関） | | |

学校給食センター運営委員会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎黒川　清 | （学識経験者） | 妹尾洋美 | （学校長） |
| ○鷲見悦朗 | （ＰＴＡ） | 野宮　勉 | （〃） |
| 村中弘美 | （学識経験者） | 菅藤正伸 | （〃） |
| 市川晶子 | （〃） | 西條知加子 | （ＰＴＡ） |
| 西川剛弘 | （〃） | 三浦雅美 | （〃） |
| 髙橋美和子 | （〃） | 佐藤留奈 | （〃） |
| 伊端俊紀 | （学校長） | 藤垣さおり | （〃） |
| 井川　健 | （〃） | | |

社会教育委員の会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎大坂祐二 | （学識経験者） | 早川正一 | （学識経験者） |
| ○若槻五郎 | （社会教育） | 中村洋子 | （〃） |
| 赤澤静恵 | （学校教育） | 秋山優香 | （〃） |
| 山本周男 | （〃） | 松本　昇 | （〃） |
| 野村智明 | （〃） | 武井麻里 | （〃） |
| 山崎巧繕 | （社会教育） | 新井田絹代 | （〃） |
| 高木慎一郎 | （〃） | 宮崎敬市 | （〃） |
| 神田勇一郎 | （〃） | 上口里美 | （〃） |
| 吉田征子 | （家庭教育） | 泊り雅幸 | （〃） |

生涯学習推進アドバイザー

| | | |
|---|---|---|
| 中枝博美 | 又村靖子 | 蓑輪千恵 |

名寄市教育振興審議委員会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 藤平民世 | （文化団体） | 竹内利行 | （学識経験者） |
| 佐藤時男 | （〃） | 笠井　信 | （〃） |
| 水島寿昌 | （スポーツ団体） | 湯川孝一 | （〃） |
| 菊地弘美 | （〃） | | |

名寄市公民館運営審議会及び市民文化センター運営委員会（任期　～32.3.31）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ◎ | 三浦礼子 | （学校教育） | 山田未来 | （社会教育） |
| ○ | 吉原敦子 | （学識経験者） | 室　資祁子 | （〃） |
| | 杉田良二 | （学校教育） | 堀口貴恵子 | （〃） |
| | 野宮　勉 | （〃） | 有田昭宗 | （学識経験者） |
| | 竹澤清子 | （社会教育） | 中川陽介 | （〃） |

名寄市風連公民館運営審議会及びふうれん地域交流センター運営委員会（任期　～32.3.31）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 予◎ | 山下則之 | （学識経験者） | 川原真樹 | （学識経験者） |
| 定○ | 赤澤静恵 | （学校教育） | 又村　亨 | （〃） |
| | 井川　健 | （〃） | 上畑　稔 | （〃） |
| | 松樹恒史 | （学識経験者） | 松本　勲 | （〃） |

名寄市児童館運営委員（任期　～32.3.31）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | 高見　勉 | （学識経験者） | 赤澤静恵 | （教育関係者） |
| ○ | 三浦礼子 | （教育関係者） | 斎藤七江 | （利用保護者） |
| | 中島美夕希 | （利用保護者） | 神田勇一郎 | （学識経験者） |
| | 野村智明 | （教育関係者） | 上山千生 | （利用保護者） |
| | 大沼房子 | （利用保護者） | 井上千鶴 | （利用団体） |

名寄市児童クラブ運営委員（任期　～32.3.31）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | 高見　勉 | （学識経験者） | 赤澤静恵 | （教育関係者） |
| ○ | 三浦礼子 | （教育関係者） | 斎藤七江 | （利用保護者） |
| | 中島美夕希 | （利用保護者） | 神田勇一郎 | （学識経験者） |
| | 野村智明 | （教育関係者） | 上山千生 | （利用保護者） |
| | 大沼房子 | （利用保護者） | 井上千鶴 | （利用団体） |

名寄市青少年問題協議会委員（任期　～32.3.31）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | 楢山秀明 | （学識経験者） | 菅藤正伸 | （教育関係者） |
| ○ | 濱谷則之 | （〃） | 橋　早智子 | （〃） |
| ○ | 川原夏子 | （〃） | 江口貴彦 | （〃） |
| | 神田勇一郎 | （〃） | 三木　公 | （〃） |
| | 吉田直澄 | （〃） | 遠藤康浩 | （〃） |
| | 宗万広美 | （〃） | 三国和子 | （〃） |
| | 西村陽子 | （〃） | 山口朗生 | （関係行政機関） |

名寄市博物館協議会（任期　～32.3.31）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | 山中政信 | （学識経験者） | 中島真美 | （学識経験者） |
| ○ | 佐藤源嗣 | （〃） | 西尾眞智子 | （〃） |
| | 野宮　勉 | （学校教育） | | |
| | 谷井八重子 | （学識経験者） | | |

名寄市文化財審議会（任期　～32.3.31）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | 山中政信 | （学識経験者） | 中島真美 | （学識経験者） |
| ○ | 佐藤源嗣 | （〃） | 西尾眞智子 | （〃） |
| | 野宮　勉 | （学校教育） | | |
| | 谷井八重子 | （学識経験者） | | |

名寄市図書館協議会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 堀川　真 | （学識経験者） | 尾矢直紀 | （学識経験者） |
| ○ 田村悦子 | （〃） | 飯村郁子 | （〃） |
| 橋　早智子 | （学校教育） | 中川貞恵 | （幼稚園代表） |
| 工藤久美子 | （学識経験者） | | |

名寄市スポーツ推進委員（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 川村茂樹 | （学識経験者） | 山陰龍正 | （学識経験者） |
| ○ 井元和正 | （〃） | 真鍋　隆 | （〃） |
| 安達啓治 | （〃） | 山本あゆみ | （〃） |
| 髙橋浩一 | （〃） | 佐竹初枝 | （〃） |
| 杉本周子 | （〃） | 谷井良輔 | （〃） |
| 百武　学 | （〃） | | |
| 山田由紀 | （〃） | | |
| 渋谷明子 | （〃） | | |

名寄市スポーツ推進審議会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 熊谷　守 | （学識経験者） | 三木常男 | （学識経験者） |
| ○ 関　朋昭 | （〃） | 和久朋行 | （〃） |
| 遠藤光博 | （〃） | 高橋克徳 | （〃） |
| 明石　裕 | （〃） | 阿部雅俊 | （〃） |
| 安澤　豊 | （〃） | 藤井泰子 | （〃） |
| 石原祥子 | （〃） | 妹尾洋美 | （〃） |
| 藤井晶美 | （〃） | | |

なよろ市立天文台運営委員会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 播本雅津子 | （学識経験者） | 梅野圭介 | （社会教育） |
| ○ 大谷秀二 | （〃） | 堀江　充 | （学校教育） |
| 小山　均 | （社会教育） | 高谷恵美子 | （学識経験者） |

文化芸術審議会（任期　～32.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 大坂祐二 | （学識経験者） | 山崎巧繕 | （学識経験者） |
| ○ 若槻五郎 | （文化芸術関係団体推薦） | 武井麻里 | （〃） |
| 新井田絹代 | （学識経験者） | 森川和子 | （文化芸術関係団体推薦） |
| 中村洋子 | （〃） | 佐藤　勝 | （〃） |
| 早川正一 | （〃） | 宮崎敬市 | （〃） |

名寄市民文化センター事業企画委員会（任期　～31.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 今井利憲 | （学識経験者） | 千々石奈緒美 | （学識経験者） |
| 扇谷茂幸 | （〃） | 富田耕一郎 | （〃） |
| 小笠原志朗 | （〃） | 中島純一 | （〃） |
| 北村久仁子 | （〃） | 長谷川まゆみ | （〃） |
| 佐古和廣 | （〃） | 藤原雄司 | （〃） |

名寄市智恵文公民館運営審議会（任期　～31.3.31）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ◎ 大石勝美 | （社会教育） | 遠藤　円 | （家庭教育） |
| ○ 橋　早智子 | （学校教育） | 新井邦一 | （学識経験者） |
| 南原孝子 | （社会教育） | 及川　綾 | （家庭教育） |

# ２　旧名寄市教育の沿革

| 年　代 | 西 暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 寛政10. 7. ＊ | 1798 | 幕府の属僚３名天塩川を遡り見聞す |
| 明治 5.10. 8 | 1872 | 上川地方（名寄）の実情調査さる。宗谷支庁佐藤正克技師 |
| 30. 6. 1 | 1897 | 上名寄村（現名寄市）の称号を得る。 |
| 35. 9. 1 | 1902 | ３村戸長役場庁舎新築落成開庁（大通１丁目） |
| 9.15 | | 上名寄簡易教育所開設（M37 上名寄尋常小学校、M39 名寄尋常高等小学校、S16 名寄国民学校、S22 **名寄小学校**と改称）教育の嚆矢である |
| 36. 4. 8 | 1903 | チエブン簡易教育所開設（M37 智恵文簡易教育所、M41 智恵文尋常小学校、T7 智恵文尋常高等小学校、S16 智恵文国民学校、S22 **智恵文小学校**と改称） |
| 37. 7. ＊ | 1904 | 曙簡易教育所開設（M41 曙尋常小学校、S16 曙国民学校、S22 **曙小学校**と改称） |
| 38. 7. 1 | 1905 | 上名寄五線簡易教育所開設（M41 上名寄五線教育所、M43 上名寄五線尋常小学校、T9 中名寄尋常小学校、S16 日彰国民学校、S22 日彰小学校、S24 **中名寄小学校**と改称） |
| 39. 4. ＊ | 1906 | 有利里簡易教育所開設（M41 有利里教育所、T6 有利里尋常小学校、S16 瑞穂国民学校、S22 **瑞穂小学校**と改称） |
| 6.20 | | 十八線簡易教育所開設（M41 十八線教育所、T6 十八線尋常小学校、S16 共和国民学校、S22 **共和小学校**と改称） |
| 42. 1.17 | 1909 | 曙尋常小学校所属ハッチャシナイ特別教授場開設（M43 初茶志内教育所、T6 初茶志内尋常小学校、S16 弥生国民学校、S22 **弥生小学校**と改称） |
| 5.28 | | 智南教育所開設（T6 智南尋常小学校、S16 智南国民学校、S22 **智南小学校**と改称） |
| 43.12.12 | 1910 | 智東教育所開設（T6 智東尋常小学校、S16 智東国民学校、S22 **智東小学校**と改称） |
| 大正 5. 4. 1 | 1916 | 智恵文尋常小学校所属智北特別教授場開設（T7 智恵文尋常高等小学校智北特別教授場、T13 智北尋常小学校、S16 智北国民学校、S22 **智北小学校**と改称） |
| 6. 1 | | 名寄尋常高等小学校日進分教場開設（S16 名寄国民学校日進分教場、S22 名寄小学校日進分校、S32 **日進小学校**と改称） |
| 7. 4. 1 | 1918 | 名寄尋常高等小学校内渕特別教授場開設（T11 名寄尋常高等小学校内淵分教場、S16 名寄国民学校内淵分教場、S22 **名寄小学校内淵分校**と改称） |
| 4. 1 | | 智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場開設 |
| 8. 7.15 | 1919 | 智恵文尋常高等小学校所属智西特別教授場開設（T13 智西尋常小学校、S16 智西国民学校、S22 **智西小学校**と改称） |
| 9. 6.28 | 1920 | 名寄女子職業学校開校 |
| 11. 4. 1 | 1922 | 北海道庁立名寄中学校開校（S22 北海道立名寄中学校、S23 北海道立名寄高等学校、S25 **北海道名寄高等学校**と改称） |
| 7. ＊ | | 名寄教会幼稚園開設（現 名寄幼稚園） |
| 13. ＊. ＊ | 1924 | 智東尋常小学校所属上智恵文特別教授場廃止、本校に統合 |
| 9. 4 | | 名寄南尋常小学校開校（S16 名寄国民学校、S22 **名寄南小学校**と改称） |
| 10.16 | | 智南尋常小学校校舎全焼 |
| 14.11. 1 | 1925 | 智恵文女子実業補習学校開校（S3 智恵文実科女学校、S10 **智恵文青年学校女子部**と改称） |
| 11. 7 | | 名寄町処女会発足 |
| 15. 4. 1 | 1926 | 青年訓練所令により各学校に青年訓練所併置 |
| 7. 1 | | 智恵文尋常高等小学校所属北山特別教授場開設（S4 北山尋常小学校、S16 北山国民学校、S22 **北山小学校**と改称） |
| 昭和 2. 4.26 | 1927 | 名寄町立名寄高等女学校開校（S5 北海道庁立名寄高等女学校、S22 北海道立名寄高等女学校、S23 北海道立名寄女子高等学校、S25 **北海道名寄高等学校**と改 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 昭和 3. *. * | 1928 | 名寄女子連合青年団発足 |
| 5. 6. * | 1930 | 智恵文女子青年団発足 |
| 6.11. * | 1931 | 曙尋常小学校新築移転 |
| 8. *. * | 1933 | 東山シャンツェ完成 |
| 10. 4. 1 | 1935 | 青年学校令により各学校に青年学校併置（実業補習学校、青年訓練所を併合） |
| 12.10.16 | 1937 | 北海道庁立名寄中学校全焼 |
| 14. 9. 7 | 1939 | 名寄鈴石、名寄高師小僧、国の天然記念物に指定 |
| 15.11.19 | 1940 | 曙尋常小学校全焼 |
| 16. 1.20 | 1941 | 名寄町青年団発足（男女青年団解散） |
| 4.20 | | 名寄町青少年団発足 |
| 4.21 | | 北海道庁立名寄農業学校開校（S23 北海道立名寄農業高等学校、S24 **北海道名寄農業高等学校**と改称） |
| 6.15 | | 智恵文青少年団発足 |
| 20.10. 1 | 1945 | 田辺服装塾、名寄衣料裁断研究会（後の名寄服飾専門学校）開校 |
| 21. 6.12 | 1946 | 名寄洋裁学校開校 |
| 22. 3. * | 1947 | 名寄文化協会設立 |
| 4. 1 | | 名寄女子職業学校募集停止 |
| 5.20 | | 名寄中学校開校{本校(名寄小学校)、分校:大橋(旧制名寄中学校)、旭東(旧制名寄高等女学校)、日彰(日彰青年会館)、瑞穂(瑞穂小学校)} |
| 6. 1 | | 智恵文中学校開校（分校：旧制智南小学校） |
| 23. 1.10 | 1948 | 名寄町公民館設置（26年6月27日開館） |
| 3.31 | | 名寄中学校大橋分校、旭東分校廃止 |
| 4. 1 | | 名寄中学校北分校設置 |
| 4. 1 | | 名寄文化服装女学校開校 |
| 10. 1 | | 名寄農業高等学校定時制課程（普通科・農業科）設置 |
| 10. 5 | | 飯塚洋裁学院（後の飯塚ドレスメーカー女学院）開校 |
| 24. *. * | 1949 | 加藤学園（後の名寄服飾専門学校）開校 |
| 4. * | | 田辺服装塾閉鎖 |
| 5.13 | | 体育指導委員会発足 |
| 8.15 | | 名寄町公民館図書室開設 |
| 25. 1.15 | 1950 | 名寄地方体育クラブ発足 |
| 4. * | | 名寄女子高等学校、名寄高等学校に統合 |
| 7. 3 | | 名寄南小学校に養護教室設置 |
| 7.13 | | 名寄小学校が道教委の学校給食モデル校として指定 |
| 9.13 | | 名寄カトリック愛児園（後の名寄カトリック幼稚園）開園 |
| 10. 1 | | 北海道洋裁専門女学校名寄分校（後の北海道文化服飾名寄専門学校）開校 |
| 26. 1. 1 | 1951 | 中名寄中学校として独立（名寄中学校日彰分校） |
| 1.25 | | 名寄小学校御園分校設置 |
| 4. 1 | | 北海道名寄農業高等学校智恵文分校設置（S27 北海道智恵文高等学校、S33 **北海道名寄北高等学校**と改称） |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校に酪農科増設 |
| 4. 1 | | 名寄中学校旭東分校復活 |
| 4. 1 | | 名寄中学校北分校廃止 |
| 7.24 | | 名寄農業高等学校定時制農業科、季節制に改組 |
| 27. 2.22 | 1952 | 曙小学校校舎全焼 |
| 4. * | | 智恵文公民館開設 |
| 4. 1 | | 智南中学校として独立（智恵文中学校智南分校） |
| 4.14 | | 名寄文化服装学校開校 |
| 8.20 | | 名寄東中学校として分離（名寄中学校） |
| 10. 1 | | 名寄小学校東分校設置 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 昭和28. 4. 1 | 1953 | 名寄町立家政高等学校開校（S35 名寄女子短期大学附属高等学校、S53 **名寄恵陵高等学校**と改称） |
| 4. 1 | | 瑞穂中学校として独立（名寄中学校瑞穂分校） |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校定時制課程普通科、名寄高等学校に移設 |
| 28. *. * | 1953 | 名寄文化服装女学校廃校 |
| 8. 1 | | 名寄町民学校開校 |
| 9.18 | | 名寄体育協会結成 |
| 11. 1 | | 道立図書館分館開館 |
| 29. *. * | 1954 | 名寄町体育館建設 |
| 6. 1 | | 移動図書館あけぼの号巡回開始 |
| 8. 1 | | 智恵文村と合併、新名寄町発足 |
| 12. 1 | | 名寄小学校内渕分校廃止、スクールバス通学開始 |
| 30. *. * | 1955 | 名寄南小学校グランドにスケートリンク開設 |
| 4. 1 | | 名寄高等学校に商業科設置 |
| 4. * | | 名寄小学校、視聴覚教室の研究指定校に指定 |
| 8. 1 | | 名寄町営球場完成 |
| 31. 4. 1 | 1956 | 名寄市市制施行　（全道21番目） |
| 32. 4. 1 | 1957 | 日進小学校開校（名寄小学校日進分校と東分校が統合） |
| 7.24 | | 智北小学校改築落成 |
| 11. 1 | | 名寄市学校教育指導委員会発足（委員15名） |
| 33. 1.19 | 1958 | 名寄市文化団体連絡協議会設立（後の名寄市文化協会） |
| 4. 1 | 1958 | 名寄市視聴覚教育センター発足 |
| 4. 1 | | 名寄東小学校開校（名寄小学校御園分校を**名寄東小学校御園分校**と改称） |
| 4.10 | | 光名幼稚園開園 |
| 5.30 | | 名寄家政高等学校寄宿舎落成 |
| 7.15 | | 名寄北高等学校校舎新築 |
| 8.31 | | 第１回市民レクリェーション大会開催 |
| 11. * | | 第１回市民文化祭開催 |
| 34. 4. 1 | 1959 | 名寄西小学校開校 |
| 4. 1 | | 名寄小学校に知的障害児学級設置 |
| 4. 6 | | 大谷幼稚園開園 |
| 35. 4. 1 | 1960 | 名寄女子短期大学開学（H2 **市立名寄短期大学**と改称。） |
| 36. 4. 1 | 1961 | 市立名寄図書館設置 |
| 5.15 | | 名寄市体育協会設立 |
| 37. *. * | 1962 | 緑丘シャンツェ開設 |
| | | 名寄文化服装学校廃校 |
| 4. * | | 名寄小学校、名寄南小学校完全給食開始 |
| 6. 1 | | 名寄市民会館新築落成 |
| 10. 1 | | 青少年補導センター設置 |
| 38. 4. 1 | 1963 | 名寄高等学校に工業課程設置（電気科、機械各科１間口） |
| 5. 5 | | 第１回ピヤシリ子ども会大会・少年の日制定 |
| 10. 1 | | 名寄西小学校肢体不自由児学級、マザーズホーム併設 |
| 10. 1 | | 瑞穂中学校、名寄東中学校に統合 |
| 10. 1 | | 名寄市青少年武道場開設 |
| | | 菊山スキー場、市営となる |
| 39. 9.22 | 1964 | 名寄市教育研究所設立 |
| 11.11 | | 名寄市勤労青少年ホーム開所 |
| 40. *. * | 1965 | 飯塚ドレスメーカー女学院廃校 |
| 10. 7 | 1965 | 名寄女子短期大学図書館落成 |
| 10.20 | | 名寄小学校校舎改築落成（市内で初めてのコンクリート造り） |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 昭和41. 4. 1 | 1966 | 名寄農業高等学校に生活科設置 |
| 4. 1 | | 名寄高等学校商業課程廃止 |
| 4. 1 | | 社会科副読本「なよろ」発行 |
| 4.25 | | 学校給食センター市内全小中学校に給食開始 |
| 42. 4. 1 | 1967 | 名寄高等学校に工業過程建築科増設 |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校林業科募集停止 |
| 7. 1 | | 新名寄市営球場竣工ならびに球場開き |
| 7.15 | | 名寄市営プール開設（現西プール） |
| 12.15 | | 青少年会館落成（43.1.5 開館） |
| 43. 3.27 | 1968 | 名寄東小学校御園分校廃止 |
| 4. 1 | | 智南中学校、名寄東中学校に統合 |
| 44. 3.31 | 1969 | 名寄北高等学校廃校 |
| 45. 4. 1 | 1970 | 名寄南小学校、共和小学校、曙小学校３校統合（新名寄南小学校開校） |
| 4. 1 | | 名寄南小学校共和分教室、曙分教室設置 |
| 7.31 | | 名寄市プラネタリウム館完成 |
| 8. 1 | | 市立名寄図書館落成開館 |
| 8. 1 | | 市内辺地小中学校対象の巡回児童文庫開始 |
| 12.30 | | ピヤシリシャンツェ完成（70M級） |
| 46. 3.28 | 1971 | 第１回ピヤシリジャンプ大会（笠谷優勝　80M） |
| 4. 1 | | 中名寄中学校、名寄中学校に統合 |
| 9. ＊ | | やまゆり号による市内巡回文庫開始 |
| 47. 1.20 | 1972 | 名寄南小学校統合新校舎 |
| 4. 1 | | 智東小学校、名寄南小学校に統合 |
| 4. 1 | | 名寄南小学校共和分教室、曙分教室廃止 |
| 9. 6 | | 第21回全国僻地教育研究大会第６分科会開催(於日進小学校6～8日) |
| 48. 1.20 | 1973 | 名寄市働く婦人の家開設 |
| 4. 1 | | 視聴覚ライブラリー発足(名寄市視聴覚教育センターを吸収) |
| 8.14 | | 名寄市営南プール開設（ビニール屋根付25m） |
| 12.23 | | 国設ピヤシリスキー場開設 |
| 12. ＊ | | 私設木原天文台開設 |
| 49. 1.28 | 1974 | 名寄西小学校（現豊西小学校）に言語治療教室開設 |
| 4. 1 | | 豊西小学校開校 |
| 50. 2. 9 | 1975 | 第24回全国高等学校スキー選手権大会開催 |
| 4. 1 | | 名寄スポーツセンター落成、開館 |
| 4. 1 | | 名寄工業高等学校開校（名寄高等学校工業過程が分離） |
| 51. 4. ＊ | 1976 | 豊西小学校言語治療教室に難聴教室併設 |
| 6.18 | | 全日本軟式卓球選手権大会（18～20日） |
| 6.30 | | 智恵文簡易プール開設 |
| 52. 4. 1 | 1977 | 智西小学校、北山小学校、智恵文小学校に統合 |
| 5. 2 | | キマロキ編成名寄公園に展示 |
| 53. 4. 1 | 1978 | 弥生小学校、名寄南小学校に統合。瑞穂小学校、名寄西小学校に統合 |
| 12.15 | | 名寄中学校校舎移転改築完成（52・53年度2ヵ年事業） |
| 12.16 | | 名寄スポーツセンター第２体育館開館 |
| 54. 1.21 | 1979 | スキーを市技に指定 |
| 2.17 | | 第34回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催（17日～20日ピヤシリスキー場） |
| 4. 1 | | 名寄南小学校に情緒障害学級設置 |
| 4. 1 | | 智南小学校、名寄西小学校に統合 |
| 7.16 | | 天塩川右岸、左岸、埋蔵文化財発掘調査 |
| 10. 1 | | 第１回スポーツフェスティバル（スポーツセンター） |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 昭和54. 12. 26 | 1979 | 市立名寄図書館郷土資料室展示分室開設（旧消防署） |
| 55. ＊. ＊ | 1980 | 名寄市社会教育推進協議会発足 |
| 2. 16 | | スキー市技指定、国体開催記念第1回名寄市雪の祭典(16～17日) |
| 4. 1 | | 名寄恵陵高等学校家政科2間口を普通科に転換 |
| 5. 13 | | 「名寄ピヤシリ大学」開設 |
| 5. 22 | | 「友朋学級」開設 |
| 8. 1 | | 「フーコーの振子」開設 |
| 8. 17 | | 土俵場完成（スポーツセンター南庭） |
| 56. 4. 1 | 1981 | 名寄女子短期大学家政科を家政専攻課程、栄養専攻課程に分離 |
| 4. 1 | | 豊西小学校言語治療教室、南小学校情緒障害児学級に市幼児ことばの教室併設 |
| 5. 30 | | 名寄岩顕彰像除幕式 |
| 57. 3. 20 | 1982 | 名寄東中学校校舎完成 |
| 3. 21 | | 智北小学校、智恵文小学校に統合 |
| 3. 31 | | 名寄農業高等学校定時制閉課 |
| 4. 1 | | 小学校通学区域の一部変更（西町3区が豊西小に） |
| 4. 1 | | 智恵文地区公民館が智恵文公民館に独立 |
| 4. 1 | | 名寄職業訓練校が高等職業訓練校に昇格 |
| 7. 3 | | 天塩川河川サッカー場オープン |
| 12. 14 | | 名寄工業高校校舎完成 |
| 58. 6. 1 | 1983 | 小中学校生徒指導協議会発足 |
| 6. 27 | | 名寄高等職業訓練校校舎落成記念式典 |
| 7. 31 | | 名寄市民文化センター完成(社会教育課、市民会館から移転) |
| 11. 22 | | 郷土資料室移転（大通北1、旧消防署庁舎） |
| 59. 3. 24 | 1984 | 名寄恵陵高等学校校舎完成、移転 |
| 4. 1 | | 日進小学校、名寄小学校に統合 |
| 4. 1 | | 名寄女子短期大学、児童専攻課程設置 |
| 12. ＊ | | 名寄農業高等学校校舎完成 |
| 60. 7. 1 | 1985 | 名寄スポーツセンターが道体協から名寄市に移管され「名寄市スポーツセンター」となる |
| 7. 1 | | 旧名寄恵陵高等学校体育館を一部改修し「北体育館」として一般に開放 |
| 8. 20 | | 移動図書館車「やまゆり号」購入 |
| 61. 3. 25 | 1986 | 第64回全日本スキー大会（滑降競技大会　25～27日） |
| 5. 31 | | 名寄市シニアリーダーサークル（ＮＡＣ）発会 |
| 7. 10 | | スーポロ碑建立 |
| 12. 12 | | 智恵文中学校改築 |
| 62. 9. 26 | 1987 | 道立近代美術館所蔵秀作展（北海道を画く）（9/26～9/30）（文化センター） |
| 10. 20 | | 理科副読本「郷土の自然なよろ」発行 |
| 12. 5 | | 中名寄小学校改築 |
| 平成元. 2. 19 | 1989 | はまなす国体歩くスキー大会 |
| 6. 25 | | 札響グリーンコンサート |
| 7. 28 | | 体験王国ほっかいどう |
| 9. 4 | | 名寄東小学校起工式 |
| 2. 4. 1 | 1990 | 名寄女子短期大学、市立名寄短期大学に改称 |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校生活科を生活科学科に学科転換 |
| 6. 9 | | 名寄海洋センター（プール）完成 |
| 6. 28 | | 名寄市麻生ゲートボール場完成（3面） |
| 7. 25 | | 第34回全道公民館大会開催 |
| 8. 25 | | 名寄市麻生テニスコート増設完成（オムニ式2面） |
| 11. 18 | | 開基90周年記念 ベートーベン第9交響曲特別演奏会 |
| 11. 25 | | 名寄東小学校校舎落成・開校33年記念協賛会記念式典 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 平成 3. 8. 4 | 1991 | 土俵移設記念土俵開き（入母屋造り、銅板ぶき） |
| 12.24 | | 名寄市学校給食センター改築 |
| 4. 1.19 | 1992 | 名寄市新学校給食センター供給開始 |
| 4. 1 | | 名寄中学校に情緒学級開設 |
| 4.20 | | 児童センター開館 |
| 9.11 | | 名寄市立木原天文台開設（市へ寄贈） |
| 9.12 | | 学校週５日制開始 |
| 11.19 | | スポーツセンター大改修完了 |
| 5. 3.31 | 1993 | スポーツセンター第２体育館増築（302.4 ㎡） |
| 4. 1 | | 小学校社会科副読本「なよろ」全面改定版発行 |
| 6.30 | | 智恵文中学校水泳プール全面改修 |
| 7. 1 | | 図書館日曜開館 |
| 9.30 | | 西小学校校舎改築落成 |
| 12.15 | | 名寄市民文化センター開館10周年記念事業“所蔵絵画展”開催 |
| 6. 4. 1 | 1994 | 名寄短期大学看護学科（入学定員50名）開設 |
| 4. 1 | | 名寄恵陵高校家政科が生活文化科へ学科転換 |
| 8.5～8 | | 山形県藤島町へ少年少女の交流団訪問 |
| 8. 6 | | 大関「名寄岩」生誕80周年記念事業開催 |
| 11.30 | | ピヤシリシャンツェ・ミデイアムヒル造成工事完成 |
| 7. 3.31 | 1995 | 菊山スキー場閉鎖 |
| 4. 1 | | 名寄工業高等学校、機械科募集停止、電子機械科新設 |
| 11.16 | | 名寄市営球場改修工事完成 |
| 8. *. * | 1996 | 北海道文化服装名寄専門学校廃校 |
| 2.10 | | 北国博物館開館 |
| 4. 1 | | 名寄農業高等学校生活科学科募集停止、農業科を農業・生活科に学科転換 |
| 4. 1 | | 教育相談電話「ハートダイヤル」開設 |
| 5.26 | | なよろ健康の森陸上競技場オープン |
| 9. 4. 1 | 1997 | (財)名寄市体育協会に管理委託（海洋センター、南・西・智恵文プール、市営球場、テニスコート、北体育館） |
| 5.13 | | 名寄市学校給食センター衛生管理推進地域指定(文部省より3ケ年) |
| 6.12 | | 第36回全道博物館大会開催 |
| 8.15 | | 博物館大型資料収蔵庫開設 |
| 10.26 | | 名寄中学校開校50周年記念式典 |
| 11.30 | | 智恵文中学校開校50周年記念式典 |
| 10. *. * | 1998 | 名寄服飾専門学校休校 |
| 2. 3 | | 名寄図書館と北海道道立図書館間コンピュータオンライン化 |
| 4. 1 | | (財)名寄市体育協会に管理委託（スポーツセンター、ジャンプ台） |
| 4.11 | | 南児童クラブ開設 |
| 6.11 | | 名寄南小学校に肢体不自由児学級設置 |
| 7. 1 | | 名寄市教育振興協議会発足 |
| 10.20 | | 名寄小学校校舎竣工 |
| 11. 4. 1 | 1999 | 特認校制度スタート |
| 6. 2 | | 図書館水木夜間開館試行開始 |
| 10. 3 | | 名寄西小学校40周年記念式典 |
| 10.12 | | 小学校７校にコンピュータ導入 |
| 12. 3. 1 | 2000 | 恵陵高校生徒募集停止 |
| 3.24 | | 名寄工業高等学校廃止 |
| 4.12 | | 名寄光凌高等学校新設 |
| 5.16 | | なよろ健康の森あかげらパークゴルフ場オープン |
| 8. 1 | | 名寄市開拓 100年記念式典 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 平成12.10. 1 | 2000 | 恵陵高校創立80周年記念式典及び祝賀会 |
| 10.20 | | 中学校３校コンピュータ更新 |
| 10.27 | | 市立名寄短大開学40周年記念構成劇「明日を拓く名寄短大」 |
| 13. 9. 1 | 2001 | 市教委でリーダーバンク設置 |
| 14. 3. 1 | 2002 | 名寄光凌高等学校電気科、建築科閉科 |
| 3.31 | | 名寄恵陵高等学校閉校 |
| 4. 1 | | 完全学校週５日制開始 |
| 6. 8 | | 名寄公園パークゴルフ場オープン |
| 7. 3 | | 北国博物館入場者10万人達成 |
| 7.18 | | 学校評議員制度導入（名寄小・名寄中） |
| 9. 1 | | 名寄東中学校50周年記念式典 |
| 9.22 | | 名寄小学校100周年記念式典 |
| 10. 1 | | ピヤシリシャンツェノーマルヒル改修 |
| 10.19 | | 名寄高等学校80周年記念式典 |
| 15. 2.22 | 2003 | 第58回国民体育大会冬季大会スキー競技会開催 |
| 5.13 | | 学校評議員制度拡大（名寄南小・名寄西小・名寄東中） |
| 16. 3 .8 | 2004 | 図書館蔵書インターネット検索システム稼動 |
| 8. 7 | | 中名寄小学校開校100周年記念式典 |
| 9. 1 | | 市営テニスコート改修（ｵﾑﾆｺｰﾄ2面、ｸﾞﾘｰﾝｻﾝﾄﾞｺｰﾄ4面、夜間照明2基、観覧席） |
| 10.24 | | 名寄南小学校開校80周年記念式典 |
| 11.27 | | 智恵文小学校開校100周年記念式典 |
| 17. 2.10 | 2005 | 豊西小学校開校30周年記念集会 |
| 17.12. 9 | | 北海道大学大学院理学研究院と名寄市との相互協力協定締結 |

# 3　旧風連町教育の沿革

| 年　代 | 西 暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 明治35. 3. ＊ | 1902 | 20線基線の今川良策が、自宅に子どもを集めて教育を始める |
| 9.25 | | 下多寄簡易教育所開設（M38 下多寄尋常小学校、S16 下多寄国民学校、S18 高等科併置、S22 **下多寄小学校**と改称） |
| 36.11. ＊ | 1903 | 部落民の寄付により25線東7号に教場設置 |
| 37. 1.20 | 1904 | フーレベツ簡易教育所開設（同年 風連簡易教育所、M39 **風連尋常小学校**と改称） |
| 41.10.19 | 1908 | 西風連尋常小学校設置（T5 高等科併置、T11 風連尋常高等小学校、S16 風連国民学校、S22 **風連小学校**と改称） |
| 11. 3 | | フーレベツ特別教授所開設（M45 風連尋常小学校、T11 風連旭尋常小学校、S16 風連旭国民学校、S18 高等科併置、S22 **風連旭小学校**と改称） |
| 11.24 | | 風連教育所開設（M43 風連御料尋常小学校、T13 日進尋常小学校、S4 日進尋常高等小学校、S16 日進国民学校、S22 **日進小学校**と改称） |
| 42. 7.30 | 1909 | 西風連尋常小学校校舎新築移転 |
| 10.23 | | 東風連尋常小学校設置（S16 東風連国民学校、S18 高等科併置、S22 **東風連小学校**と改称） |
| 44. 7.12 | 1911 | 下多寄尋常小学校附属西特別教授所開設（T5 西多寄尋常小学校、S16 西多寄国民学校、S17 高等科併置、S22 西多寄小学校、S27 中学校併置に伴い西多寄小中学校、S36 西風連小中学校、S59 中学校閉校に伴い**西風連小学校**と改称） |
| 8.27 | | 東風連尋常小学校校舎移転新築 |
| 大正11. 9.13 | 1922 | 多寄村連合青年団結成 |
| 15. ＊. ＊ | 1926 | 青年訓練所設置 |
| 昭和 3.11. ＊ | 1928 | 風連家政女学校開設 |
| 4.11. 1 | 1929 | 下多寄尋常小学校校舎改築 |
| 6.10. 3 | 1931 | 風連尋常高等小学校校舎改築 |
| 7. 5.22 | 1932 | 東風連尋常小学校忠烈布特別教授所開所（S19 忠烈布国民学校、S22 忠烈布小学校、S27 中学校併置に伴い**忠烈布小中学校**と改称） |
| 7. ＊ | | 裁縫教授所開所（後の加藤学園） |
| 8.11. ＊ | 1933 | 日進尋常高等小学校校舎改築 |
| 12.17 | | 風連旭尋常小学校校舎改築 |
| 10. ＊ | 1935 | 青年学校設置 |
| 11. 9.11 | 1936 | 西多寄尋常小学校校舎新築移転 |
| 14. 7. ＊ | 1939 | 青年学校義務制となる |
| 16. 4. 1 | 1941 | 尋常小学校が国民学校に改められる（初等科6年、高等科2年） |
| 21. 8. ＊ | 1946 | 風連村連合青年団設立 |
| | | 岩見沢昭和洋裁女学院風連分院開設（後の高橋洋裁女学院） |
| 22. 4. 1 | 1947 | 国民学校が小学校に改められ高等科廃止 |
| | | 風連中学校設置、風連小学校に併設 |
| 5. 1 | | 下多寄、風連旭、東風連、西多寄、日進の各小学校に風連中学校の分校を併置 |
| 23.10.28 | 1948 | 風連連合婦人会設立 |
| 12.15 | | 風連中学校校舎新築 |
| 24. 4. 1 | 1949 | 各小学校に併置されていた風連中学校の分校が日進以外廃止 |
| | | 風連村公民館設置 |
| 11. 1 | | 東生小学校設置 |
| 25. 8.25 | 1950 | 忠烈布小学校に風連中学校分校併設 |
| 11. 1 | | 日進中学校設置 |
| 26. 1.15 | 1951 | 名寄農業高等学校風連分校開校（S28 **風連高等学校**と改称） |
| 12. ＊ | | 日進中学校校舎新築移転 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 昭和27. 4. 1 | 1952 | 忠烈布中学校設置（忠烈布小に併置） |
| 11. 1 | | 風連村教育委員会設置 |
| 28. 4. 1 | 1953 | 「風連町教育是」制定 |
| 5. 3 | | 第１回名寄～風連間憲法発布記念マラソン大会(風連→名寄) |
| 29. 5.10 | 1954 | 風連幼稚園開設 |
| 30.11.26 | 1955 | 西多寄小中学校全焼 |
| * | | 風連町父母と先生の会連合会設立 |
| 31.10. 2 | | 西多寄小中学校新築 |
| * | | 風連町児童生徒校外補導協議会設立 |
| 34.10. | 1959 | 第１回健民大運動会 |
| 11.12 | | 下多寄小学校新築落成 |
| 37. 1.24 | 1962 | 風連町若妻会設立 |
| 9. * | | 忠烈布小学校開校30周年・同中学校開校10周年記念武典 |
| 39. 3.31 | 1964 | 忠烈布小中学校閉校（小学校は東風連小学校、中学校は風連中学校に統合） |
| | | 風連高等学校道立移管 |
| 4.11 | | 風連中学校全焼 |
| 5.29 | | 風連町中核農民学校開校 |
| 10. 3 | | 風連中学校校舎落成式 |
| 40. 4. * | 1965 | 風連町連合青年会設立 |
| 7. * | | 町営プール完成 |
| * | | 婦人学級・家庭教育学級開設 |
| 41. 1.31 | 1966 | 風連町体育協会設立 |
| 42. 2. * | 1967 | 町内初のスケートリンク造成 |
| 6. * | | 消防本部2階を公民館図書室として開設 |
| 43.12. * | 1968 | 風連町営スキー場開設 |
| 45. 3. * | 1970 | 近藤育英基本条例制定 |
| 7. * | | 日進小学校に簡易プール完成 |
| 45.11. * | 1970 | 町営ヒュッテ建設 |
| 46. 3.31 | 1971 | 東生小学校閉校（日進小学校に統合） |
| 4. 1 | | 風連中央小学校設置（風連小学校と風連旭小学校が統合） |
| 7. * | | 風連町スポーツ少年団本部設立 |
| | | 風連町子ども会育成連絡協議会設立 |
| 12. * | | 風連町新生活運動推進委員会設立 |
| 47. 6.30 | 1972 | 風連町公民館講座「風連町老人大学」開講（S53 **瑞生大学**と改称） |
| 7. * | | 町内７カ所史跡標示板を設置 |
| 9. * | | 全国へき地教育研究大会開催 |
| 9.12 | | 風連旭小学校及び風連中央小学校風連旭分教室閉校式 |
| 12. 7 | | 風連小学校閉校式 |
| 12.14 | | 風連中央小学校校舎新築落成 |
| 48. 1.20 | 1973 | 風連中央小学校開校式 |
| 7. * | | 初の屋根付き町営プール完成 |
| 9. 2 | | 学校給食センター完成 |
| 10. 1 | | 町内小中学校の学校給食スタート |
| 10.30 | | 東風連小学校校舎完成 |
| 49. 4. 1 | 1974 | 米飯給食の開始（完全給食） |
| 50. 5. * | 1975 | 旭公民館に「愛の鐘」設置 |
| 10. * | | 風連町青少年研修センター及び風連町児童会館完成 |
| 52. 5. * | 1977 | 風連町婦人団体連絡協議会設立 |
| 11. 8 | | 日進小中学校校舎改築落成 |
| 53. 2. * | 1978 | 風連町連合婦人会結成30周年記念式典 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 昭和53. *. * | 1978 | 日進小学校と日進中学校が併置校となる |
| 5. * | | 教育委員会にマイクロバス導入 |
| 54. 7. * | 1979 | 町営球場完成 |
| * | | 風連町陶芸センター完成 |
| 9. * | | ノンプロ招待野球大会（開基80周年記念行事） |
| 55.10. * | 1980 | 風連の未来を築く会設立 |
| | | 旧役場庁舎を武道場として改修 |
| 56. 9. * | | 西風連小学校開校70周年及び中学校開校30周年記念式典 |
| 12. * | | 風連中央小学校グラウンドに333.3mの公認スケートリンク造成 |
| | | 町営スキー場に20m級ジャンプ台新設 |
| 57. 8. * | 1982 | 第１回町民運動会 |
| 10. * | | 風連町生徒指導連絡協議会設立（平成４年に生徒指導推進協議会に改称） |
| 59. 3.31 | 1984 | 西風連中学校閉校（風連中学校に統合） |
| 10. * | | 風連町連合青年会創立20周年記念式典 |
| 60.11. * | 1985 | 町営第２球場完成 |
| 61. 4. * | 1986 | 風連町日進剣道スポーツ少年団設立 |
| 62. 6. * | 1987 | 風連町新生活運動推進会議設立 |
| 9. 2 | | 風連中学校に教育用コンピュータ導入（47台） |
| 10. * | | 東地区ゲートボール場完成 |
| 11. 7 | | 風連高等学校校舎改築落成記念式典 |
| 12. * | | 風連町就学指導委員会設立 |
| 63. 5. * | 1988 | 東地区運動広場にテニスコートオープン |
| 6. * | | 風連町教育委員会で42人乗り中型バス導入 |
| 8. * | | 初の外国人英語指導助手を招致 |
| 平成元. 5. * | 1989 | Ｂ＆Ｇ風連海洋クラブ設立 |
| 6. * | | Ｂ＆Ｇ財団風連海洋センター竣工式（7月からオープン） |
| 2. 2. * | 1990 | Ｂ＆Ｇ財団風連海洋センタープール完成 |
| 4. * | | 風連町歴史民俗資料館開館 |
| 6. * | | 風連高等学校教育振興協議会設立 |
| 8. * | | 風連町・東京都港区中学生の初の自然体験交流会 |
| 10. * | | 風連中央小学校開校20周年記念を祝う集い |
| 3. 8.24 | 1991 | 西風連小学校開校80周年記念式典 |
| 9. * | | 風連高等学校が4年度公立高校適正化配置計画（原案）で条件付き学級減対象校となる |
| 12. * | | 初の杉並区・風連町子ども交流会 |
| 4. 1. * | 1992 | 風連町若妻会創立30周年記念式典 |
| 2.27 | | 「風連町瑞生大学校歌」制定 |
| 6. * | | Ｂ＆Ｇ財団風連海洋センターが同財団から町に譲渡 |
| 10. * | | 風連町スポーツ少年団本部設立20周年記念式典 |
| | | 日独青少年指導者セミナー（ドイツから11人来町） |
| 5. 2.10 | 1993 | 下多寄小学校校舎完成 |
| | | 下多寄小学校コミュニティスクール開設 |
| 5. 1 | | 小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行 |
| 6.27 | | 下多寄小学校校舎改築落成並びに開校90周年記念式典 |
| 6. 2. * | 1994 | 東京都港区交流の「風港会」設立 |
| | | 風連町サンシャインホール完成 |
| | | カンガルーのポケット事業の実施 |
| 7. * | | 日進小中学校に屋根付プール完成 |
| | | 風の顔らんどふうれん北海道運営委員会設立 |
| 12. 5 | | 風連幼稚園新園舎完成 |

| 年　代 | 西 暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 平成 7. 9. ＊ | 1995 | 旧旭小学校記念碑建立除幕式 |
| 8. 3.31 | 1996 | 西風連小学校閉校（下多寄小学校に統合） |
| 8. 4. ＊ | | 風連町青年会設立 |
| 8. ＊ | | 風連高等学校1年生が初の海外研修（オーストラリア） |
| | | 風連町教育委員会に新型バス導入 |
| 8.10. ＊ | 1996 | 風連町体育協会創立30周年記念式典 |
| 9. 9.20 | 1997 | 風連中学校開校50周年記念式典 |
| 10. 4. 1 | 1998 | 風連高等学校が道内初の英語標記の教育目標「ＥＭＯＴＩＯＮ＆ＰＯＷＥＲ（感動と力）」施行 |
| 4. 1 | | 風連町児童クラブの設置 |
| 4.22 | | 杉並区より移動図書館車「たびびと君」を寄贈 |
| 11. ＊. ＊ | 1999 | 教育用コンピュータ導入（風連中央小学校） |
| 5. 1 | | 公民館そよかぜ事業の実施 |
| 9. ＊ | | 東風連小学校開校90周年記念式典 |
| 12. ＊ | | 「風連町の石碑と史跡」発行 |
| 12. 4. 1 | 2000 | 小学校英会話活動推進モデル事業の実施 |
| 7. 1 | | 学校評議員制度導入（風連中央小学校・風連中学校） |
| 10.27 | | 福祉センター増築（研修室） |
| 13. ＊. ＊ | 2001 | 東地区運動広場パークゴルフ場オープン |
| 3. 7 | | 風連町瑞生大学創立30周年記念式典 |
| 5.16 | | 心の教室相談員の配置（風連中学校） |
| 5.30 | | スポーツエキスパート事業の実施（風連中学校）2年間 |
| 6.24 | | 下多寄小学校開校100周年記念式典 |
| 9. 8 | | 風連高等学校創立50周年記念式典 |
| 14. ＊. ＊ | 2002 | 教育用コンピュータ導入（日進中学校） |
| 3.31 | | 小学校社会科副読本「ふうれん」全面改訂版発行 |
| 4. 1 | | 教育相談員の配置 |
| 4. 1 | | 文部科学省学力向上フロンティア事業指定校（風連中学校） |
| 5. 2 | | 民間指導者派遣事業の実施 |
| 9. 1 | | 風連町地域教育推進協議会の設置 |
| 9. 1 | | 風連町体験活動ボランティア活動支援センターの設置 |
| 9. 1 | | ふうれんっ子ひろばの実施 |
| 11. 8 | | 小学校道徳非常勤講師配置事業の実施 |
| 15. ＊. ＊ | 2003 | 教育用コンピュータ導入（下多寄小学校・東風連小学校） |
| 4. 1 | | ブックスタート事業の実施 |
| 4.26 | | 風連スポーツクラブ「ポポ」の設立 |
| 5. 1 | | 文化部活動外部指導者派遣事業の実施（風連中学校吹奏楽部）2年間 |
| 10.25 | | 風連幼稚園設立50周年記念式典 |
| 16. 3. ＊ | 2004 | 「ふうれんちょうのはし」発行 |
| 17. ＊. ＊ | 2005 | 教育用コンピュータ導入（日進小学校） |
| 4. 1 | | 風連町子ども教室の実施 |
| 5.24 | | 教育相談支援事業の実施（風連中学校） |

# ４　名寄市教育の沿革

| 年　代 | 西暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 平成18. 3.27 | 2006 | 風連町と名寄市が合併し新名寄市誕生 |
| 4. 1 | | 体育施設の指定管理者制度導入 |
| 4. 7 | | 名寄市立大学開学 |
| 11.11 | | 「北海道立サンピラーパーク」開園 カーリング場オープン（日進、５シート） |
| 12. 1 | | 図書館電算システム運用開始 |
| 19. 3. 1 | 2007 | 名寄光凌高等学校普通科閉科 |
| 3.31 | | 西プール閉鎖 |
| 4. 1 | | 給食センター統合 |
| 4.24 | | 全国学力・学習状況調査実施 |
| 5.19 | | 市営南水泳プール改築・オープン |
| 8. 7 | | 移動図書館「やまゆり号」更新 |
| 8.18 | | 日進小学校開校100周年・中学校開校60周年記念式典 |
| 20. 3. ＊ | 2008 | 風連高等学校募集停止 |
| 4. ＊ | | 学校職員評価制度導入 |
| 4. 1 | | 学校栄養教諭配置（名寄小、風連中央小） |
| 6.24 | | 名寄市小学校陸上大会閉幕 |
| 6. ＊ | | 北海道体力・運動能力調査実施 |
| 21. 3.24 | 2009 | 名寄光凌高等学校閉校 |
| 3. ＊ | | 名寄農業高等学校募集停止 |
| 4. 9 | | 名寄産業高等学校開校 |
| 7. 4 | | 名寄西小学校開校５０周年記念「ふれあい」の集い |
| 7.23 | | 「九度山　クトゥンヌプリ」国・名勝指定 |
| 8.23 | | 東風連小学校開校１００周年記念式典・祝賀会 |
| 9.23 | | 名寄大谷幼稚園創立５０周年記念祝賀会 |
| 10. 4 | | 名寄西小学校開校５０周年式典 |
| 10.27 | | 名寄ピヤシリ大学開学３０周年記念式典 |
| 11.29 | | 名寄市立木原天文台閉館・名寄市プラネタリウム館閉館 |
| 22. 3.31 | 2010 | 風連高等学校閉校 |
| 4.12 | | ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」オープン |
| 4.17 | | なよろ市立天文台「きたすばる」オープン |
| 10.21 | | キマロキ編成「JR北海道準鉄道記念物」指定 |
| 11. 3 | | 名寄市立大学創立4周年・短期大学部創立50周年記念式典 |
| 12.16 | | 風連中学校「校舎移転開校式」 |
| 12.18 | | 名寄農業高校閉校記念式典 |
| 23. 1.11 | 2011 | 名寄東小学校屋内運動場改築 |
| 4.29 | | なよろ市立天文台「きたすばる」グランドオープン |
| 7. 3 | | 風連下多寄小学校開校１１０周年記念式典・祝賀会 |
| 9. 5 | | 名寄市放課後子ども教室（試行）開設 |
| 24. 2. 1～4 | 2012 | 第49回全国中学校スキー大会開催 |
| 5. 9 | | 名寄市放課後子ども教室開設 |
| 5.18 | | 名寄市教育改善プロジェクト委員会発足 |
| 5.22 | | 名寄東中学校開校60周年記念親睦の集い |
| 25. 2.24 | 2013 | 日進スケートリンク終了 |
| 3. 2 | | 風連日進小中学校閉校式・惜別会 |
| 3.31 | | 風連日進小中学校閉校 |
| 4. 1 | | ふうれん地域交流センター「風っ子ホール」指定管理者制度導入 |
| 26.2.16 | 2014 | なよろ市立天文台と国立天文台石垣島天文台と交流協定締結 |

| 年　代 | 西暦 | 特　記　事　項 |
|---|---|---|
| 26.7.1 | 2014 | 名寄公園「北の造園遺産」に認定 |
| 27.5.9 | 2015 | 市民文化センター大ホール「EN-RAY」開館 |
| 28. 2. 2～5 | 2016 | 第53回全国中学校スキー大会（ノルディック）開催 |
| 2.16 | | 名寄西小学校校舎増築 |
| 2.20 | | 東風連小学校閉校式・惜別会 |
| 2.27 | | 豊西小学校閉校式・惜別会 |
| 2.29 | | 名寄南小学校校舎・屋内運動場改築 |
| 3.31 | | 豊西小学校閉校 |
| 3.31 | | 東風連小学校閉校 |
| 4.1 | | 南児童クラブ改築 |
| 12.1 | | 東児童クラブ開設 |
| 29.1.27 | 2017 | 名寄市文化協会60周年記念式典祝賀会 |